

現状・方向性

◎ポストコロナを見据えた観光成長戦略

- ◆新型コロナウイルス感染症の影響により、観光産業は大打撃を受けましたが、「わかやまフレッシュプラン」をはじめ「蘇りの地、わかやま」キャンペーン等の観光需要喚起策を展開するなど、観光産業の維持・再生を図ってきたところです。
- ◆今後は観光産業にとって追い風となるビッグイベントが目白押しであることから、この期間を「ダイヤモンドイヤー」として位置づけ、コロナ禍からの反転攻勢を目指すとともに、「多様な旅のスタイル」の普及・定着に向けた取組やインバウンドの段階的回復に向けたプロモーションを強化し、誘客を図ります。

弘法大師御誕生 1250 年
(R5)

世界遺産登録 20 周年
(R6)

大阪・関西万博
(R7)

R 4 年度 の 取 組 内 容

◎「ダイヤモンドイヤー」に向けた取組

- ◆「弘法大師御誕生 1250 年記念事業」による誘客促進
 - ・弘法大師空海ゆかりの地との連携による共同プロモーションの展開
 - ・交通機関とのタイアップキャンペーンの展開
- ◆「世界遺産登録20周年」に向けた取組
 - ・世界遺産登録20周年に向けた機運の醸成
 - ・世界遺産を核とした広域観光周遊ルートの構築や交通アクセスの利便性向上
- ◆「大阪・関西万博」に向けた受入体制の整備や周遊促進に係る取組
 - ・DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進によるストレスフリーな観光地づくり
 - ・さらなるインバウンド受入環境整備の推進
 - ・県内旅行消費額向上のための高付加価値な観光コンテンツの創出・磨き上げ
 - ・グローバルメディアとのタイアップキャンペーン
 - ・広域周遊のための交通アクセスの利便性向上



◎「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの展開

- ・多様な旅のスタイルや嗜好に対応したテーマ別取組による誘客の多角化
- ・公式WEBやSNS、各メディアを活用した効果的な情報発信
- ・「わかやま・まるごとスタンプラリー」をはじめとする県内周遊施策の展開
- ・「わかやまフレッシュプランS」や「和歌山県版 GoTo トラベル」の実施による旅行需要・県内消費の喚起 など

◎「多様な旅のスタイル」の普及・定着

- ・ワーケーション、多拠点居住&テレワークなど「多様な旅のスタイル」の普及・定着
- ・サステナブルエコツーリズムを活用した企業研修・CSR活動の誘致
- ・広域連携による MICE 誘致に向けたプログラム開発
- ・サイクルツーリズム、自然とのふれあい体験などアウトドア観光の推進

◎インバウンドの段階的回復に向けたプロモーション展開

- ・往来再開の目途が立った国・地域から重点的に海外プロモーションを再開

1 ポストコロナを見据えた観光成長戦略

(1)「弘法大師御誕生 1250 年記念事業」による誘客促進 (本冊 2 頁) =New=

- ◆弘法大師空海ゆかりの地との連携による共同プロモーションの展開
- ◆交通機関とのタイアップキャンペーンの展開

(2)世界遺産登録20周年に向けた取組 (本冊 3 頁) =New=

- ◆世界遺産登録20周年に向けた機運の醸成
- ◆世界遺産を核とした広域観光周遊ルートの構築や交通アクセスの利便性向上

(3)「大阪・関西万博」に向けた受入体制の整備や周遊促進に係る取組 (本冊 4 頁) =New=

- ◆DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進によるストレスフリーな観光地づくり
- ◆さらなるインバウンド受入環境整備の推進
- ◆県内旅行消費額向上のための高付加価値な観光コンテンツの創出・磨き上げ
- ◆グローバルメディアとのタイアップキャンペーン
- ◆広域周遊のための交通アクセスの利便性向上

(4)「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの展開、安心・安全な観光地づくり(本冊 5 頁)

- ◆多様な旅のスタイルや嗜好に対応したテーマ別取組による誘客の多角化
- ◆公式WEBやSNS、各メディアを活用した効果的な情報発信
- ◆「わかやま・まるごとスタンプラリー」をはじめとする県内周遊施策の展開
- ◆JR西日本や阪急・阪神ホールディングス等交通機関とのタイアップキャンペーンの展開
- ◆「わかやまリフレッシュプランS」や「和歌山県版 GoToトラベル」による旅行需要・県内消費の喚起 =New=
- ◆「蘇りの地、わかやま」宿泊得々キャンペーンによる誘客促進
- ◆ガイドラインの徹底等による宿泊施設・観光施設等のコロナ対策の充実
- ◆県内観光事業者に対し、コロナ関連情報の提供及び相談受付や業況の把握等の支援
- ◆「飲食・宿泊・サービス業等支援金(第IV期)」により事業者の事業継続を下支え =New=

(5)「多様な旅のスタイル」の普及・定着 (本冊 11 頁) =New=

- ◆ワーケーション、多拠点居住&テレワークなど「多様な旅のスタイル」の普及・定着
- ◆サステイナブルエコツーリズムを活用した企業研修・CSR活動の誘致
- ◆広域連携による MICE 誘致に向けたプログラム開発
- ◆サイクルツーリズム、自然とのふれあい体験などアウトドア観光の推進

(6)インバウンドの段階的回復に向けたプロモーション展開 (本冊 12 頁) =New=

- ◆往来再開の目途が立った国・地域から重点的に海外プロモーションを再開

2 和歌山を売り出す

(1)「サイクリング王国わかやま」で和歌山を売り出す (本冊 13 頁)

- ◆サイクリスト向けのモバイルスタンプラリーを太平洋岸自転車道と連携し拡充 =New=
- ◆有名アニメとのタイアップ、公式WEBやSNS、メディア等による誘客促進
- ◆JRきのくに線サイクリートレインとの連携 =New=
- ◆県内サイクリングイベントの支援
- ◆サイクリストに優しい宿泊施設やサイクルステーションなど受入体制の整備

(2)「水の国、わかやま。」「アウトドア観光」で和歌山を売り出す (本冊 25 頁)

I 「水の国、わかやま。」

- ◆「水の国、わかやま。」のスポットを周遊するモバイルスタンプラリーの充実 =New=
- ◆「水」をテーマとしたプロモーション
- ◆「水」の絶景スポットを周遊するモデルコースの設定や案内看板の整備
- ◆体験プログラムの開発支援

II 「アウトドア観光」

- ◆アウトドア観光ポータルサイトの機能強化 =New=
- ◆体験事業者向けセミナーやワークショップ等の開催

(3)「わかやま歴史物語」(歴史・浪漫)で和歌山を売り出す (本冊 33 頁)

I 「わかやま歴史物語」

- ◆「わかやま歴史物語」人物編(神話～安土桃山)スタンプラリーの展開 =New=
- ◆「わかやま歴史物語」講座(仮称)の開催や特設WEBサイト等による魅力発信

II 周年事業

- ◆和歌祭400周年 =New=
紀州東照宮の式年大祭である和歌祭400周年記念事業の効果的な情報発信による誘客促進
- ◆熊野本宮大社正遷座130年 =New=
熊野本宮大社の社殿が現在の地に遷座して130年を記念し、例大祭等と連携した情報発信により誘客促進
- ◆弘法大師空海御誕生1250年 =New=
弘法大師空海の御誕生1250年を記念し、広域周遊を促進するキャンペーンを実施

(4)「世界遺産」で和歌山を売り出す (本冊 42 頁)

I 新たな魅力発信と周遊拡大

- ◆世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサート、公式WEBやSNS、メディア等による誘客促進
- ◆「高野山・熊野を愛する100人の会」メンバーによるイベントの開催や各種活動による情報発信

II 保全・活用と受入体制整備

- ◆企業のCSRによる環境保全活動の誘致や環境保全トレッキング等により、「道普請」を推進
- ◆和歌山県街道マップの電子化や誘導板・解説板の再整備による受入体制の整備 =New=

(5)「日本遺産」で和歌山を売り出す (本冊 56 頁)

I 「鯨とともに生きる」

- ◆特設WEBサイトやSNS、メディア等を活用した情報発信による誘客促進
- ◆体験プログラムを活用した修学旅行誘致の実施

II 「絶景の宝庫 和歌の浦」

- ◆ガイドブックや特設WEBサイト、メディア等を活用した情報発信による誘客促進
- ◆フォトコンテストの実施によるエリア内の周遊促進

III 「『葛城修験』—里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」

- ◆登山地図アプリを活用したデジタルスタンプラリーの展開 =New=
- ◆パンフレット、ルートマップや特設WEBサイト等を活用した情報発信による誘客促進
- ◆構成自治体間でのリレー形式セミナーやモニターツアー・ファムツアー等の実施
- ◆日本遺産ガイドの養成、構成文化財等の解説板や誘導板の作成等による受入体制の整備

3 和歌山へ招く

(1)「メディアを活用」して和歌山へ招く (本冊 86 頁)

- ◆テレビ、雑誌、WEB、SNSなどありとあらゆる媒体を活用し、単体もしくはそれらを複合的に組み合わせ、「世界遺産」のブランド力やマーケットの注目度の高いテーマや「まだまだ知られていない和歌山の魅力」に関する情報を効果的に発信するとともに提案活動を実施
 - ① 企画提案活動・・・ターゲット層にマッチした観光素材を活用した企画提案活動の実施
 - ② 観光情報誌「紀州浪漫」・・・全国の主要書店110店舗等で展開(年間26万部)
 - ③ フィルムコミッション・・・業界関係者に強く働きかけ、ロケ誘致により、映像を通じた和歌山の魅力発信と認知度向上を促進

(2) 「ターゲットごとのプロモーション」で和歌山へ招く (本冊 102 頁)

- ◆「宇宙」を切り口とした新たな層の開拓(ロケット打ち上げ応援イベント等を実施) =New=
- ◆若い女性層(情報発信力と旅の決定権)をターゲットの中心とした誘客戦略(情報発信)
- ◆ワーケーションの推進を通じた誘客(企業研修プログラムの活用等により「ワーケーション＝わかやま」の定着を加速)
- ◆CSRによる世界遺産保全活動の推進(誘致活動、保全活動体験ツアー等)
- ◆信用金庫等の年金旅行誘致(営業・誘致活動、地域と一体となったおもてなしの充実等)
- ◆コンベンション誘致推進(開催支援、誘致活動)
- ◆修学・教育旅行の誘致(国内回帰・県内志向の進展など傾向の変化を踏まえ、効果的な誘致活動を展開)
- ◆スポーツ合宿の誘致(プロスポーツキャンプ、社会人・大学スポーツチームの合宿をターゲットとしたプロモーションの実施)
- ◆和みわかやまキャンペーン(県内周遊を促進するための食のモバイルスタンプラリー等を実施)

(3) 「近畿、東海、西日本等」から和歌山へ招く (本冊 119 頁)

I 阪急阪神グループとのタイアップキャンペーン

- ◆大手私鉄グループの豊富なメディア媒体を活用し、京阪神での効果的な情報発信により誘客を促進
- ◆交通媒体の活用、沿線フリーペーパー等への情報掲載、WEB・SNS等での展開

II JRとのタイアッププロモーション

- ◆「WEST EXPRESS 銀河」の運行に合わせた観光関連事業者等と連携したおもてなしを実施

(4) 「首都圏」から和歌山へ招く (本冊 130 頁)

- ◆国内最大のマーケットで国内外の情報受発信の拠点である首都圏で、プロモーションを展開し、本県の認知度向上と誘客を促進
 - “和みわかやま”東京レセプション2022
 - 【時期等】 10月27日(予定) ホテルニューオータニ東京
 - 【内容】 観光PRレセプション、メディアに対する観光素材説明会等
- ◆南紀白浜空港を利用した誘客(エージェンツ等訪問による旅行商品造成働きかけ等を実施)

4 和歌山でもてなす

(1) 上質な観光サービスの創出 (本冊 140 頁)

- ◆ホスピタリティ向上(観光関係者のおもてなし力向上に向けた研修等や「わかやまおもてなし宣言」の実施)
- ◆夜の楽しみ方の提案(夜の娯楽としての県内飲食店やイベント情報などを総合的に情報発信)
- ◆富裕層向け宿泊施設の誘致

(2) 人材の育成 (本冊 143 頁)

- ◆和歌山大学観光学部との連携(「観光・地域づくり」講座の共同開催やインターンシップの受入等)
- ◆紀州語り部のレベルアップ研修等の実施

(3) 快適観光空間の創造 (本冊 145 頁)

- ◆観光地内公衆トイレ整備補助
公衆トイレの快適性向上や美化促進を図るため、市町村等が行うトイレ整備(大便器の洋式化、温水洗浄便座の設置、小便器の自動洗浄化等)を支援
- ◆ユニバーサルツーリズムの推進
バリアフリー観光に関する研修や観光施設のバリアフリー情報の発信等により、ユニバーサルツーリズムを推進

(4) 二次交通の利便性向上 (本冊 146 頁)

- ◆リムジンバス・アクセスバスの運行
公共交通を利用して世界遺産を巡る観光客の利便性向上のため、リムジンバス(関西国際空港～高野山)、高速バス(京都駅～高野山)、高野山・熊野聖地巡礼バス(高野山～熊野エリア)、高野山麓世界遺産アクセスバス(高野山麓エリア)を積極的に情報発信し、利用を促進

5「海外」から和歌山へ招く、「外国人観光客」をもてなす

(1) 『新たなプロモーション』で和歌山へ招く (本冊 153 頁)

- ◆ 関西広域で連携した周遊観光ルートの提案や首都圏からのプラスワントリップ推進などにより、外国人個人観光客対策を強化
- ◆ ポストコロナに対応したアウトドア観光の推進、国立公園や南紀熊野ジオパークと連携した誘客促進
- ◆ ミシュランガイド初掲載を契機としたガストロミーツーリズムの推進 =New=
- ◆ サスティナブルツーリズムの推進 =New=

(2) 『海外26か国・地域』から和歌山へ招く (本冊 157 頁)

I アジア

- ◆ 個人型観光客をターゲットとしたメディア対策等を強化、今後、求められるコンテンツ「安全・安心」や「健康」、「アウトドア(屋外型)」、「サスティナビリティ(持続可能性)」をキーワードとした体験プログラムやツーリズムを積極的に提案

II 欧米豪

- ◆ 世界遺産「高野山・熊野」をはじめとした歴史や伝統文化に加え、「サスティナブル(持続可能)」であることを重視する傾向を捉え、豊かな自然を生かした体験プログラムやガーデンツーリズム、ガストロミーツーリズムに取り組むとともに、関西観光本部や近隣府県、首都圏との連携を強化し、周遊観光ルートの情報発信に取り組む

(3) 『ネットメディア展開』で和歌山へ招く (本冊 170 頁)

- ◆ 多言語観光WEBサイト「Visit Wakayama」や Facebook、Instagram 等SNSによる旬の観光情報の発信
- ◆ CNNやBBCなど海外大手メディアを活用したグローバルキャンペーンの展開

(4) 『テーマ別の取組』で和歌山へ招く (本冊 172 頁)

- ◆ 世界遺産地域を中心に自然と文化体験を同時に体感できるストーリー性のある体験コンテンツを情報発信やファミツアーに積極的に取り入れるなど、アドベンチャーツーリズムを推進 =New=
- ◆ 日本の庭園を中心に、周辺の観光地や食文化、体験プログラムを取り入れたストーリー性のあるガーデンツーリズムを国内外に向けて提案 =New=
- ◆ サイクリングやゴルフ等のレクリエーション活動の提案や情報発信により、スポーツツーリズムを推進
- ◆ 県内の医療機関や旅行会社との連携により、健康づくりをテーマにした特色あるウェルネスツーリズムを推進
- ◆ 外国クルーズ客船の誘致に向けた客船運航会社等へのセールスの実施、クルーズ観光情報の発信
- ◆ 南紀白浜空港への国際チャーター便を利用した県内宿泊ツアー商品造成の働きかけ

(5) 『外国人観光客』を和歌山でもてなす (本冊 179 頁)

- ◆ デジタルを活用した観光周遊環境整備 =New=
高野山・山麓エリアで実施してきた交通・観光施設等チケットの予約・決済・利用をスマホ一つで可能とするデジタル化の取組を、熊野地域を中心に紀南方面に拡大
- ◆ 二次交通の県域をまたいだ統一的なインバウンド対応の推進(交通アクセスの改善、多言語案内表示の充実)
- ◆ Mastercard との連携協定に基づく観光コンテンツ開発などの取組の推進 =New=
- ◆ 飲食店の多言語対応促進 =New=
- ◆ 和歌山県版通訳ガイドの育成、就業促進のための情報発信
- ◆ 外国人観光客の受入環境(Wi-Fi、多言語案内表示ほか)の整備
- ◆ 和歌山ほんまもん体験のインバウンド対応支援
- ◆ 多言語コミュニケーションツール(電話通訳・簡易翻訳サービスほか)の導入推進
- ◆ グローバルメディアを活用した県内事業者の情報発信強化
世界的なグローバルメディアを活用し、観光関係者自身による外国人観光客への情報提供やデータ分析によるマーケティングへの活用などの取組を推進
- ◆ 消費拡大のためのキャッシュレス決済環境の整備、消費税免税店の拡大
- ◆ JNTO認定外国人観光案内所の拡充

【問い合わせ先】

観光局	観光振興課	073-441-2777	上野、金尾、中村
	観光交流課	073-441-2789	前坂、播野

和歌山県観光振興実施行動計画

= 観光振興アクションプログラム 2022 =



和み、和らぐ。 
和歌山から 
はじまる旅。

和歌山県・(公社)和歌山県観光連盟

目 次

1	ポストコロナを見据えた観光成長戦略	1
(1)	「弘法大師御誕生 1250 年記念事業」による誘客促進	2
(2)	世界遺産登録 20 周年に向けた取組	3
(3)	「大阪・関西万博」に向けた受入体制の整備や周遊促進に係る取組	4
(4)	「蘇りの地、わかやま」キャンペーン、安心・安全な観光地づくり	5
(5)	「多様な旅のスタイル」の普及・定着	11
(6)	インバウンドの段階的回復に向けたプロモーション展開	12
2	和歌山を売り出す	13
(1)	『サイクリング王国わかやま』で和歌山を売り出す	13
(2)	『水の国、わかやま。』『アウトドア観光』で和歌山を売り出す	25
(3)	『わかやま歴史物語』（歴史・浪漫）で和歌山を売り出す	33
(4)	『世界遺産』で和歌山を売り出す	42
(5)	『日本遺産』で和歌山を売り出す	56
(6)	『温泉』『食の魅力』で和歌山を売り出す	64
(7)	『自然の素晴らしさ』『ほんまもん体験』で和歌山を売り出す	69
(8)	『ブランド』で和歌山を売り出す	75
(9)	『四季折々の魅力』で和歌山を売り出す	80
3	和歌山へ招く	86
(1)	『メディアを活用』して和歌山へ招く	86
(2)	『ターゲットごとのプロモーション』で和歌山へ招く	102
(3)	『近畿、東海、西日本等』から和歌山へ招く	119
(4)	『首都圏』から和歌山へ招く	130
4	和歌山でもてなす	140
(1)	上質な観光サービスの創出	140
(2)	人材の育成	143
(3)	快適観光空間の創造	145
(4)	二次交通の利便性向上	146
5	『海外』から和歌山へ招く、『外国人観光客』を和歌山でもてなす	152
(1)	『新たなプロモーション』で和歌山へ招く	153
(2)	『海外 26 개국・地域』から和歌山へ招く	157
(3)	『ネットメディア展開』で和歌山へ招く	170
(4)	『テーマ別の取組』で和歌山へ招く	172
(5)	『外国人観光客』を和歌山でもてなす	179

本実行計画は、和歌山県観光立県推進条例第11条に定める観光振興実行行動計画として、同条例が定める基本理念並びに施策の基本方針、そして和歌山県長期総合計画が示す基本的な方向に沿って取り組む令和4年度の観光振興施策をまとめたものです。

【お問い合わせ】 商工観光労働部観光局

観光振興課 073-441-2777

観光交流課 073-441-2789

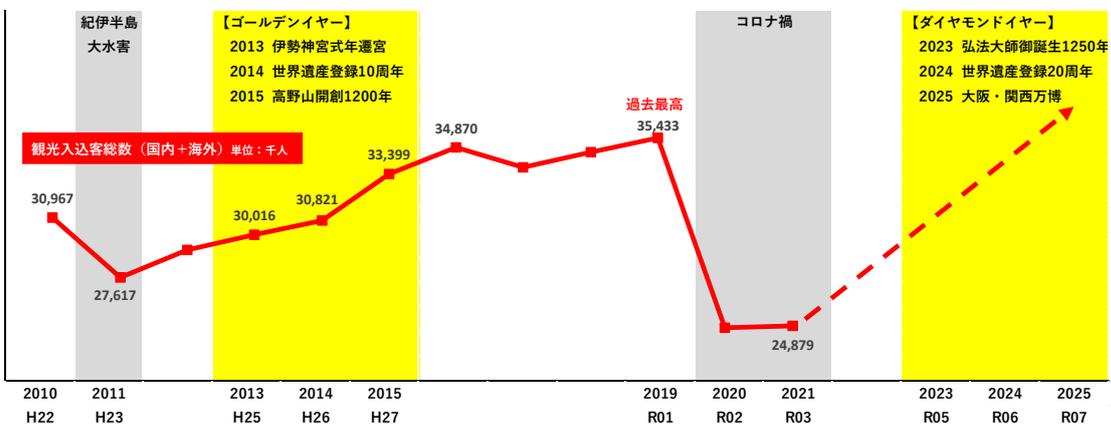
1 ポストコロナを見据えた観光成長戦略

令和2年の新型コロナウイルス感染症の拡大から県内観光産業は大きなダメージを受けたところですが、令和3年の観光入込客総数（速報値）も、第3波～第5波の影響により通年では対前年比0.4%増となる約24,879千人（うち日帰り客数約21,496千人、宿泊客数約3,383千人泊）と微増に留まりました。

このため、県では、新型コロナウイルス感染症によるダメージからの回復を着実なものとし、観光産業の再生・発展を段階的に進めていくため、短期的には、旅行割引支援「わかやまりフレッシュプランS」や「和歌山県版 GoTo トラベル（仮称）」などの実施による旅行需要の喚起を目的とした「蘇りの地、わかやま」キャンペーンをパワーアップし推進するとともに、中長期的には、今後、観光産業にとって追い風となるビッグイベントが目白押しであることから、この期間を前回の「ゴールデンイヤー」を上回る「ダイヤモンドイヤー」として位置づけ、キャンペーンや周遊促進・受入環境整備を計画的に進め、コロナ禍からの反転攻勢を目指します。

さらに、ポストコロナにおける観光ビジネスのパラダイムシフトに対応したワーケーション、多拠点居住&テレワークなど誘客の多角化や、働き方改革や社会貢献活動に取り組む企業と連携し、和歌山ならではの「サステナブルエコツーリズム」を活用した企業研修・CSR活動の誘致、企業会議参加者のブレジャー需要に対応したプログラム開発などに取り組みます。

【観光成長戦略のイメージ】



(1) 「弘法大師御誕生 1250 年記念事業」による誘客促進

弘法大師空海は、宝亀 5 年（774 年）に現在の香川県善通寺市で生まれ、令和 5 年（2023 年）6 月に御誕生 1250 年を迎えます。この記念すべき年を迎えるにあたり、誕生の地である善通寺、根本道場であり布教の地である東寺、修禅道場であり入定の地である金剛峯寺など弘法大師空海ゆかりの地と連携し、特別展の開催や特別企画の実施、3 霊跡巡礼スタンプラリーなど広域周遊を促す共同プロモーションに取り組みます。

あわせて、JR 西日本や南海電鉄、関西国際空港・泉南エリア、京都から高野山へのリムジンバスを使った首都圏・京阪神エリアからの誘客、JR 四国や南海フェリーと連携した四国エリアからの誘客タイアップキャンペーンを展開します。

また、高野山麓アクセスバスの運行などを通じて、高野山を起点として丹生都比売神社や慈尊院、丹生官省符神社など高野山麓エリアへの域内周遊を促進するとともに、高野山・熊野聖地巡礼バスと連携した熊野エリアへの展開を図るなど、当該取組により令和 6 年の世界遺産登録 20 周年に向けた機運醸成に繋げていくことにより、ダイヤモンドイヤーを盛り上げていきます。

◇弘法大師空海ゆかりの地との連携による共同プロモーションの展開 =New=

弘法大師空海ゆかりの寺院・関連施設等による特別展の開催や特別企画の実施に加え、3 霊跡巡礼スタンプラリーや夢舞台コンサート、旅行会社とのタイアップ、歴史セミナーなどを活用した共同プロモーションに取り組みます。

○3 霊跡巡礼スタンプラリー

<時期> 秋～5 年 12 月

<内容> 弘法大師空海ゆかりの地である 3 霊跡

（善通寺、東寺、金剛峯寺）を巡るスタンプラリーを実施。

3 箇寺巡礼で記念品を進呈

○地域の周年事業と連携したプロモーション 詳細 35 頁

○夢舞台コンサート、公式 WEB や SNS、メディア等による誘客促進 詳細 42 頁

○旅行会社とのタイアップ歴史セミナー開催やツアー造成による誘客促進 詳細 33 頁

◇交通機関とのタイアップキャンペーンの展開 =New=

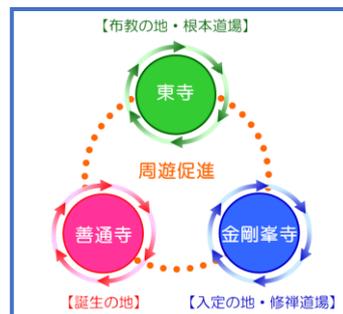
阪急阪神グループと連携した京阪神大型キャンペーンに加え、首都圏・京阪神エリア、四国エリアをターゲットに、JR 西日本・四国や南海電鉄・フェリー、リムジンバス・アクセスバスとのタイアップキャンペーンを実施します。

○京阪神大型観光キャンペーン 詳細 119 頁

○鉄道事業者とのタイアップ 詳細 126 頁

○南海フェリーとのタイアップ 詳細 128 頁

○リムジンバス・アクセスバスの運行 詳細 146 頁



(2) 世界遺産登録20周年に向けた取組

平成16年(2004年)7月に「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産登録されて以降、世界遺産エリアへ国内外から多くの観光客が訪れ、令和3年(2021年)には、世界遺産の活用と保全のサイクルを確立した本県の取組が評価され、ロンリープラネット「Best in Travel 2021」の読者投票「サステナビリティ」部門で本県が世界で唯一選出されたところでした。

令和6年(2024年)に登録20周年を迎えるにあたり、本県がポストコロナ時代の世界から選ばれる観光地となるため、世界遺産のブランドに加え、環境に優しいサステナブルツーリズムを代表する「持続可能な観光地」として国内外にPRするための大型キャンペーンを実施し、翌年に開催予定の大阪・関西万博との相乗効果を目指します。

そのため、世界遺産登録20周年に向けた機運の醸成を図るとともに、環境にやさしいサステナブルツーリズムを推進するため、公共交通とトレッキングによる広域観光周遊ルートのプロモーションや公共交通アクセスの利便性向上に取り組めます。

◇和みわかやまキャンペーン推進協議会等による機運の醸成 =New=

和みわかやまキャンペーン推進協議会において、世界遺産登録20周年記念事業を契機とした県内観光地の長期滞在型周遊観光を促進するための大型キャンペーンの企画調整を進めるとともに、イベントやセミナーにより世界遺産登録20周年に向けた機運の醸成を図ります。

- 和みわかやまキャンペーン 詳細 116 頁
- 世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサート開催 詳細 43 頁
- 「高野山・熊野を愛する100人の会」によるPR 詳細 46 頁
- 「わかやま歴史物語」講座(仮称)の開催 詳細 33 頁
- 「吉野・高野・熊野の国」事業実行委員会 詳細 51 頁

◇世界遺産を核とした広域観光周遊ルートの構築や交通アクセスの利便性向上 =New=

関西観光本部や東京観光財団と連携し、京阪神エリアや首都圏から世界遺産エリアへの広域観光周遊ルートの共同プロモーションに取り組むとともに、個人観光客の交通アクセスの利便性を向上させるため、関西国際空港や泉南エリア・京都から高野山、高野山から熊野エリア、高野山麓を周遊するアクセスバス、羽田空港～南紀白浜空港便の利用促進を図ります。

- 外国人個人観光客対策の強化(関西広域で連携した周遊観光ルートの提案、首都圏からのプラスワントリップ推進など) 詳細 153 頁
- デジタルを活用した観光周遊環境整備 詳細 179 頁
- リムジンバス・アクセスバスの運行 詳細 146 頁
- 南紀白浜空港を利用した誘客 詳細 137 頁

年次	H15(登録前)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03
観光客数	9,354	9,645	10,137	10,862	12,474	17,641	16,770	17,225	17,299	12,377	11,976

注1)「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録日は、平成16年7月7日

注2)平成28年の追加前までの世界遺産登録市町村は、「九度山町・高野町・旧かつらぎ町・旧中辺路町・旧本宮町・白浜町・すさみ町・新宮市・那智勝浦町」

注3)平成28年からは世界遺産追加登録市町村(旧橋本市・旧田辺市・旧大塔村・上富田町・串本町)を加えた年別観光客推計としている。

世界遺産追加登録市町村を除く9市町村における令和3年の観光客総数は9,324千人で、対前年比は97.5%であった。

(3) 「大阪・関西万博」に向けた受入体制の整備や周遊促進に係る取組

令和7年(2025年)4月13日から10月13日までの184日間にかけて開催される大阪・関西万博への国内外からの来訪者に、本県を日本の精神文化の原点と先端技術の融合を体感できる観光地としてアピールし、本県への広域周遊を促すため、①デジタル化、②インバウンド受入体制、③観光コンテンツ、④プロモーション活動、⑤アクセス環境の5つの観点から、3年計画で受入体制や周遊促進に係る取組を進めます。

具体的には、万博会場内に和歌山館を開設し、「The Spiritual Heartland of Japan～1000年の時を超え、未来へつなぐ旅～(仮称)」をテーマに、和歌山県の精神文化を背景にした観光を疑似体験していただき、バーチャルからリアル(県内への周遊観光)へのアクションに繋げることを目指します。

- ◇DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進によるストレスフリーな観光地づくり =New=
情報検索、誘客促進スタンプラリー、移動周遊ツール等のデジタル化や観光事業者のDX対応支援など、観光デジタル化をさらに推進
 - 総合情報パンフレットのデジタル化 [詳細 93 頁](#)
 - 和歌山県街道マップのデジタル化 [詳細 48 頁](#)
 - デジタルを活用した観光周遊環境整備 [詳細 179 頁](#)
- ◇さらなるインバウンド受入環境整備の推進 =New=
外国人観光客がストレスフリーに旅行できるよう、さらなる受入環境整備を推進
 - 飲食店や体験事業者のインバウンド対応の促進 [詳細 181 頁](#)
 - 二次交通の県域をまたいだ統一的なインバウンド対応の推進 [詳細 179 頁](#)
- ◇県内旅行消費額向上のための高付加価値な観光コンテンツの創出・磨き上げ =New=
高付加価値な観光コンテンツの創出や磨き上げを支援するとともに、OTA(オンライン・トラベル・エージェント)と連携した販売体制の強化により、地域の「稼ぐ力」を強化
 - 体験観光の開発支援 [詳細 28 頁](#)
 - アウトドア観光ポータルサイトの機能強化、事業者向けセミナー開催等 [詳細 30 頁](#)
 - Mastercardとの連携協定に基づく観光コンテンツ開発などの取組の推進 [詳細 181 頁](#)
 - ミシュランガイド初掲載を契機としたガストロノミーツーリズムの推進 [詳細 154 頁](#)
- ◇グローバルメディアとのタイアップキャンペーン =New=
世界的な影響力をもつ国内外メディアや旅行エージェント等と連携し、チケット前売り時期に合わせ、「万博+わかやま」の周遊旅行をプロモーション
 - 世界最大級の動画メディアを活用したSNS情報発信の強化 [詳細 95 頁](#)
 - グローバルメディア等との共同キャンペーン [詳細 170 頁](#)
- ◇広域周遊のための交通アクセスの利便性向上 =New=
交通機関などと協力し、万博会場から和歌山への交通アクセスルートを構築するなど、観光客の受入体制を強化
 - リムジン・アクセスバスの運行 [詳細 146 頁](#)

(4) 「蘇りの地、わかやま」キャンペーン、安心・安全な観光地づくり

I 「蘇りの地、わかやま」キャンペーン

新型コロナウイルス感染症によるダメージからの回復を着実なものとし、観光産業の再生・発展を段階的に進めていくため、①多様な嗜好に対応したテーマ別取組による誘客の多角化と、②旅行需要・県内消費の喚起を柱に、「蘇りの地、わかやま」キャンペーンをさらにパワーアップして推進します。

①多様な嗜好に対応したテーマ別取組による誘客の多角化

「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの施策体系		
テーマ別の取組	サイクリング王国わかやま	詳細13頁
	水の国、わかやま。	詳細25頁
	わかやま歴史物語	詳細33頁
	世界遺産、日本遺産	詳細42頁
	温泉、食の魅力	詳細64頁
	ほんまもん体験	詳細69頁
	修学・教育旅行	詳細111頁
情報発信	番組・映画制作、記事掲載の促進	詳細86頁
	県観光情報誌を活用した情報発信	詳細93頁
	県観光情報サイトからの情報発信	詳細93頁
	SNSを活用した情報発信	詳細94頁
県内周遊施策	WAKAYAMA 800モバイルスタンプラリー	詳細13頁
	わかやま・まるごとスタンプラリー	詳細25・33・68・69頁
交通機関タイアップ	京阪神大型観光キャンペーン	詳細119頁
	鉄道事業者とのタイアップ	詳細126頁
	高速道路会社とのタイアップ	詳細127頁
	南海フェリーとのタイアップ	詳細128頁

②旅行需要・県内消費の喚起

新型コロナウイルス感染症の影響により、観光産業は大きなダメージを受けてきましたが、第6波により本県を含め全国各地でまん延防止等重点措置が発令されて以降、旅行マインドが冷え込み、再び極めて厳しい状況です。この状況を打破し一刻も早い観光産業の回復を図るため、国が実施する「地域観光事業支援」事業を引き続き活用し、県民や近隣府県民などをターゲットとした「わかやまリフレッシュプランS」や「和歌山県版 GoTo トラベル（仮称）」を段階的に施策展開するとともに、「蘇りの地、わかやま」宿泊得々キャンペーンなどにより旅行需要や県内消費を喚起します。

◇「わかやまりフレッシュプランS」及び「和歌山県版 GoToトラベル（仮称）」の実施

これまで実施してきた「わかやまりフレッシュプラン」を改めて実施し、県民や近隣府県民が県内の宿泊施設や観光施設を利用する旅行に対して、一人泊あたり総旅行代金の1/2、5,000円を上限に支援することで旅行需要を喚起します。

併せて、旅行期間中に土産物店や観光施設等で利用できるクーポン券を付与することにより、県内消費も喚起します。

また、GoTo トラベル事業については、国が主体となって行った後、ソフトランディング措置として都道府県が主体となって行うこととなっているため、本県においても、より県内の観光事業者の支援につながる仕組みで実施します。

◇「蘇りの地、わかやま」宿泊得々キャンペーンによる誘客促進

県内に宿泊された方の中から抽選で現金キャッシュバックやペア宿泊券、プレミアム和歌山認定商品が当たるキャンペーンを実施します。

<時期> ~5年2月

<内容> 県内に宿泊し、応募すると毎月抽選で豪華景品プレゼント（現金、ペア宿泊券、プレミアム和歌山認定商品など）

2021実績

◇わかやまりフレッシュプラン2nd・3rd

<時期> 6月22日～12月31日 ※4年1月1日チェックアウト分まで

<対象> プラン利用者：和歌山県内在住の方

プラン利用可能事業者：事前に登録された宿泊施設、旅行者

クーポン取扱店舗：GoTo トラベル地域共通クーポン取扱店舗で、リフレッシュクーポン取扱店舗として登録のある県内の土産物店など

<内容> 1人、最大10,000円（総旅行代金の1/2以内）を割引リフレッシュクーポン（2,000円分）の付与

※対象プラン等：1人あたり5,000円以上の日帰り・宿泊プラン（利用回数及び泊数の制限なし）

※クーポン：宿泊・日帰りとも同額。利用は旅行期間中

<方法> 電子チケット（額面5,000円）を2,500円で販売

※1人1泊（1回）あたり4枚まで

上記利用でリフレッシュクーポン（紙チケット／額面1,000円）を2枚配布

<実績> 決算 4,087,617千円（執行率 96.9%）

旅行支援（チケット）

参加事業者数 421社（宿泊事業者346社、旅行者75社）

販売枚数 1,054,414枚

利用枚数 1,048,463枚（利用率 99.4%）

利用人数 539,913人

消費喚起（クーポン）

取扱店舗数 2, 222店舗

利用枚数 1, 086, 539枚

効果額 約63億円(※)

※旅行支援 約26億円×2 + クーポン 約11億円

◇「蘇りの地、わかやま」宿泊得々キャンペーン2nd

<期間> 10月18日～4年2月28日

<内容> 県内宿泊施設に宿泊し応募した方の中から抽選で毎月現金10万円等の豪華賞品をプレゼント

<賞品> 現金10万円：毎月3人

3万円分ペア宿泊券：毎月20人

県内観光施設ペアチケットまたは商品券

A アドベンチャーワールド入場券：毎月20人

B 白浜エネルギーランド入場券+グラスボート乗船券+三段壁洞窟入場券：毎月20人

C 串本海中公園水族館・海中展望塔入場券+紀の松島めぐり乗船券：毎月20人

D 黒潮市場プリペイドカード5千円分：毎月20人

プレミアム和歌山認定商品4千円分：毎月60人

同2千円分：毎月120人

<応募数> 14, 181人

【内訳】県内 11, 361人、県外 2, 820人

男性 6, 164人、女性 7, 856人、無回答 161人

II 安心・安全な観光地づくり

観光産業の雇用の維持と事業の継続に向け、業種別ガイドラインや新たな旅のエチケットの遵守など、感染拡大防止策の着実な実施を促すとともに、県内観光事業者に対し、新型コロナウイルス感染症に関する情報の提供や相談の受付、業況把握など、安心で安全な観光地の形成に向け、関係事業者と一緒に取り組めます。

◇ガイドラインの徹底等による宿泊施設・観光施設等のコロナ対策の充実

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、業種別ガイドラインや新たな旅のエチケットの遵守を促す等、コロナ対策を充実することにより、旅行先として安心して安全な観光地「和歌山」を実現します。

◇県内観光事業者に対し、コロナ関連情報の提供及び相談受付や業況の把握等の支援

公式HPを活用し、新型コロナウイルス感染症や支援に関する国や県などの情報を発信するとともに、観光事業者からの相談の受付や業況の把握に努め、効果的な観光施策の立案、実施に繋がります。

◇飲食・宿泊・サービス業等支援金(第Ⅳ期) =New=

コロナ感染拡大が長期化する中、人流抑制、商品流通の停滞等により影響を受けた業種に対し、1月、2月、3月の売上が、平成31年から令和3年のいずれかの年で同月比30%以上減少した事業者に対し、従業員規模や売上減少の大きさを考慮の上、支援金を支給します。

＜対象者＞ 対象月のうち、ひと月の売上が前年同月比で30%以上減少した中小法人・個人事業主であって県内に対象となる店舗等を有し、令和4年3月1日までに営業を開始し、対象店舗等において営業の実態があるもの
ただし、3年1月、2月、3月の売上高合計が15万円未満の事業者は除く

＜対象月＞ 1月、2月又は3月

＜給付額＞ 従業員(※)規模に応じ、15万円から100万円

※常時使用する従業員の数	5人以下	15万円
	6人以上	20人以下 30万円
	21人以上	50人以下 45万円
	51人以上	100人以下 60万円
	101人以上	300人以下 80万円
	301人以上	100万円

※50%以上減少の場合は給付額が倍

＜申請期間＞ 4月18日から5月31日(月)まで(予定)

2021実績

◇飲食・宿泊・旅行業給付金

＜内 容＞ 新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発令されたことを受け、売上が大幅に減少している和歌山県内の飲食業、宿泊業及び旅行業の事業継続を下支えするため、給付金により、事業の継続と雇用の維持を実現

＜対 象 者＞ 対象月のうち、ひと月の売上が前年同月比で30%以上減少した中小法人・個人事業主であって次の業種に該当する事業者
ただし、令和2年1月、2月の売上高合計が15万円未満の事業者は除く

ア 飲食業：食品衛生法の許可(※)を受けた事業者であって、和歌山県内に店舗を有する者

イ 宿泊業：旅館業法の許可(※)を受け、又は住宅宿泊事業法の届出(※)をしている事業者であって、県内に施設を有する者

ウ 旅行業：旅行業法の登録(※)を受けた事業者であって、県内に主たる営業所を有する者

※ 令和2年12月31日までに許可等を得、対象店舗等で営業の実態があるもの

エ 関連事業者：食品製造業者及び食品販売業者など
酒類などの製造者又は酒類の販売事業者
自動車運転代行事業者
海上運送事業者

<対象月> 令和3年1月又は2月

<給付額> 従業員(※)規模に応じ、15万円から60万円

※常時使用する従業員の数	5人以下	15万円
	6人以上20人以下	30万円
	21人以上50人以下	45万円
	51人以上	60万円

<申請期間> 3月23日～6月30日

<支給件数> 3,497件

<支給額> 619,050千円

◇飲食・宿泊・サービス業等支援金（第Ⅰ期）

<内容> 新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受けている県内
中小企業者の事業継続を支え、雇用の維持を図るため、支援金を給付

<対象者> 対象月のうち、ひと月の売上高が前年同月比又は前々年同月比で30%
以上減少した中小法人・個人事業主であって飲食業・宿泊業・サー
ビス業・食品製造業などを営む事業者
ただし、比較に使用した年の4月から6月までの3か月の売上高合計
が15万円未満の事業者は除く

<対象月> 4月、5月又は6月

<給付額> 従業員(※)規模に応じ、15万円から60万円

※飲食・宿泊・旅行業給付金と同様

<申請期間> 7月7日～9月30日

<支給件数> 7,720件

<支給額> 1,324,050千円

◇飲食・宿泊・サービス業等支援金（第Ⅱ期）

<内容> 新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受けている県内
中小企業者の事業継続を支え、雇用の維持を図るため、さらに支援金
を給付

<対象者> 対象月のうち、ひと月の売上高が前年同月比又は前々年同月比で30%
以上減少した中小法人・個人事業主であって飲食業・宿泊業・サー
ビス業・食品製造業などを営む事業者 ※地場産業も対象に追加
ただし、比較に使用した年の7月から9月までの3か月の売上高合計
が15万円未満の事業者は除く

<対象月> 7月、8月又は9月 ※地場産業は4～6月分も追加受給

<給付額> 従業員(※)規模に応じ、15万円から60万円

※飲食・宿泊・旅行業給付金と同様

<申請期間> 10月12日～12月28日

<支給件数> 9,714件

<支給額> 1,665,750千円

◇飲食・宿泊・サービス業等支援金（第Ⅲ期）

<内 容> 新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受けている県内中小企業者の事業継続を支え、雇用の維持を図るため、さらに支援金を給付

<対 象 者> 対象月のうち、ひと月の売上が前年同月比又は前々年同月比で30%以上減少した中小法人・個人事業主であって飲食業・宿泊業・サービス業・食品製造業などを営む事業者 ※地場産業含む
ただし、比較に使用した年の10月から12月までの3か月の売上高合計が15万円未満の事業者は除く

<対 象 月> 10月、11月又は12月

<給 付 額> 従業員(※)規模に応じ、15万円から100万円

※常時使用する従業員の数	5人以下	15万円
	6人以上20人以下	30万円
	21人以上50人以下	45万円
	51人以上100人以下	60万円
	101人以上300人以下	80万円
	301人以上	100万円

<申請期間> 4年1月6日～2月16日

<支給件数> 8,664件

<支給額> 1,446,600千円

◇和歌山県宿泊事業者事業継続支援補助金

<内 容> 旅行者が安心して旅行を楽しめる環境の整備を図るため、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた県内宿泊事業者が実施する、新たな需要を創造する事業や安全・安心を確保するための事業に係る経費の一部を補助

※補助率：4分の3以内（令和2年5月14日～令和3年3月31日までに着手した事業は2分の1以内）

※補助上限額：客室数及び補助率に応じ、300万円から750万円

客室数	補助対象経費上限額	補助上限額 (括弧内は補助率1/2)
100室以上	1,000万円	750万円(500万円)
50室以下	800万円	600万円(400万円)
49室以下	600万円	450万円(300万円)

<申請期間> 7月7日～11月30日

<補助件数> 277件

<補 助 額> 836,417千円

(5) 「多様な旅のスタイル」の普及・定着

ポストコロナに向けては団体旅行から個人旅行へのシフトがさらに進むことが予想され、また、インバウンド観光客への依存度が高かった観光地においては、観光ビジネスのパラダイムシフトに対応した誘客の多角化が求められているところです。

このため、ワーケーションや多拠点居住&テレワーク、ユニバーサルツーリズムなど多様な旅のスタイルへの対応に加え、働き方改革や社会貢献活動に取り組む企業と連携し、和歌山ならではの「サステナブルエコツーリズム」を活用した企業研修やCSR活動の誘致、国内周遊型の報奨・研修旅行、国際会議や企業会議参加者の「ブレジャー」需要に対応したプログラム開発・広域連携プロモーションに取り組めます。

また、ポストコロナにおける自然に触れ合うアウトドア志向の高まりを踏まえ、サイクルツーリズムやアドベンチャーツーリズム、自然とのふれあい体験などアウトドア観光の魅力発信による誘客の多角化を進めます。

◇ワーケーション、多拠点居住&テレワークなど「多様な旅のスタイル」の普及・定着

遠隔勤務を活用したワーケーション、さらには「暮らすように旅をする」など個人のライフスタイルの変化やユニバーサルツーリズムなど多様な旅のスタイルに対応した観光地づくりを目指します。

○ワーケーションの推進を通じた誘客 [詳細 104 頁](#)

○上質な観光サービスの創出 [詳細 140 頁](#)

◇サステナブルエコツーリズムを活用した企業研修・CSR活動の誘致

働き方改革や社会貢献活動に取り組む企業と連携し、参詣道トレッキングやサイクルツーリズム、世界遺産の参詣道保全活動「道普請」を取り入れた本県ならではのワーケーションプログラムによる企業研修やCSR活動を誘致します。

○参詣道環境保全活動をテーマとした誘客 [詳細 48 頁](#)

◇広域連携による MICE 誘致に向けたプログラム開発

異なる魅力を有する複数の地域を広域周遊する報奨・研修旅行や、国際会議や企業会議参加者の「ブレジャー」需要に対応したプログラム開発に向け、他府県と連携した共同プロモーションに取り組めます。

○コンベンション誘致推進 [詳細 109 頁](#)

◇サイクルツーリズム、自然とのふれあい体験などアウトドア観光の推進

ポストコロナにおける自然に触れ合うアウトドア志向の高まりを踏まえ、本県の海・川・山・空などの豊かな自然を活かしたアクティビティ体験でリフレッシュしてもらうため、アウトドア観光の魅力発信や体験メニューの充実を図ります。

○太平洋岸自転車道を活用したモバイルスタンプラリーの拡充 [詳細 13 頁](#)

○アウトドア観光ポータルサイトの機能強化 [詳細 30 頁](#)

○アウトドア観光の推進 [詳細 29 頁](#)

(6) インバウンドの段階的回復に向けたプロモーション展開

世界的旅行ガイドブック「ロンリープラネット」が、その年の最も旬な旅行先を紹介する「Best in Travel 2021」のサステナビリティ（持続可能性）部門において、読者投票で「和歌山」が世界で唯一選出されました。また、3年10月には世界的に著名な飲食店ガイドブック「ミシュランガイド」に初めて本県の飲食店が掲載されるなど、海外との往来が制限される現状においても、本県の観光資源は依然として高い評価を受けています。

「サステナブル（持続可能）」であることは、観光客が旅行先を検討するうえで最も重要な要素の一つとなっており、近年における大きなトレンドといえます。本県には、世界的に知名度が向上してきた熊野や高野山だけでなく、和歌の浦、白浜温泉、西国三十三所巡りなど古くから持続可能な形で維持されてきた観光地（参詣地）がたくさんあり、その魅力は世界各国から高い評価を得ています。

国内外の様々な機関が実施した調査においても、コロナ収束後に訪れたい国として日本は常に上位にあり、訪日旅行再開への期待が高まっていることから、新型コロナウイルス感染症の収束期にはインバウンドの急回復が期待できるところです。

インバウンドの早期回復は厳しい状況にありますが、県では、こういった情勢を踏まえ、古くから維持されてきた観光地（参詣地）であり、従来から高い評価を得ている熊野や高野山の世界遺産エリアのより一層の情報発信に加え、国立公園・ジオパークなど豊かな自然を生かしたアウトドアでの体験プログラム、日本庭園など文化的コンテンツを重視したガーデンツーリズム、「食」をテーマにしたガストロノミーツーリズムなどテーマに応じた情報発信をより強化するとともに、今後、往来の制限が解除された国・地域から順次、市場ごとの特性とポストコロナにおける旅行スタイルの変化に応じたプロモーションを展開します。

※事業の詳細及び2021年実績は152頁～183頁を参照

2 和歌山を売り出す

(1) 『サイクリング王国わかやま』で和歌山を売り出す

サイクリングは、爽快さ、楽しさを気軽に体感できるアクティビティであり、従来の交通手段では訪れることのできない地域を自転車でめぐること、県内周遊の促進、地域での消費拡大に繋がるものと考えています。

「サイクリング王国わかやま」は、ニックネームを「WAKAYAMA 800」とし、県内全域に800kmを超えるサイクリングの推奨ルートと絶景や温泉、食などを組み合わせることで、無限大のサイクリング旅が楽しめる、まさに「和歌山がサイクリングの最適地」というイメージ定着を図るものです。

また、サイクリストに優しい宿泊施設の認定やサイクルステーションの拡大、公式WEBサイトによる発信、県内サイクリングイベントへの支援などにより、利用者のニーズに応えたサイクリング環境を提供しています。

サイクリング愛好者だけでなく、初心者、女性、健康志向の高い方など、幅広いターゲットに訴求できるよう、サイクリングと旅の楽しみ方を国内外に発信します。加えて、3年5月にナショナルサイクルルートの指定を受けた太平洋岸自転車道やサイクルトレインを活用し、県内周遊の促進・滞在時間の延長を図るとともに、プロモーションを観光局で一元的に行うことで、より効果的なサイクルツーリズムの推進に取り組みます。



①情報発信・誘客促進

◇モバイルスタンプラリーの拡充

サイクリングの楽しみ方のひとつとして、平成29年度から県内全域を対象に実施しているサイクリスト向けのモバイルスタンプラリーを拡充し、サイクリストの周遊を一層促進します。

<時期> 4月～5年3月末（予定）

<内容> 有名アニメとタイアップした特別企画の実施

モバイルスタンプラリーの拡充

太平洋岸自転車道（※）を活用した企画の実施

※太平洋岸自転車道・・・千葉県銚子市を起点として神奈川、静岡、愛知、三重、和歌山県の各太平洋沿岸を走り、和歌山市に至る延長約1,400kmの自転車道。

◇メディア展開

有名自転車メーカー、有名アニメ等とのタイアップにより、国内外に効果的な情報発信を行います。

○有名アニメとのタイアップ

・和歌山の観光地の書下ろし

・WAKAYAMA 800モバイルスタンプラリーとの連動

・阪急阪神グループタイアップキャンペーンでのPR 詳細 119 頁

○有名メーカーとのタイアップ

- ・映像、雑誌等の情報発信におけるスポーツバイクの使用
- ・メディア展開に伴う協力

○雑誌、WEBによる情報発信

<時期> 随時

<内容> 健康・アウトドア関連雑誌や自転車専門誌、サイクリング関連WEB等

◇パンフレット・特設WEBサイト等による情報発信

○県観光情報誌「紀州浪漫」による情報発信

<時期等> 随時 6.5万部

<内容> 「サイクリング王国わかやま」をテーマとした観光資源やモデルコース、特別企画等を紹介

<展開> 全国のメディア、書店（110店舗）等

○専用パンフレットによる情報発信

<時期> 随時

<内容> WAKAYAMA 800のサイクリング情報を紹介

<展開> サイクルショップ、サイクリストに優しい宿等

○マップ、特設WEBサイト（県観光連盟）による発信

<時期> 随時

<内容> 県内の周遊ルートやサイクルステーション、サイクリストに優しい宿、ブランディング映像などのサイクリング情報を、マップや特設WEBサイトにより発信

○Facebook を活用した情報発信

<時期> 随時

<内容> 「WAKAYAMA 800 サイクリング王国わかやま」公式ページを更新

◇広域連携による情報発信

○近畿2府4県が連携した広域サイクルルートを形成し情報を発信します。

<時期> 随時

<内容> 広域サイクリングマップの作成、試走会等のイベントを実施

◇サイクリングイベントの支援

新たに開催される民間主催のサイクリングイベントを支援し、サイクリストが年間通じて県内各地でイベントに参加でき、安心して走行できる環境を作ります。

<時期> 通年

◇サイクリングイベントでの情報発信

○CYCLE MODE RIDE OSAKA 2023

<時期> 5年3月（予定）

<場所> 万博記念公園（大阪府）

<内容> 「サイクリング王国わかやま」をテーマとした観光素材やモデルコースを来場者に紹介

ONAGOYA CYCLE SPORTS DAYS

<時 期> 未定

<場 所> イオンモール熱田（愛知県）（予定）

<内 容> 「サイクリング王国わかやま」をテーマとした観光素材やモデルコースを来場者に紹介

2021 実績

◇モバイルスタンプラリー“4 t h season”の実施

<時期> 7月1日～4年3月21日

<内容> WEBサイトからユーザ登録を行い、各チェックポイント設置看板の二次元コードを読み取り、電子スタンプを獲得

（チェックポイント：県内60か所）

- <賞等>
- ・パーフェクト賞：1人（賞品：「GARMIN」スマートウォッチ）
パーフェクト達成者には「達成証」と「オリジナルサコッシュ」&「スポーツハンカチ」をプレゼント
 - ・パーフェクト頑張った賞：10人（賞品「Bontrager」ライト）
 - ・30ポイント賞：5人
（賞品：サイクリストに優しい宿ペア宿泊券 3万円程度）
 - ・10ポイント賞：100人（賞品：「オリジナルサコッシュ」）
 - ・エリアクリア賞：30人（賞品：地元特産品）
 - ・山岳賞：3人（賞品：オリジナルジャージ）
山岳ポイント5か所（高野山観光情報センター、山の家おいし、千葉山、田辺市龍神ごまさんスカイタワー、妙法山阿弥陀寺）をすべて達成
 - ・Wチャンス賞：200人（賞品：「スポーツハンカチ」）
 - ・リピーター賞：20人（賞品：QUOカード5,000円分）
 - ・インスタ賞：10人（賞品：地元特産品）
 - ・太平洋岸自転車道賞：10人（賞品：地元特産品）



<参加者>

- ・参加者：5,762人（男性4,336人、女性1,426人）
- ・年代別：10代以下：169人、20代：688人、30代：1,194人、40代：1,934人、50代：1,364人、60代以上：413人
- ・エリア別：大阪府1,845人、兵庫県315人、奈良県274人、京都府120人、愛知県118人、東京都110人、三重県87人、神奈川県66人、滋賀県49人、和歌山県2,503人、その他275人
（参加比率：県外56%、県内44%）
- ・スタンプラリーチェックポイントでのチェックイン数：計39,052
- ・チェックイン数 上位3か所

1位：市民スポーツ広場（和歌山市）1, 822

2位：いわで御殿（岩出市）1, 699

3位：おととつと広場（和歌山市）1, 602

・パーフェクト達成者：113人

<特別版>

弱虫ペダル特別版スタンプラリーを期間限定で実施

実施期間：10月18日～4年1月16日

①チェックポイント（全5か所）で、キャラクターと記念撮影

②全てのチェックポイント（全5か所）でスタンプを獲得した人の中から抽選で限定グッズを300人にプレゼント

◇Instagram 投稿キャンペーンの実施

<時期> 7月1日～4年3月21日

<賞品等> 地元特産品 10人

<投稿数> 7, 543件

◇サイクリングロード利用促進事業（主管：県地域政策課）

ORIDE ON WAKAYAMA ポイントランキングの実施

<時期> 7月1日～4年3月21日

<内容> 県が推奨するサイクリングコースの走行や県内サイクリングイベント参加によりポイントを獲得し、ポイント獲得上位者のランキング表示や景品贈呈、完走特典などのゲーム性を持たせることで、県内外のサイクリストが何度でも走りたくなる仕組み

チェックポイントは、各コースのサイクルステーションや主要施設に設置（全54か所）

利用者は、チェックポイントを訪れた際に、スマートフォン等のGPS機能を活用することで、チェックインができる。

コース内に設定された全てのチェックポイントでチェックインを行うことで、ポイントが獲得可能

<利用者数> 500人（4年3月21日時点）

◇太平洋岸自転車道の魅力発信動画の制作及びSNS広告による動画拡散

<テーマ> 和歌山サイクリング旅 和歌山で休日を満喫

<内容> サイクリング系インフルエンサー2人が和歌山県のおすすめルートをサイクリングし、そのエリアの魅力とサイクリングする楽しさを表現。

Route. 1 太平洋岸自転車道

Route. 2 紀の川サイクリングロード～高野山

Route. 3 箕島漁港～千葉山～あらぎ島

Route. 4 熊野三山巡り

また、SNS広告を出稿し、その動画の拡散を図る。



<インフルエンサー>

①ベキさん

Instagram アカウント mooooo000min フォロワー 28,000人
関連投稿回数 8回 いいね合計 24,890

②笈五郎さん

Instagram アカウント goro.rog フォロワー 7255人 テレビ出演あり
関連投稿回数 2回 いいね合計 1,323

<掲載メディア>

「バイシクルクラブWEB」ピークス(株) 12月23日公開
「サイクルスポーツWEB」(株)八重洲出版 12月27日公開
「天然生活3月号」(株)扶桑社 4年1月20日発行

<SNS広告>

Facebook 広告を12月24日から12月31日まで配信
Facebook 及び Instagram 広告を4年2月25日から3月25日まで配信

<交通広告>

JR西日本「WEST ビジョン」での動画放映

運行路線：大阪環状線、ゆめ咲線、京都線、神戸線、琵琶湖線、宝塚線、東西線、
学研都市線、大和路線、おおさか東線、湖西線、山陽線、福知山線、
阪和線、関西空港線、北陸線、草津線、赤穂線、きのくに線

期 間：4年3月21日から3月27日

JR西日本「WEST ビジョン」及び地下鉄御堂筋線「御堂筋ビジョン」での動画放映

運行路線：大阪環状線、ゆめ咲線、地下鉄御堂筋線

期 間：4年3月21日から3月27日

<WEB広告>

Google ディスプレイ広告を4年3月14日から3月31日まで配信

◇自転車ロードレースのプロチームとコラボ【主管：東牟婁振興局企画産業課】

<時期> 7月、3月

<協力> KINAN Racing Team

<内容> 県内唯一の自転車競技のプロチーム「KINAN Racing Team」所属の山本大喜選手、花田聖誠選手協力のもと、熊野地域のサイクリングPR動画を制作
制作した動画は県関係課や KINAN Racing Team、その他団体等のHPやSNSを通じて発信

<動画> 『KINAN Cycling Team 山本大喜選手 熊野を走る～和歌山県新宮市 編～』

『KINAN Racing Team 山本大喜選手 花田聖誠選手熊野を走る
～和歌山県那智勝浦町那智山 編～』



◇メディア展開

○新聞、雑誌、WEB等

名 称	掲載テーマ	発行日等
サンケイ広告(株)奈良支社 「Prime Time」	旅先を自転車で愉しむ	4月28日
エバーグリーン(株) 「帰国JPただいま日本」(6月発行号)	WAKAYAMA 800モバイルスタンプラリー	6月1日
和歌山だより(5月号)	「太平洋岸自転車道」の整備完了	7月1日
和歌山だより(7月号)	太平洋自転車道のナショナルサイクルルート指定 (WAKAYAMA 800モバイルスタンプラリー)	7月1日
NHK「マイあさ!関西」	サイクリング王国「WAKAYAMA 800」 水の国、わかやま。	7月2日
きのくに21	サイクリング王国「WAKAYAMA 800」、NCR等	7月11日
ラジオ県政最前線	WAKAYAMA 800	8月3日
(株)八重洲出版 「Cycle Sports」	JRきのくに線サイクルトレイン実証実験	9月1日
ピークス(株) 「BiCYCLE CLUB」	JRきのくに線サイクルトレイン実証実験	9月1日
(株)自転車創業 「FRAME」	JRきのくに線サイクルトレイン実証実験	9月2日
メール配信「ツール・ド・ニッポン通信」	サイクルトレイン実証運行	9月16日
ピークス(株) 「BiCYCLE CLUB 11月号」	女子3人旅	9月20日
ピークス(株) 「ランドネ10月号」	女子3人旅	9月23日
(株)自転車創業 「FRAME」	自転車で行く南紀白浜めぐり	9月24日
阪急電鉄沿線情報誌「TOKK(10月1日号)」	弱虫ペダル×WAKAYAMA 800	9月25日
Lism10月号	サイクルトレイン実証運行	9月25日

月刊『コロンブス』10月号	サイクルトレイン実証運行	9月29日
ピークス(株) 「フィールドライフ」	女子3人旅	9月30日
「FRAME」ブログ	サイクルトレイン実証運行	9月下旬
「サイクルスポーツ.jp」Webサイト	サイクルトレイン実証運行	9月下旬
バイシクルクラブWebサイト	サイクルトレイン実証運行	9月下旬
京王百貨店新宿店「三重・和歌山・愛知 物産と観光展」でのポスター掲出	弱虫ペダル×WAKAYAMA800	10月14日 ~19日
和歌山放送ボックス出演	弱虫ペダル×WAKAYAMA800	10月15日
弱虫ペダル GLORY LINE 公式 Twitter	弱虫ペダル×WAKAYAMA800	10月15日
バイシクルクラブ12月号	サイクルトレイン実証運行	10月20日
NHK「ギュギュっと和歌山」	サイクルトレイン実証運行	10月20日
季刊誌サイクル No. 51 秋号	サイクルトレイン実証運行	10月22日
(株)京阪神エルマガジン社 「SAVVY」12月号	和歌山でお気軽サイクリング	10月22日
(株)京阪神エルマガジン社 「L.maga.jp」	和歌山でお気軽サイクリング	10月22日
SAVVY10月号	サイクルトレイン実証運行	10月23日
きのくに21	サイクルトレイン実証運行	10月24日
阪急電鉄沿線情報誌「TOKK(11月1日号)」	弱虫ペダル×WAKAYAMA800	10月25日
自転車日和 vol. 60	サイクルトレイン実証運行	10月29日
ウメダFM「週末GOGOナビ!!」	弱虫ペダル×WAKAYAMA800	11月4日
秋田書店 「週刊少年チャンピオン」	弱虫ペダル×WAKAYAMA800	11月4日
辰巳出版(株) 「自転車日和」	サイクルトレインで和歌山をサイクリング	11月5日
リビング和歌山(11月6日号)	サイクルトレイン実証運行	11月6日

BS11 スペシャル番組「おいでよ和歌山第4弾～絶景！爽快！海沿いサイクリング旅～」	サイクルトレイン実証運行	11月11日
総合情報誌「和-nagomi-」11月号	サイクルトレイン実証運行	11月12日
ピークス(株) 「BiCYCLE CLUB」	JRきのくに線サイクルトレイン イン通年実施	11月25日
産経新聞大阪府下へ広告掲出	サイクルトレイン通年実施、 ミシュラン	11月28日朝刊 11月30日朝刊
SAVVY ムック本	サイクルトレイン通年実施	11月30日
(株)京阪神エルマガジン社 「SAVVY 温泉とおやつ」MOOK本	和歌山でお気軽サイクリング	11月30日
(株)八重洲出版 「Cycle Sports」	JRきのくに線サイクルトレイン イン通年実施	11月30日
Cycle Sports WEB	サイクルトレイン通年実施	11月下旬
バイシクルクラブWebサイト	サイクルトレイン通年実施	11月下旬
紀州浪漫冬号	サイクルトレイン通年実施	12月1日
ロカルわかやま	サイクルトレイン通年実施	12月1日
和歌山放送「ぐるっと紀州路」	ARIDA CYCLING MEETING	12月2日
(株)自転車創業 「FRAME」	JRきのくに線サイクルトレイン イン通年実施	12月3日
メール配信「ツール・ド・ニッポン通信」	サイクルトレイン通年実施	12月10日
(株)八重洲出版 「Cycle Sports 3月号」	京奈和自転車道実走大調査	4年1月20日
(株)扶桑社 「天然生活 4月号」	サイクリング動画公開情報	4年2月20日
Cycle Sports WEB	サイクルトレイン区間拡大	4年3月29日
WEB e-bike	サイクルトレイン区間拡大	4年3月29日

○公式 Facebook

<時期> 平成31年1月16日～

<内容> 「WAKAYAMA 800 サイクリング王国わかやま」

県内のサイクリングコースやブランディング映像、サイクリストに優しい宿等を紹介

いいね！7,061人 フォロワー7,468人

投稿数 215回（今年度23回）（4年3月25日現在）

◇サイクリングロード利用促進事業（主管：県地域政策課）

○サイクリングコースマップ

<内 容> 県内のおすすめサイクリングコース、コース周辺の観光情報や注意箇所などを掲載

<展開先> 県内市町村、近畿圏内スポーツバイク販売店、近畿圏内各サイクリング協会等

○和歌山県サイクリング総合WEBサイトによる発信

<内 容> 県内の周遊ルートやサイクルステーション、サイクリストに優しい宿など、最新のサイクリング情報を発信

○和歌山県サイクリングイベント等実施支援事業補助金

<内 容> 自立的かつ継続的な民間主体のサイクリングイベント等が県内各地で催される状況を創出することで、地域活性化を図ることを目的として、県内でサイクリングイベント等を実施する民間事業者等を支援

補助率：1年目 1/3 以内、2年目 1/4 以内

支援額：1団体あたり1, 200千円まで

ただし、知事が特に必要と認める大規模イベントを実施する団体にあつては4, 000千円まで

<支援実績> 8件のイベント開催を支援

◇JR西日本主催「観光素材説明会」の提案資料へ掲載

[詳細 126 頁](#)

◇都市圏プロモーションでの発信 [詳細 120 頁](#)

◇サイクリングイベントでの情報発信

○ONAGOYA CYCLE SPORTS DAYS 2021

<時 期> 4月17～18日

<場 所> イオンモール熱田（愛知県）

<内 容> サイクリング関連および観光PR

<主 催> 名古屋サイクルスポーツデイズ実行委員会

○CYCLE MODE RIDE OSAKA 2021

<時 期> 7月24～25日

<場 所> 万博記念公園（大阪府）

<内 容> サイクリング関連および観光PR

<主 催> テレビ大阪

○CYCLE MODE RIDE OSAKA 2022

<時 期> 4年3月5～6日

<場 所> 万博記念公園（大阪府）

<内 容> サイクリング関連および観光PR

<主 催> テレビ大阪

○ONAGOYA CYCLE SPORTS DAYS 2022

<時 期> 4年3月19～20日

<場 所> イオンモール熱田（愛知県）

<内 容> サイクリング関連および観光PR

<主 催> 名古屋サイクルスポーツデイズ実行委員会

②連携事業・受入体制整備

◇サイクルトレイン・サイクルバスの推進【主管：観光振興課、総合交通政策課】

自転車を解体せずに鉄道車両やバス内に持ち込めるサイクルトレイン等の導入・拡充を鉄道事業者等に働きかけ、サイクリストの利用環境の整備を推進します。

◇JRきのくに線サイクルトレインとの連携

令和3年度にJR紀伊田辺駅—新宮駅間で実証運行及び通年実施を開始したJRきのくに線サイクルトレイン（4月1日から御坊駅—新宮駅間に区間拡大）を利用したお勧めサイクルルートやWEB掲載、Instagram投稿キャンペーン等情報発信を積極的に行い、サイクルトレインの路線拡充を促進するとともに、県内への誘客を促進します。

◇サイクリストに優しい宿泊施設の拡充

自転車の部屋への持ち込みや、修理道具の貸し出しサービスなどを提供する、サイクリストに優しい宿泊施設を拡充するため、各宿泊施設へ働きかけを行います。

<時期> 随時

◇サイクルステーションの拡充

休憩や空気入れの貸出を行う「サイクルステーション」への協力店を募集し、サイクリストの受入環境の充実を図ります。

<時期> 随時

◇サイクリングロード整備事業【主管：県道路局】

海・川・山の3つのサイクリングロードにおいて、専用化の推進や案内看板、路面表示の充実など、より安全で快適な利用環境の整備を推進します。

また、令和3年度に「ナショナルサイクルルート」の指定を受けた太平洋岸自転車道においては、引き続き、急勾配箇所の注意喚起看板の設置など、国をはじめ関係自治体と連携し、利用環境の更なる向上に取り組みます。

2021実績

◇JRきのくに線サイクルトレインとの連携

○JRきのくに線におけるサイクルトレインの実証実験にかかる観光PR

きのくに線の利用促進及び観光誘客のため、PRを積極的に実施

<実施区間> きのくに線 普通列車 紀伊田辺駅～新宮駅の各駅間

<実施期間> 9月1日～11月30日

<実施時間> 平日 9時～17時 土・日・祝日 終日

<実施内容> 上記期間中の普通列車について、自転車をそのまま持ち込み可能
予約不要、乗車台数の制限なし、通常運賃のみで乗車可能

※利用者自身が固定具（ゴムバンド等）を持参し、手摺等に固定

○JRきのくに線におけるサイクルトレイン2022の通年実施について

きのくに線の利用促進及び観光誘客のため、PRを積極的に実施

<実施区間> きのくに線 普通列車 紀伊田辺駅～新宮駅の各駅間

<実施期間> 12月1日～4年12月31日

<実施時間> 平日 9時～終電 土・日・祝日 終日

<実施内容> 実証運行と同様

◇「サイクリストに優しい宿」の認定

<認定数> 73件（4年3月25日現在）

<内 容> 下記条件を満たす県内宿泊施設を「サイクリストに優しい宿」として、県・県観光連盟が認定し、認定プレートを交付



<条 件> 【必須サービス】

- ①自転車の屋内保管（自転車を組み立てた状態で、客室への持ち込みが可能、一般客の立ち入らない施設可能な場所（バックヤードや車庫等）で保管が可能）
- ②「スポーツバイク対応空気入れ」及び「修理工具」の貸出
- ③手荷物一時預かり（チェックイン前/チェックアウト後）
- ④宅配便（自転車を含む）の受取・発送サービス

【あればより良いサービス（任意サービス）】

- ①洗濯機/脱水機の貸出、またはランドリーサービス（即日/翌日渡し）
 - ②自転車の洗浄・作業用スペース
 - ③周辺のサイクリングロードやサイクルステーションなどの案内
- ※認定施設は、和歌山県サイクリング総合WEBサイトに掲載

◇サイクリングロード利用促進事業（主管：県地域政策課）

○サイクルステーションの設置

<内 容> 民間の店舗や公共施設等で、「休憩（駐輪）スペースの提供」、「トイレの提供」、「スポーツバイク対応空気入れの貸出」を行う施設をサイクルステーションとして登録。施設によっては、バイクラックの設置や自転車修理用工具の貸出なども実施

県内329か所（4年3月15日時点）

◇川のサイクリングロード魅力発信事業【主管：那賀振興局企画産業課】

○KINOKAWA リフレッシュラリーwith 宝さがし 2nd

<時 期> 9月17日～4年1月21日

<内 容> 紀の川サイクリストおもてなしスポットを自転車で巡ってシールを集めると枚数に応じて賞品が当たるラリーイベント。Instagram フォトコンテスト・謎解きゲームも同時開催

<展 開> ①紀の川サイクリストおもてなしスポットの整備

紀の川サイクリストおもてなしスポット 全57か所

- ・紀の川市・岩出市内にある飲食店や土産物店などの店舗にバイクラック、空気入れ及び工具を常備
- ・店舗ごとにサイクリストをおもてなしする独自のサービス
- ・のぼりとステッカーが目印

②レンタサイクル利用環境の充実

貸出窓口全6か所（紀の川市：5か所、岩出市：1か所）

③他機関と連携した周知・広報

紀の川サイクリングクラブ、NPO法人サイクリング王国わかやま推進協議会、紀の里農業協同組合、和歌山電鐵(株)、JR西日本和歌山支社、和歌山線活性化検討委員会、紀の川市、岩出市、県

<主 催> 紀の川エリア観光サイクリング推進協議会

◇高野山麓サイクリングの情報発信【主管：伊都振興局企画産業課】

<内 容> 散走からヒルクライムまで、高野山麓でのサイクリングの情報をYouTubeで発信

<動 画> ・高野山麓まちなみ巡りとスイーツ散走
・高野山麓周遊サイクリング
・高野山麓ヒルクライム
・高野山麓サイクリング（ダイジェスト版）

◇きのくに線サイクルトレイン乗ってみた【主管：西牟婁振興局企画産業課】

<時 期> 11月

<内 容> 企画産業課の職員がきのくに線で実施している「サイクルトレイン」を体験し、その様子を南紀エリア観光推進実行委員会のInstagramで発信（2,000回再生）

◇フォトブックとともにめぐる！南紀エリア観光デジタルスタンプラリー

【主管：西牟婁振興局企画産業課】

<時 期> 4年1月24日～3月9日

<内 容> 南紀エリア観光推進実行委員会のInstagramのフォロワーが投稿した写真をもとにフォトブックを作成
そのフォトブックに掲載したスポットを巡るデジタルスタンプラリーを開催し、対象ツアーに「自転車で巡る旅」を設定

◇自転車部への誘致プロモーション【主管：西牟婁振興局企画産業課】

<時 期> 8月16日

<内 容> 南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会が関西圏の高校自転車部（28校）に対し、合宿誘致のためDMを送付

◇サイクルトレインの開始に合わせたPR動画を投稿【主管：東牟婁振興局企画産業課】

<時 期> 10月、12月、3月

<内 容> JRきのくに線サイクルトレインの運行に合わせて熊野地域のサイクリングPR動画を作成。内容としては、サイクリスト向けのおすすめコースや観光、食、穴場スポットなどを振興局職員が紹介するものとなっている。

<動 画> 「JRきのくに線『サイクルトレイン』おすすめコース」
「サイクルトレイン ポタリングやってみた『太地町編』」
「サイクルトレイン ポタリングやってみた『那智勝浦町編』」
「サイクルトレイン じてこでGO！！『那智勝浦町・太地町編』」
「サイクルトレイン じてこでGO！！『串本町編』」

(2) 『水の国、わかやま。』 『アウトドア観光』 で和歌山を売り出す

I 水の国、わかやま。

和歌山県は、「木の国」と言われていますが、森林を育むのは「水」であり、「水」を育むのは森林です。県内各地には、水や森林に関連する清流・滝・海・温泉などのスポットや醤油・酒・酢などの食、カヌーやラフティングなどの体験メニューといった多くの「水」に関連する観光資源が存在します。また、「水」の造形でもある南紀熊野ジオパークや水辺を楽しむサイクリングロードなども「水」にまつわる観光資源です。

これら観光資源を「水を見る」、「水が創る」、「水と遊ぶ」といった「水」を切り口とした意外性のあるテーマ設定で整理し発信することにより、これまで集客力が弱かった観光資源に焦点をあて注目度を高めます。また、世界遺産ブランドを取り込んだ観光資源のゾーニングを形成することにより、新たな「和歌山の魅力」を発信します。

さらに周遊案内板などの整備を拡充するとともに、スマートフォンのアプリを使ったスタンプラリーを実施することで、県内周遊を促進します。併せて、観光資源の開発やブラッシュアップにより集客力を高め、将来に繋がる持続可能な観光地づくりを目指します。

①情報発信・誘客促進

「水」に関連する観光資源を世界遺産などのブランド力や集客力の高い観光資源と絡めながら、効果的な情報発信を行います。

◇「水の国、わかやま。」モバイルスタンプラリー（わかやま・まるごとスタンプラリー）の充実 =New=

新規スポットを追加するなど「滝」と「絶景」を巡るコースに加え、体験メニューを追加します。

◇メディア展開

○雑誌などによる情報発信

<時期> 随時

<内容> 女性向け、自然志向、アウトドア系の雑誌やWEBなど

◇パンフレットやWEBサイト、SNSによる情報発信

○県観光情報誌「紀州浪漫」による情報発信

<時期等> 未定 6.5万部

<内容> 「水」をテーマとした観光資源や見どころ等を紹介

<展開> 全国のメディア、主要SA、書店（110店舗）等

○専用パンフレットによる情報発信（リニューアル）

<時期等> 4月～【日本語版】7万部、【英語版】5千部

<内容> テーマごとに「水の国、わかやま。」を紹介するとともに、新たなゾーニングや具体的なモデルコースにより、和歌山の楽しみ方を提案

<展開> NEXCO西日本・中日本SA、県内レンタカー営業所

国内外の各種プロモーションで配布

○WEBサイト特集ページによる情報発信（リニューアル）

<時 期> 6月～【日本語版】、7月～【英語版】

<内 容> 県公式観光サイト内に特集サイトを開設し、水にまつわるおすすめスポットを巡る具体的なモデルコースなどを紹介

○Facebook を活用した情報発信

<時 期> 随時

<内 容> 「水の国、わかやま。」公式ページによる発信

○PR動画による情報発信

<内 容> 絶景、温泉、食、体験など「水の国、わかやま。」の魅力を紹介するPR動画を活用し、山歩きなどネイチャーツアーを造成する旅行会社等をターゲットに情報発信

2021 実績

◇「水の国、わかやま。」モバイルスタンプラリー

（わかやま・まるごとスタンプラリー）

<時 期> 10月30日～4年2月28日

<内 容> スマートフォン等を活用したスタンプラリーを実施
滝と絶景の2つのコースを巡るスタンプラリーを企画

※「滝」「絶景」の各コースに15か所のチェックポイントを設置し、
1か所で1つのスタンプを獲得



◇メディア展開

○新聞、雑誌、WEB等

名 称	掲載テーマ	発行日等
和歌山放送「ぐるっと紀州路」	北山川 観光筏下り	4月29日
NHK「マイあさ！関西」	水の国、わかやま。	5月21日
紀州浪漫（夏号）	自然と遊ぶ スポーツ旅	6月1日
(株)trippiece 「RETRIP」	和歌山の大自然を堪能するオープンエアな旅	6月1日
NHK「マイあさ！関西」	サイクリング王国「WAKAYAMA 800」 水の国、わかやま。	7月2日
(株)文芸春秋 「CREA WEB」	【和歌山県】夏の絶景・風物詩5選	7月10日
和歌山放送「ぐるっと紀州路」	北山村 観光筏下り	7月29日
和歌山放送「ぐるっと紀州路」	ホエールウォッチング	8月19日

(株)KADOKAWA 「東海ウォーカー」	「水の国、わかやま。」に関するスポットと体験	8月20日
(株)KADOKAWA 「ウォーカープラス」	「水の国、わかやま。」に関するスポットと体験	8月20日
YouTube「とったび」	「水の国、わかやま。」に関するスポットと体験	8月20日
紀州浪漫（秋号）	キャンプ場、パラグライダー、シーカヤック	9月1日
(株)キュービック 「ミズコム」	植魚の滝、百間山溪谷	9月1日
ピークス(株) 「BiCYCLE CLUB 11月号」	女子3人旅	9月20日
ピークス(株) 「ランドネ10月号」	女子3人旅	9月23日
ピークス(株) 「フィールドライフ」	女子3人旅	9月30日
(株)スペースキー CAMP HACK	「水の国、わかやま。」でテントサウナ	10月4日
(株)trippiiece 「RETRIP」	南紀白浜温泉を満喫する1泊2日の旅	12月1日
スターツ出版(株) 「OZ TRIP」	和歌山温泉お散歩ガイド	12月14日
NHK「マイあさ！関西」	各地の温泉情報	12月24日
アウトドアフェス	水の国、わかやま。 わかやま遊び	4年3月5日 ～6日
シティリビング紙面	春に楽しむアウトドア体験	4年3月25日
シティリビングWEBサイト	春に楽しむアウトドア体験	4年3月25日
シティリビングインスタグラム	春に楽しむアウトドア体験	4年3月25日
WEB「NEXT WEEKEND」	この春に和歌山県でアウトドアをするなら	4年3月30日

◇パンフレット、WEBサイト等による情報発信

○専用パンフレット

<時期等> 7万部

(4月1日、日本語版リニューアル)

5千部

(4月28日、英語版リニューアル)



- <内 容> 新たな観光スポットを追加するなど情報を追加
- <展 開> NEXCO 西日本・中日本主要SA、わかやま紀州館、名古屋観光センター、南海フェリー、各市町村観光協会、南紀白浜空港、県内各宿泊施設 など

○WEBサイト

- <時期等> 7月10日～（日本語版リニューアル）
8月 3日～（英語版リニューアル）
- <内 容> 専用パンフレットの内容のほか、厳選素材集や周遊コース、滝マップを紹介

○公式 Facebook

- <時 期> 平成30年9月1日～
- <内 容> 絶景スポットや最新のトピックスなどを随時発信
いいね！8, 103人、フォロワー8, 312人
投稿数 77回（今年度15回）

○PR動画

- <時 期> 随時
- <内 容> 2種類のPR動画（5分版、1分版）
をWEBサイトに掲載するとともに、山歩きなどネイチャーツアーを
造成する旅行会社へ周知。
※ネイチャーフォトグラファー内山りゅう氏の協力により、7つのテ
ーマを切り口に、和歌山の「水」にまつわる魅力を紹介



PR動画

◇インフルエンサーによる YouTube 配信

- インフルエンサー「撮って笑って旅をして（通称：とったび）」による動画配信
- <時 期> 8月～
- <内 容> とったびの2人が和歌山の水のアクティビティやグルメを紹介

◇都市圏プロモーションでの発信 [詳細120頁](#)

②受入体制整備

県内全域の「水」に関連する観光資源を洗い出し、お客様が楽しんで周遊できる具体的なモデルコースの設定を行い、新商品の開発に繋がります。

◇具体的なモデルコースの設定や周遊看板の拡充

「水」の絶景スポットを周遊するモデルコースの設定や看板整備を行います。

※桑の木の滝（新宮市）を予定



桑の木の滝

◇体験観光の開発支援

新たに「水」に関連する体験型観光を実施する事業者に対する支援を行います。

- <時 期> 5月～（公募予定期間）
- <内 容> 「水の国、わかやま。」体験観光事業者スタートアップ補助金
補助率（補助金限度額）1／2以内（100万円）

2021実績

◇具体的なモデルコースの設定や周遊看板の拡充

「水」の絶景スポットを周遊するモデルコースの設定・提案や看板整備を実施

嶽の森山（古座川町）



嶽の森山

◇水に関連する自然環境を活用した体験観光事業の開発支援

<時期> 5月25日～6月30日（公募期間）

<内容> 「水の国、わかやま。」体験観光事業者スタートアップ補助金
・補助率（補助金限度額）1／2以内（100万円）
・採択事業者数 9事業者

③旅行商品造成

県内全域の「水」に関連する観光資源やイベント、特別企画などを網羅した厳選素材集を作成、併せて周遊モデルコースの提案を行い、本県への旅行商品造成に繋がります。

◇「水の国、わかやま。」観光素材集の紹介

県内全域の「水」に関連する観光資源の情報を取りまとめ、WEBサイトに掲載します。

◇旅行会社訪問 [詳細 120 頁](#)

都市圏プロモーションにおける旅行会社訪問時に、周遊モデルコースや観光素材などを網羅した観光素材集で「水の国、わかやま。」の提案を行います。

また、山歩きなどネイチャーツアーを造成する旅行会社にも訪問し、「水の国、わかやま。」に特化した提案を行います。

2021実績

◇厳選素材集の更新

川・海・山などの絶景、体験・食といった、「水」に関する素材を厳選し、素材集としてまとめたものを、旅行会社向け専用WEBサイトへ掲載

<掲載数> 約400素材

◇旅行会社訪問 [詳細 121 頁](#)

大都市圏プロモーションにおけるメディア訪問時に、「水」に関する周遊モデルコースや観光素材をPRするとともに、登山などネイチャーツアーを造成する旅行会社を訪問し、「水の国、わかやま。」に特化した提案を実施

◇JR西日本主催「観光素材説明会」への参加 [詳細 127 頁](#)

II アウトドア観光

新型コロナウイルス感染症の流行以降、「密」を回避する旅行が主流となっており、特に、自然に触れ合うアウトドア志向が急激に高まっています。これらの変化をとらえ、本県の豊かな自然を生かした素晴らしいアウトドアフィールドで大いにリフレッシュしてもらうため、アウトドアコンテンツの魅力発信や体験メニューのオンライン予約がで

きるアウトドア観光ポータルサイト「わかやま遊び」を活用し、誘客を促進します。

加えて、県内の体験事業者等に対してセミナー及びワークショップを開催し、既存体験メニューの磨き上げや他コンテンツの掘り起こしを実施し、受入体制を強化します。

情報発信・誘客促進

本県が有するアウトドアコンテンツの魅力効果を効果的に情報発信するとともに、県内体験事業者へのセミナー等を実施することで誘客を促進します。

◇OTA等と連携した情報発信

本県のアウトドアの魅力発信や体験メニューのオンライン予約ができるポータルサイト「わかやま遊び」等を活用して、訴求力の高い魅力的なアウトドアコンテンツを集約し、テーマ別に整理のうえ、情報発信します。

◇リーフレット、WEBサイト、PR動画による情報発信

○専用リーフレットによる情報発信

<内 容> 山・海・川・空などアウトドア・フィールドごとの魅力的なアクティビティ等を掲載したリーフレットを配布し、「わかやま遊び」への誘導を行う。

<展 開> NEXCO 西日本・中日本SA、アウトドア関連事業者、旅行会社等国内外の各種プロモーションで配布

○WEBサイトによる情報発信（リニューアル）

<内 容> キャンプ場情報の追加やスポットを巡る具体的なモデルコースの掲載等を行い、「わかやま遊び」の機能強化を図ります。

○PR動画による情報発信

<内 容> アウトドア・フィールドごとの魅力を発信するPR動画を制作し、旅行会社などをターゲットに周知を図り、誘客を促進します。

◇各種メディア等と連携した情報発信

雑誌への掲載など各種メディア等と連携した情報発信を行います。

◇セミナーやワークショップ等の実施

体験事業者や観光協会など観光関連団体を対象としたワークショップ等を開催し、既存メニューのブラッシュアップや新たなコンテンツの掘り起こしを行います。また、事業者同士の連携を強化することで、その地域独自の体験メニューの構築を促し、旅行会社への商品造成を促進します。

◇アウトドア関連イベントへの出展

・アウトドアフェス

<時 期> 5年3月（予定）

<場 所> 万博記念公園（吹田市）

2021実績

◇OTA等と連携した情報発信

○アウトドア観光ポータルサイト「わかやま遊び」の開設

<時 期> 7月30日～

<内 容> 本県のアウトドアの魅力発信や体験メニューのオンライン予約ができるポータルサイトを国内最大級のオンライン予約サイトを運営する「アクティビティジャパン」のWEBサイト内に構築

<予約数> 718件

※前年度同時期の県内予約数と比較すると
約170%増加（全国平均約138%）

○「わかやま遊び」まるごと割引キャンペーン

<時 期> 11月19日～4年2月28日

<内 容> 1体験メニューにつき、1,000円割引

◇リーフレット、PR動画の制作

<時 期> 7月～

<内 容> アウトドア・フィールドごとの魅力を発信するリーフレット及びPR動画を制作し、旅行会社やアウトドア関連事業者へ周知を図った。



リーフレット



PR動画

◇各種メディア等と連携した情報発信

名 称	掲載テーマ	発行日等
紀州浪漫（夏号）	自然と遊ぶ スポーツ旅	6月1日
(株)trippiece 「RETRIP」	和歌山の大自然を堪能するオープンエアな旅	6月1日
(株)KADOKAWA 「東海ウォーカー」	「水の国、わかやま。」に関するスポットと体験	8月20日
(株)KADOKAWA 「ウォーカープラス」	「水の国、わかやま。」に関するスポットと体験	8月20日
YouTube「とったび」	「水の国、わかやま。」に関するスポットと体験	8月20日
紀州浪漫（秋号）	キャンプ場、パラグライダー、シーカヤック	9月1日
ピークス(株) 「BiCYCLE CLUB 11月号」	女子3人旅	9月20日
ピークス(株) 「ランドネ10月号」	女子3人旅	9月23日
ピークス(株) 「フィールドライフ」	女子3人旅	9月30日

(株)スペースキー CAMP HACK	「水の国、わかやま。」でテ ントサウナ	10月4日
阪急電鉄沿線情報誌「TOKK」	星空体験	10月25日
アウトドアフェス	水の国、わかやま。 わかやま遊び	4年3月5日 ～6日
キャンプ雑誌「ガルヴィ」	わかやま遊び キャンプ場、 高野山	4年3月10日
シティリビング紙面	春に楽しむアウトドア体験	4年3月25日
シティリビングWEBサイト	春に楽しむアウトドア体験	4年3月25日
シティリビングインスタグラム	春に楽しむアウトドア体験	4年3月25日
WEB「NEXT WEEKEND」	この春に和歌山県でアウトド アをするなら	4年3月30日
関西日帰りドライブWalker 雑誌・WEB・SNS動画	SUP、ジュース作り体験	4年3月31日

◇セミナーやワークショップ等の実施

体験事業者など観光関連団体を対象としたセミナー及びワークショップの実施

○体験セミナー

<時 期> 6月29日（紀南）、6月30日（紀中）、7月2日（紀北）

<内 容> オンライン旅行予約サイト（OTA）を利用することのメリットなど
について説明

<参加者> 52人（紀北29人、紀中26人、紀南14人）

○ワークショップ

<時 期> 10月26日（紀南）、10月27日（紀中）、10月28日（紀北）

<内 容> 体験セミナーに加え、様々な業種の参加者同士が議論することで、
地域の事業者の繋がりを強化

<参加者> 69人（紀北16人、紀中18人、紀南18人）

○振り返り会

<時 期> 3月28日（オンライン開催）

<内 容> 事業の実施成果及び課題の振り返りを行うとともに、次年度の展開に
ついて説明

◇アウトドア関連イベントへの出展

○アウトドアフェス

<時 期> 4年3月5、6日

<場 所> 万博記念公園（吹田市）

<主 催> テレビ大阪(株)

(3) 『わかやま歴史物語』（歴史・浪漫）で和歌山を売り出す

I わかやま歴史物語

神話の時代から近代に至るまで、和歌山には興味深い歴史・文化が豊富にあります。

こうした歴史・文化のストーリーに秘話やSNS映えスポット、食、温泉、体験などを組み合わせた100の旅モデルを「わかやま歴史物語」としてまとめ、地域に存在する観光素材のブラッシュアップを図り、歴史に興味がある方に和歌山の歴史・文化を幅広くPRするため、メディアや特設WEBサイトなどを活用し、本県のもつ歴史的な価値や魅力を発信します。また、周遊を楽しんでいただけるよう様々なテーマを設定し、スマートフォンのアプリを使ったスタンプラリーを実施します。

さらに今年、400周年を迎える和歌祭や、来年、弘法大師空海の御誕生1250年を迎えるなど各地で行われる周年事業を中心としたイベント情報を発信することにより、県内のゆかりあるスポットへの誘客に繋がります。

情報発信・誘客促進

◇「わかやま歴史物語」スタンプラリー（わかやま・まるごとスタンプラリー）の実施 =New=

- <時期> 人物編（神話～安土桃山） ～5年2月28日
※期間終了後も新たなテーマを切り口としたスタンプラリーを継続実施（5年3月下旬～）

- <内容> 「わかやま歴史物語」の100の旅モデルの中から、テーマを絞って深く楽しみながらそのゆかりの地を巡るスタンプラリーを、スマートフォンのアプリを使い実施します。

※開始に合わせて専用冊子を制作

- <賞品> 「プレミア和歌山」推奨品を抽選でプレゼント
完全達成者には、応募者全員に特製マグカップをプレゼント



◇「わかやま歴史物語」講座（仮称）の開催

- <時期等> 随時（都市圏、WEBで開催）
<内容> 和歌山の「歴史」について独自性のあるテーマで深掘りし、多角的な視点から捉えた歴史講座を開催し、本県の新たな魅力を発信

◇WEBサイト、パンフレット等による情報発信

○特設WEBサイトによる情報発信

- <内容> 新たな歴史スポットや最新の立ち寄り処等を追加掲載し、更なる誘客促進を図る

○パンフレットによる情報発信

- <時期> 随時
<内容> わかやま歴史物語（概要版、スタンプラリー冊子）
<展開> NEXCO西日本・中日本SA、近畿道の駅、紀陽銀行、きのくに信用金庫、県内宿泊施設、県内市町村・観光協会などに配置、各種プロモーションでの配布

○雑誌、フリーペーパー等による情報発信

＜時 期＞ 随時

＜内 容＞ 一押しモデルコースを情報誌、旅行雑誌等へ掲載

○県観光情報誌「紀州浪漫」による情報発信

＜時期等＞ 随時

＜内 容＞ 歴史をテーマとした観光資源や見どころ等を紹介

＜展 開＞ 全国のメディア、旅行会社、書店110店舗等

◇都市圏プロモーションでの提案 [\[詳細 120 頁\]](#)

都市圏の主要旅行会社を訪問時に、「わかやま歴史物語」の観光素材やモデルコースの提案を行い、旅行商品の造成や販売促進に繋がります。

2021 実績

◇「わかやま歴史物語」人物編（江戸～近代）スタンプラリー

＜時 期＞ 10月30日～4年2月28日

＜内 容＞ 「わかやま歴史物語100」の内、江戸時代以降に活躍した人物ゆかりの地を巡るスタンプラリーを、スマートフォンのアプリを使い実施

＜達成者＞ 完全達成賞（28個）：355人

A賞（25個）：394人

B賞（20個）：454人

C賞（10個）：617人

※（ ）内はスタンプ獲得数。

※各賞の該当者は、重複してカウント。

＜賞 品＞ 「プレミア和歌山」推奨品を抽選で計60人にプレゼント

完全達成者には、応募者全員に特製マグカップをプレゼント



◇わかやま歴史物語セミナーの開催

○阪急交通社とタイアップした歴史セミナーの開催

※②は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止

＜時 期＞ ①10月9日

②4年3月5日

＜場 所＞ ①阪急グランドビル

②KHD東京ビル

＜内 容＞ ①「雑賀孫一」、「道成寺」

②「紀州徳川家」、「南方熊楠」

◇特設WEBサイト、パンフレットによる情報発信

○特設WEBサイトによる情報発信

＜内 容＞ 歴史ストーリーとともに、関連スポット、食、温泉、体験など、観光客が楽しんで周遊いただける旅モデルを随時、特設サイトへ掲載

URL: <http://wakayama-rekishi100.jp>

○パンフレットによる情報発信

<時 期> 随時

<内 容> わかやま歴史物語（概要版、スタンプラリー冊子）

<展 開> NEXCO 西日本・中日本SA、近畿道の駅、県内市町村・観光協会、紀陽銀行、
県内宿泊施設、レンタカー事業者、和歌山県情報発信イベント、各種プロモーションでの配布

◇雑誌、新聞等による情報発信

名 称	掲載テーマ	発行日等
紀州浪漫（夏号）	「葛城修験」出発の地・加太	6月1日
エー・アール・ティ(株) 「九州王国8月号」	南方熊楠、ゆかりの地	7月15日
紀州浪漫（秋号）	「奇想の画家」長沢芦雪	9月1日
NHK「マイあさ！関西」	わかやま歴史物語	9月24日
Discover Japan	道成寺	10月6日
Discover Japan（WEBサイト）	道成寺	10月19日～
産経新聞（PR特集号）	悠久の歴史を感じる古道	11月27日
紀州浪漫（冬号）	国内最大規模の古墳群	12月1日
NHK「マイあさ！関西」	公式観光サイト紹介（熊野古道・歴史）	4年2月18日
紀州浪漫（春号）	伝統と文化を守り続ける 醤油の故郷を訪ねて	4年3月1日

◇都市圏プロモーションでの提案 [詳細 121 頁](#)

II 周年事業

今年、和歌祭は400周年、熊野本宮大社は正遷座130年を迎え、来年には弘法大師空海の御誕生1250年を迎えます。また、平成28年に草創1300年を迎えた西国三十三所の記念事業は、5年3月31日まで開催されることから、地域で行われる記念行事やイベント等と併せて情報発信を行います。

記念事業を活用した誘客

◇和歌祭400周年 =New=

毎年5月に行われている紀州東照宮の大祭である和歌祭が、今年、400周年を迎えることから、式年大祭として実施されます。

○和歌祭四百年式年大祭

<時 期> 5月15日

<内 容> 和歌浦及び和歌山城周辺での渡御行列

◇熊野本宮大社正遷座130年 =New=

熊野三山のひとつである熊野本宮大社の社殿が、現在の地に遷座して今年で130年を迎えるにあたり、記念事業が実施されます。

○熊野本宮大社正遷座130年記念事業

<時 期> 未定

<内 容> 未定

◇弘法大師空海御誕生1250年 =New=

真言密教の聖地・高野山を開創した弘法大師空海が、来年、御誕生1250年を迎えます。そこで、御誕生1250年に向けた機運を高めるため、周遊を促進する記念事業を実施します。

○3霊跡巡礼スタンプラリー [詳細2頁](#)

◇西国三十三所草創1300年

日本の観音及び巡礼文化のはじまりである西国三十三所の巡礼は、長谷寺の徳道上人が閻魔大王から巡礼によって人々を救うように託宣を受け、養老2年(718年)に始めたと伝わるもので、平成28年に草創1300年を迎えました。

また、元年5月20日に那智山青岸渡寺(那智勝浦町)や紀三井山金剛宝寺(和歌山市)、風猛山粉河寺(紀の川市)を構成文化財に含む「1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～」が日本遺産に認定されました。

記念事業は、西国三十三所礼所会(事務局:京都市)が中心となり、5年3月31日まで実施され、県内に所在する三寺院においても特別な事業が継続実施されます。

○和歌山県の札所 第一番札所 那智山青岸渡寺

第二番札所 紀三井山金剛宝寺(紀三井寺)

第三番札所 風猛山粉河寺



那智山青岸渡寺



紀三井山金剛宝寺



風猛山粉河寺

※西国三十三所とは

養老2年(718年)、観音菩薩が人々を救うために示したとされる観音霊場のルーツ。その後、「観音菩薩は33の姿に身を変えて人々を救う」という教えのもと「西国三十三所」と総称され、各寺院は「札所」となって順番に参拝する巡礼文化が生まれました。総距離は約1,000km、札所は、近畿2府4県、岐阜県にあります。

○スイーツ巡礼(西国三十三所礼所会)

<時 期> 平成28年2月～5年3月31日

- <内 容> 各地の銘菓と一緒に楽しむ巡礼の旅を提案します。
- 限定御朱印「特別印」の授与(西国三十三所礼所会)
- <時 期> 平成29年1月～5年3月31日
- <内 容> 全ての寺院で限定御朱印「特別印」が授与されます。

- 特別拝観(西国三十三所礼所会)
- <時 期> 3月26日～5月5日
- <内 容> 風猛山粉河寺 本堂北側千手観音

- 周遊促進ノベルティの配布
- 西国三十三所を周遊する動機付けを行うため旅行商品
に対して、「西国三十三所草創1300年特別記念品」
ノベルティを提供(協賛)します。



- <時 期> 平成29年8月1日～5年3月31日
- <内 容> 条件を満たした団体ツアーに対する協賛として日本手ぬぐいを付与

2021実績

◇西国三十三所草創1300年

- スイーツ巡礼(西国三十三所礼所会)
- <時 期> 平成28年2月～
- <内 容> 菓子を食べ歩きながら、各礼所を巡礼するユニークプラン
- ・那智山青岸渡寺
じゃばらタルト、那智黒飴など
 - ・紀三井山金剛宝寺(紀三井寺)
三井水功德たまごせんべい、花蜜ロールなど
 - ・風猛山粉河寺
はっさくプーロ、きのくにシュトーレンなど

- 限定御朱印「特別印」の授与(西国三十三所礼所会)
- <時 期> 平成29年1月～
- <内 容> 全ての寺院で限定御朱印、
「特別印」を授与



- 特別拝観(西国三十三所礼所会)
- <時 期> 紀三井山金剛宝寺(紀三井寺) 4月8日～5月29日
風猛山粉河寺 3月27日～5月5日
- <内 容> 紀三井山金剛宝寺(紀三井寺) 秘仏御本尊
風猛山粉河寺 本堂北側千手観音

- 周遊促進ノベルティの配布
- <期 間> 平成29年8月1日～4年3月31日
- <内 容> 条件を満たした団体ツアーに対する協賛として日本手ぬぐいを付与
実績累計 17社 1,550枚

Ⅲ 市町村等との連携事業

市町村等が実施する事業と連携して情報発信を行います。

歴史・浪漫を感じるスポットで誘客

◇歴史・文化のかおるまち・岩出市

○まちなか散策

<時期> 11月

<内容> 紅葉が色づき始めた根来寺周辺のまちなかを散策し、根来寺境内は語り部が案内します。

○旧和歌山県議会議事堂

<時期> 通年

<内容> 根来寺の施設として活用された県有形文化財「旧和歌山県議会議事堂（一乗閣）」を明治31年創建当時の姿で復原整備。隣接する道の駅「ねごろ歴史の丘」を訪れる20人以上の企画旅行参加者に対し、ノベルティグッズをプレゼントする企画を実施します。

◇真田のまち・九度山町

○まちなか散策

<時期> 通年

<内容> 真田幸村などの歴史を中心にまちなかを語り部が案内します。

○九度山・真田ミュージアム

<時期> 4月1日～5年3月26日

<内容> 企画展「日本刀・その魅力とところ」では、大坂夏の陣で討ち取られた真田幸村公が最後に持っていたと伝わる薙刀（写し）と采配（複製）を里帰り企画として展示すると同時に、日本刀の美しさと魅力や歴史、幸村公の刀剣伝説などを紹介します。

◇重要伝統的建造物群保存地区・湯浅町

○まちなか散策

<時期> 通年

<内容> 熊野古道や伝建地区を中心にまちなかを語り部が案内します。湯浅えき蔵観光交流センターのレンタサイクルを使えば、ご当地グルメのしらす丼や醤油ソフトクリームなど、湯浅ならではの食も楽しめます。

◇稲むらの火の物語・広川町

○濱口梧陵歴史探訪ウォーク

<時期> 通年

<内容> 広村堤防や耐久社などの濱口梧陵ゆかりの史跡を地元の日本遺産ガイドが当時の逸話を交えながら案内します。

◇寺内町・御坊市

○まちなか散策

<内容> 江戸時代の町屋と明治・大正・昭和と近代化していく時代の建物が残るまちなか（御坊寺内町会館を含む）を語り部が案内します。

◇文化の香りの城下町・田辺市

○まちなか歩き

<時 期> 未定

<内 容> 田辺市の三偉人として知られる、世界的博物学者・南方熊楠、合気道の開祖・植芝盛平、伝説の豪傑・武蔵坊弁慶ゆかりの地を活用した街歩きキャンペーンを開催します。

◇歴史と世界遺産のまち・新宮市

○観光ガイドと巡る市内観光

<時 期> 通年

<内 容> 世界遺産である熊野速玉大社や神倉神社、大正ロマンを感じる旧チャップマン邸、旧西村家住宅など新宮市内のスポットを観光ガイドが案内します。

◇日本とトルコ 友好の原点・串本町

○語り部ガイドと巡る日本・トルコ友好の歴史ツアー

<時 期> 通年

<内 容> エルトゥールル号に始まる史実を語り部が案内します。

◇熊野の原風景・古座街道

「古座街道」は、朝来（上富田町）から古座（串本町）を最短距離で結んでいた街道。西国三十三所巡りの参詣道として利用され、作家 司馬遼太郎の「街道をゆく」の中でも紹介されています。元年10月、文化庁の「歴史の道百選」に選ばれました。

○情報発信

<内 容> 「水の国、わかやま。」や「わかやま歴史物語」などの事業と連携し、情報発信を行います。

◇北海道や万葉をテーマとした誘客促進

○民間団体との連携

「紀伊万葉ネットワーク」や「紀の川流域文化遺産活用地域活性化協議会」などの民間団体と連携し、これらの団体が主催するイベント等の情報発信に協力することで、誘客を図ります。

2021 実績

◇歴史・文化のかおるまち・岩出市

○まちなか散策

<時 期> 11月

<内 容> 紅葉が色づき始めた根来寺周辺のまちなかを散策。根来寺境内は語り部が案内

<実 績> 30人

○旧和歌山県議会議事堂

<時 期> 通年

<内 容> 根来寺の施設として活用された県有形文化財「旧和歌山県議会議事堂

(一乗閣)」が明治31年創建当時の姿で復原整備

<実績> 19,298人(4月~4年1月)

参考:旧和歌山県議会議事堂西隣「ねごろ歴史資料館」12,678人

※道の駅「ねごろ歴史の丘」を訪れる20人以上の企画旅行参加者を対象に、ノベルティグッズ(マイクロファイバータオル or 扇子)のプレゼント企画を実施

◇真田のまち・九度山町

○まちなか散策

<時期> 通年

<内容> 真田幸村などの歴史を中心にまちなかを案内

<実績> 133人(まちなか語り部の会案内分・4~12月)

◇重要伝統的建造物群保存地区・湯浅町

○まちなか散策

<時期> 通年

<内容> 語り部が熊野古道や醤油蔵などを中心にまちなかを案内
他にシラス井食べ歩き(マップあり)や駅前多目的広場でのレンタサイクルなども楽しめる

<参加> 346人(湯浅ガイド協会案内分・4~12月)

◇稲むらの火の物語・広川町

○濱口梧陵歴史探訪ウォーク

<時期> 通年

<内容> 広村堤防や耐久社などの濱口梧陵ゆかりの史跡を地元の日本遺産ガイドが当時の逸話を交えながら案内

<参加> 3,472人(稲むらの火の館案内分・4~12月)

◇寺内町・御坊市

○寺内町散策

<時期> 通年

<内容> 江戸時代の町屋と明治・大正・昭和と近代化していく時代の建物が残るまちなかを語り部が案内

<参加> 75人(紀州ごぼう語り部案内分・4~12月)

◇文化の香りの城下町・田辺市

○まちなか歩き

<時期> 4月1日~4年2月21日

<内容> 田辺市の三偉人として知られる、世界的博物学者・南方熊楠、合気道の開祖・植芝盛平、伝説の豪傑・武蔵坊弁慶ゆかりの地を巡るスタンプラリーを実施

<参加> 358人(達成者数)

◇歴史と世界遺産のまち・新宮市

○ガイドと歩くまち歩き

<時期> 通年

<内 容> 新宮市内のスポットを観光ガイドが案内

- ・新宮の世界遺産・熊野速玉大社と神倉神社
- ・大逆事件と新宮の文学散歩
- ・国の史跡「新宮城跡」新宮藩の隆盛
- ・「秦の徐福」の伝承地を訪ねて
- ・国の天然記念物「浮島の森」散策

<参 加> 2, 117人（新宮市観光協会案内分・4～12月）

◇日本とトルコ 友好の原点・串本町

○語り部ガイドと巡る日本・トルコ友好の歴史ツアー

<時 期> 通年

<内 容> エルトゥールル号に始まる史実を語り部が案内

<参 加> 999人（南紀串本観光協会案内分・4月～12月）

◇熊野の原風景「古座街道」

<内 容> ・「水の国、わかやま。」キャンペーン

冊子、WEBサイトへ「古座街道ウォーク」を掲載

・わかやま歴史物語

「行きたい街道日本一！司馬遼太郎も旅した道・古座街道をゆく」

と題し、旅モデルの一つとしてWEBサイトへ掲載

(4) 『世界遺産』で和歌山を売り出す

I 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」

平成16年7月に聖地「高野山・熊野」、「高野山町石道・熊野古道」を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録され、さらに平成28年10月には「高野参詣道」などが追加登録されました。これまでの継続的な情報発信により、国内外から多くのお客さまに来訪いただいています。本県の「世界遺産」は、グローバルブランドとして認知されており、そのブランド力を最大限に活用し、今後もあらゆるプロモーションにおいて「高野山・熊野」の発信を強化するとともに、お客さまに県内を広く周遊する旅モデルを提案します。

また、「世界遺産」ブランドと「聖地」「道」「日本人の旅の始まり」などのキーワードとの組み合わせや「水の国、わかやま。」や「わかやま歴史物語」、「日本遺産」との連動により、引き続き強力かつ効果的に情報発信を行い、誘客に繋がります。

さらに、令和6年に世界遺産登録20周年を迎えることから、和歌山県街道マップのデジタル化を行うほか、誘導板・案内板の再整備に取りかかる等、受入体制の充実を図っていきます。

①新たな魅力発信と周遊拡大

◇世界遺産公式 Facebook を活用した情報発信

世界遺産「高野山」「熊野」の旬の情報を伝えるため、公式 Facebook による情報発信を行います。

◇地元の方しか知らない熊野古道の見どころを情報発信

地元の方しか知らない四季、天候により異なる世界遺産熊野古道の魅力を発掘、収集し、情報を取りまとめ、新たな見どころとして拡充を図るとともに、WEBサイトにおいて、お客さまに広く情報発信していきます。

<内 容> 作成したWEBサイトを来訪者に周知するため情報発信

・パンフレットなどでの二次元コードの掲載

・熊野古道を案内する語り部などへの周知

◇宿泊プラン「週末は聖地へ ～時忘れの旅。～」企画

○「週末は聖地へ ～時忘れの旅。～」

県観光連盟では、気軽に高野山へお越しいただく「週末は聖地へ～時忘れの旅。～」をメディアを中心に展開しており、ターゲットとする女子旅も増加しています。

大好評の宿泊プランを今年も引き続き実施し、高野山の情報発信と誘客を促進します。

<時 期> 通年

<内 容> 1泊2日でたっぷり高野山を満喫でき、土曜日のうちに帰れるプラン
金曜日/夜9時までにチェックイン、宿坊1泊・2食（朝食、昼食）
土曜日/勤行、阿字観・写経体験などで高野山を満喫

<備 考> 高野山宿坊協会と協働で企画・販売

○WEBサイトによる情報発信

<時 期> 平成27年7月～

<内 容> 県公式観光サイト内に特集ページを開設

◇世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサート開催

世界遺産の地を舞台に著名なアーティストのコンサートを開催し、誘客を図るとともに、この内容とあわせて世界遺産の魅力について各種メディアを介して全国に幅広く情報発信します。

<時期等> 秋頃 高野山壇上伽藍 特設会場

<出演> 未定

<その他> 特別番組の制作など

◇メディアを活用した情報発信

テレビ・雑誌・新聞等のメディアを活用し、「世界遺産」ブランドに「聖地」「道」「日本人の旅の始まり」「癒し」などのキーワードを組み合わせたテーマで、若い女性層などさまざまなターゲットに対し、効果的な情報発信を行います。

◇県公式観光サイトによる情報発信

県公式観光サイト内の「世界遺産 高野山」、「世界遺産 熊野・熊野古道」特集ページにおいて、魅力やスポットを巡るモデルコースを情報発信します。

また、「天空の聖地 高野山」「高野巡り・熊野古道 街道マップ」「熊野古道、高野参詣道を歩くモデルプラン」などの専用ページにおいてもきめ細かい情報発信を行います。

◇参詣道完全踏破のPRを通じた誘客促進

県内の四参詣道に設置したスタンプを押印した方に、踏破証明書を発行することを広くPRし、誘客及びリピーターの拡大を図ります。

また、「押印帳の手引き（英語版）」を活用し、外国からのお客さまもスタンプラリーを楽しみながら参詣道を周遊できる取組を進めていきます。

○高野七口、熊野古道紀伊路、熊野古道大辺路押印帳の配布

各参詣道の魅力を盛り込んだ押印帳を観光案内所等で配布（配置）します。

○踏破証明書の発行

下記のスタンプ全てを押印した方に、それぞれ踏破証明書を発行します。

また、「熊野古道中辺路」及び「和歌山四参詣道」を踏破した方の中から、抽選でペア宿泊券を贈呈します。（年2回）

- ・「熊野古道中辺路踏破証明書」－熊野古道中辺路（36か所）
- ・「熊野古道紀伊路踏破証明書」（記念品付）－熊野古道紀伊路（22か所）
- ・「高野七口踏破証明書」（記念品付）－高野七口（19か所）
- ・「熊野古道大辺路踏破証明書」（記念品付）－熊野古道大辺路（15か所）
- ・「和歌山四参詣道“^{スーパ}超”完全踏破証明書」

－熊野古道紀伊路・熊野古道中辺路・熊野古道大辺路・高野七口（92か所）

◇二次交通（路線バス）の利便性向上

○リムジンバス・アクセスバスの運行 [詳細146頁](#)

主要駅や宿泊地から路線バスを利用して高野山や熊野に至るアクセスルートや周遊モデルプランを情報発信することで、海外を含む個人・グループ観光客の誘客を図ります。また、観光客の利便性を向上させるため、関西国際空港から高野山を結ぶリムジンバス、京都駅から高野山を結ぶ高速バス、高野山から熊野エリアや高野山麓を周遊するアクセスバスの利用促進を図ります。

2021実績

◇世界遺産公式 Facebook による情報発信

<時 期> 元年6月～

<内 容> 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」～高野山、熊野、熊野古道～
高野山、熊野、熊野古道などの参詣道の旬の情報を発信
いいね! 14, 120人 フォロワー 14, 526人
投稿数 126回

◇熊野古道の新たな見どころを情報発信

地元の方しか知らない熊野古道の絶景や四季・天候により異なる魅力、文化など見
どころを発信

<内 容> WEBサイト（日本語版・英語版）での情報発信

熊野古道沿いの新たな見どころとなる場所、位置情報、出現時期、頻度
などを情報収集しデータ化、パンフレットなどでの二次元コードを活用
したWEBサイトへの誘導

◇メディア等での情報発信

名 称	掲載テーマ	発行日等
紀州浪漫（夏号）	自然と遊ぶ スポーツ旅	6月1日
(株)y t vメディアデザイン 「anna」	滝・温泉・グルメ パワーチャージす る夏旅【3選】	8月27日
紀州浪漫（秋号）	心浄める 聖地の旅	9月1日
(株)trippiece 「RETRIP」	フォトジェニックな旅 高野山の穴 場スポット	9月1日
(株)宝島社 「ゆるっとわたしの癒し旅」	和歌山・高野山	10月19日
エー・アール・ティ(株) 「九州王国12月号」	高野山の精進料理	11月15日
(株)流行発信 Cheek 12月号	絶景と美食（生石高原）	11月23日
産経新聞タブロイド版	熊野古道が導く聖地	11月27日
産経新聞大阪府下へ広告掲 出	サイクルトレイン通年実施、ミシュラ ン	11月28日朝刊 11月30日朝刊
紀州浪漫（冬号）	五感で愉しむ わかやま冬旅	12月1日
スターツ出版(株) 「OZ TRIP」	和歌山温泉お散歩ガイド	12月14日
中日新聞社 「中日新聞」	伊勢志摩・南紀特集	4年2月21日
紀州浪漫（春号）	わかやま庭園回遊	4年3月1日

株式会社 trippiece 「RETRIP」	庭園三昧でプチデトックス。1泊2日 プラン	4年3月1日
株式会社 ytvメディアデザイン 「anna」	名刹の桜がもてなす 春のオススメぶ らり旅【3選】	4年3月4日
CCCメディアハウス Newsweek 日本版	紡がれる仏教の教えを高野山の「阿字 観」で体験	4年3月8日
CCCメディアハウス WEB大人の名古屋	静寂の高野山、歴史がいざなう旅	4年3月22日
株式会社 ネオパブリシティ One Million	非日常を五感で感じる 高野山の旅	4年3月25日
NHK-BS4K「巨樹百景」	南方熊楠ゆかりの大樹を訪ねる	4年3月30日
株式会社 流行発信「おでかけドライ ブ 2022-2023」	人気ドライブエリア特集	4年3月31日

◇宿泊プラン「週末は聖地へ ～時忘れの旅。～」企画

○WEBサイトによる情報発信

<時期> 平成27年7月～

<内容> 県公式観光サイト内に特集ページを開設

◇世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサート

<時期等> 11月20日 熊野那智大社

<出演者> 第一部 那智田楽保存会による那智の田楽演舞
第二部 小柳ゆき（J-POPシンガー）コンサート

<参加者> 196人（応募数約3,000人、当選者数170人）

※新型コロナウイルス感染症対策の観点から、座席間や受付時・退場時
において適切な身体的距離を確保

<内容> 第36回国民文化祭・わかやま2021、第21回全国障害者芸術・文
化祭わかやま大会の特別連携事業としてコンサートを実施し、那智勝浦
町を紹介する番組を放映

◇参詣道完全踏破のPRを通じた誘客促進

○熊野古道中辺路（36か所押印）

<踏破者> 71人 累計 1,365人（平成20年10月～）

○熊野古道紀伊路（22か所押印）

<踏破者> 52人 累計 226人（平成29年3月～）

○熊野古道大辺路（15か所押印）

<踏破者> 30人 累計 196人（平成29年3月～）

○高野七口（19か所押印）

<踏破者> 35人 累計 210人（平成29年3月～）

○“^{スーパ}超”完全踏破（92か所押印）

<踏破者> 22人 累計 117人（平成29年3月～）

◇リムジンバス・アクセスバス運行に関する情報発信 [詳細147頁](#)

②「高野山・熊野を愛する100人の会」による情報発信

「紀伊山地の霊場と参詣道」は、紀伊山地の自然がなければ成立しなかった「霊場」と「参詣道」、それを取り巻く山、川、海、滝、温泉や人間の営みなどの「文化的景観」が大きく評価され、平成16年7月ユネスコ世界文化遺産に登録されました。

近年、世界的な評価が高まり国内外の人々に今もなお感動を与えています。

このような中、元年7月に世界遺産登録15周年を迎え、これを契機に「紀伊山地の霊場と参詣道」の『価値の継承』と『さらなる魅力を発信』するため、各界著名な方からなる「高野山・熊野を愛する100人の会」を設立しました。

「高野山」「熊野」の価値の継承とさらなる魅力の発信につながる取組を世界遺産エリア（高野山・熊野）および首都圏等で展開します。

◇「水」と「森」をテーマにした熊野の魅力発信

「熊野」にまつわる「水」、その「水」をはぐくんだ「森」をテーマに100人の会メンバーによる対談をはじめ、熊野エリアを紹介する企画を実施し、WEB等で配信することにより、多くの方に発信します。

<時期> 春

<エリア> 熊野

◇その他

「高野山・熊野」に関する、あるいは和歌山県内で開催される100人の会メンバーによる企画について、HPで情報発信します。

100人の会メンバー以外で「高野山・熊野」エリアで世界遺産にかかわる方を“匠”としてインタビューし、HPで紹介します。

<頻度> 半年毎 年2回（予定）

2021実績

◇賛同者数 119人（4年3月末現在） 50音順・敬称略

相川 七瀬	音無 美紀子	坂井 希久子	田中 理恵	林 雅彦
遠北 光彦	小野 直路	阪田 雅裕	谷口 維紹	早田 卓次
荒俣 宏	甲斐 みのり	坂本 すが	谷口 博昭	半田 美永
有吉 玉青	柏木 白光	坂本 冬美	趙 海成	平野 啓子
安念 清邦	片岡 鶴太郎	澤 和樹	辻 省次	堀本 裕樹
石田ゆうすけ	桂 小文枝	澤田 道隆	辻本 茂雄	本田 悦朗
泉 麻人	金山 秋男	残間 里江子	辻本 好美	本谷 紗己
一柳 良雄	川井 郁子	塩地 隆三	出口 光	松尾 泰伸
今川 泰伸	川島 ケイジ	志賀 俊之	デューク更家	松下 正幸
植島 啓司	河田 恵昭	紫舟	寺島 実郎	水森 かおり
上島 達司	神崎 亮平	篠田 教夫	土肥 芳郎	ミネハハ
上野 顯	木村 陽子	島田 晴雄	鳥井 信吾	宮崎 志郎
海老原 露巖	金 周會	白洲 信哉	中上 紀	美山 良夫

袁 文英	九鬼 家隆	鈴木 理策	中島 由貴	山川 豊
及川 眠子	クミコ	清家 篤	中瀬 ゆかり	山口 明夫
王 紀言	久利 康暢	千賀 修一	中平 穂積	山口 春三
大倉 正之助	コウケンテツ	添田 隆昭	中辻 憲夫	山中 諄
大森 俊之	河野 俊行	高田 創	丹生 晃市	山本 一力
大家 一将	古賀 絵里子	田川 寿美	仁坂 吉伸	山本 まりこ
岡野 玲子	コシノジュンコ	高木 亮英	西村 幸夫	顔安
岡本 玲	小嶋 淳司	武内 和彦	西 陽子	夢枕 獏
萩野 アンナ	小西 博之	田嶋 幸三	はな	Aika(橋本恵子)
小黒 世茂	小宮山 宏	田中 和仁	濱口 道雄	May J.
男成 洋三	コロツケ	田中 ひろみ	林 英哲	

◇高野山・熊野の魅力講座（オンライン）配信

<時 期> 9月29日～4年3月31日

<内 容> 100人の会メンバーが出演し、それぞれの視点から高野山・熊野の魅力を語る講座をオンラインにより配信

出演者：荒俣 宏（作家） 「熊野の森の愛し方（突撃編）」

めざすは6000年の「時の壁！」

山本 まりこ（写真家） 「熊野と私」

石田 ゆうすけ（旅行作家） 「石田的 熊野のみどころ」

◇「紀の国わかやま文化祭2021」とのコラボ事業の展開

<時 期> 11月3日

<内 容> 高野山において国民文化祭事業として開催された「高野山シンポジウム」に100人の会メンバーが出演し、高野山の魅力を発信

出演者：夢枕 獏（作家） 基調講演・パネリスト

西村 幸夫（國學院大學教授、東京大学名誉教授）

コーディネーター

添田 隆昭（高野山大学長、蓮華定院住職） パネリスト

田中 ひろみ（イラストレーター） パネリスト

はな（モデル） パネリスト

辻本 好美（尺八奏者） フィナーレ

◇雑誌「ACT4 vol104」への掲載

<時 期> 11月25日（発売）

<内 容> 熊野本宮大社で開催された「高野・熊野夢舞台」に合わせ、100人の会メンバーによる熊野エリアの情報を発信

出演者：コシノジュンコ（デザイナー）

川島ケイジ（シンガーソングライター）

◇「高野山・熊野を愛する100人の会」公式HP「匠」インタビュー

<時 期> 2月28日公開

<出演者> 坂本 勲夫さん(熊野本宮語り部の会会長)

<内 容> 熊野古道の語り部として、これまで多くの方を案内し、「熊野」の魅力を発信してくれている坂本さん。坂本さんのこれまでの活動と熊野に対する想いをインタビュー形式で紹介。

③保全・活用と受入体制整備

◇10万人の参詣道環境保全活動の実施

CSR・ワーケーション等による環境保全活動をはじめ、熊野古道や高野参詣道を語り部と歩きながら、保全活動を実践する参詣道環境保全トレッキングを開催し、県民の参加はもとより、県外からの誘客を積極的に図ります。

また、参詣道環境保全トレッキングを通じて「ロングトレイル」や「海を感じる熊野古道」などをテーマに、参詣道の新たな魅力を発信し、誘客を図ります。

<時 期> 保全活動 通年

参詣道環境保全トレッキング 年3回(予定)

<場 所> 高野参詣道・熊野古道紀伊路・熊野古道大辺路(予定)



◇経済誌でのPR・CSR活動の誘致

参詣道の保全活動「道普請(※)」と世界遺産の魅力に関する記事を掲載するとともに、保全活動体験ツアーを実施し、ツアーに参加した企業との接触・交流を積極的に行い、保全活動を通じた企業(団体)の来訪を促進します。

※文化財保護専門家の指導の下、土を運び、参詣道の損傷を修理する作業

◇世界遺産マスターの活用

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全・啓発活動に民間活力を活かすことを目的に設置している「和歌山県世界遺産マスター」の活動充実を図ります。

<内 容> 世界遺産及び周辺地域のパトロール・情報提供

世界遺産の保存活用に関する普及・啓発

世界遺産マスター会議の開催

世界遺産マスターの相互連携活動

世界遺産マスター認定試験・更新研修

◇受入体制の整備

世界遺産登録20周年に向け、誘導板・解説板の再整備を行うとともに、紙媒体で発行している街道マップを、より安心して参詣道を歩くことができるようデジタル化を図ります。

○誘導板・解説板の再整備

<時 期> 随時

<内 容> 老朽化による誘導板・解説板について計画的に更新を図ります。

○和歌山県街道マップの電子化 =New=

<時 期> ~5年3月

<内 容> 和歌山県街道マップの掲載ルートを地図アプリに搭載し、より安全で

安心して「高野参詣道・熊野古道」を歩くことができるよう受入体制を整えます。

2021実績

◇10万人の参詣道環境保全活動の実施

○活動実績

<参加827人、事業開始から延べ参加34,668人>

活動日	企業・団体名等	活動場所
5月24日	三菱電機(株)冷熱システム製作所	中辺路(式水茶屋)
6月30日	浦島観光ホテル(株)	かけぬけ道
10月4日	熊野古道を歩く仲間たち	中辺路(長尾坂)
10月6日	県立日高高等学校中津分校	中辺路(三軒茶屋跡)
10月9日	田辺税務署	中辺路(三軒茶屋)
10月23日	県立田辺高等学校	中辺路(三軒茶屋)
11月1日	県立新翔高等学校	中辺路(三軒茶屋)
11月2日	御坊市立河南中学校	中辺路(三軒茶屋)
11月6日	(一財)さわかみ財団	中辺路(大日山)
11月13日	JR西日本和歌山支社	中辺路(式水茶屋)
11月13日	南紀白浜エアポート(株)	中辺路(三軒茶屋)
11月14日	環境保全トレッキング	高野参詣道(40町石)
11月16日	京都文教大学	中辺路(式水茶屋)
11月17日	関西大学中等部	大辺路(仏坂)
11月18日	橋本市立応其小学校	高野参詣道(転軸山)
11月21日	和歌山市民図書館	紀伊路(藤白坂)
11月23日	県立新翔高等学校	中辺路(式水茶屋)
11月25日	日本道路(株)	中辺路(三軒茶屋)
11月25日	富士通(株)	中辺路(三軒茶屋)
11月27日	和歌山県警察本部少年課	高野参詣道(転軸山)
12月4日	和歌山県職員労働組合	高野参詣道(転軸山)
12月5日	環境保全トレッキング	中辺路(三軒茶屋)
12月11日	KDDI(株)	中辺路(三軒茶屋)
12月18日	和歌山県職員労働組合	中辺路(三軒茶屋)
12月20日	田辺市立本宮中学校	中辺路(三軒茶屋)
4年1月12日	浦島観光ホテル(株)	かけぬけ道
4年3月17日	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」 保全活動ファムツアー	中辺路(式水茶屋)
4年3月23日	(一社)田辺市熊野ツーリズムビュ ーロー	中辺路(三軒茶屋)

○メディア等での情報発信

名 称	掲載テーマ	発行日等
ラカン	トレッキングを楽しみながら世界遺産の保全活動に参加しよう！	10月1日
ココラデ	世界遺産「高野参詣道町石道・熊野古道中辺路」を歩こう	10月1日
リビング和歌山	世界遺産を後世へ繋ぐ「参詣道環境保全トレッキング」	10月2日
Kii LIFE	「参詣道環境保全トレッキング」世界遺産の保全活動に参加しよう！	10月3日
リビング和歌山	参詣道環境保全トレッキング	10月9日
毎日メディアカフェ	和歌山県が世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』保全活動1泊2日体験ツアーの参加者を募集	4年2月1日
毎日メディアカフェ Facebook	和歌山県が世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』保全活動1泊2日体験ツアーの参加者を募集	4年2月1日
日本経済新聞夕刊	ワーケーション in 和歌山 旅も仕事も楽しむ人へ	4年3月24日

◇経済誌でのPR・CSR活動の誘致

OPRESIDENT（4年4月15日号）

<発行日> 4年3月25日

<内 容> 保全活動（道普請）や参加企業の事例紹介



◇東京・大阪の企業訪問によるCSR活動の誘致

<時 期> 11月17日、18日

<内 容> 新規および継続実施にかかる情報交換

<訪問数> 7社

◇保全活動ファムツアーの開催

企業のCSRによる参詣道保全活動の誘致を促進するため、保全活動現地体験ツアーを開催

<時 期> 4年3月17日、18日

<内 容> 世界遺産レクチャー・参加企業による事例発表の受講、参詣道保全活動の実施、熊野古道トレッキング、意見交換

<参 加> 5社（9人）

◇世界遺産マスター制度

民間ボランティアによる世界遺産の保全と活用を推進するため、更新研修会を実施

○更新研修会（第1・4・6・9期）

<時期等> 4年3月19日 高野地区

4年3月20日 熊野地区

<参加者> （高野地区） 会場参加14人 WEB参加10人

（熊野地区） 会場参加9人 WEB参加5人

◇世界遺産管理調整員研修会の開催

世界遺産の毀損等に対して迅速に対応するため、県の各所属に設置している世界遺産管理調整員の研修会を開催（WEBにて実施）

<時期等> 5月26日

<内 容> 管理調整の業務、世界遺産の基本情報・保護、県の景観施策

④世界遺産登録地域の連携

◇世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会

世界遺産が所在する奈良・三重・和歌山の三県及び市町村関係者で構成される世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会により、保存管理計画を遂行するとともに、活用における指針の策定や、普及・啓発を図ります。

◇三県連携事業「吉野・高野・熊野の国」事業

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の所在する三県が連携し、世界遺産エリアの魅力について、情報発信やプロモーションを行い、認知度向上と誘客促進を図ります。

2021 実績

◇世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会

○専門委員会

<時期等> 4年1月11日 大阪府教育会館たかつガーデン（大阪市）

<内 容> 紀の川慈尊院地区の堤防整備、世界遺産追加登録に係る取り組み、洋上風力発電について

○行政担当者会議

<時期等> 4年3月23日 オンライン開催

<内 容> 平成23年度台風12号構成資産復旧工事集成と経過観察、世界遺産の参詣道保全活動「道普請」について

◇「吉野・高野・熊野の国」事業実行委員会

○“今”だからこそ、“近場”で楽しもう！キャンペーン

<期 間> 12月3日～12月28日（応募締切4年2月28日）

※新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、12月28日にキャンペーンを中止（当初期間4年2月14日まで）

<内 容> 期間中、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」地域の宿泊施設に1泊以上宿泊し、飲食店・土産物店・観光施設等で税込5,000円以上利用した三重県・奈良県・和歌山県在住者を対象に、ペア宿泊券や地域の特産品をプレゼントするキャンペーンを実施

<応募者> 130人

⑤和歌山県世界遺産センター

◇和歌山県世界遺産センターへの誘客促進

展示施設と三面マルチ画面による迫力のある映像を活用する等により世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の魅力を広く発信します。

- ・和歌山県世界遺産センターのWEBサイトで世界遺産の魅力を情報発信
- ・モデルコースへの組み込みによる魅力アピール
- ・県が連携、協定しているスペイン、インドの世界遺産の資料を展示 等

◇世界遺産を次世代に継承するための取組

世界遺産を良好な状態で次世代に継承していくために、世界遺産への関心を高める様々な事業を実施します。

○世界遺産セミナー

広く一般の方を対象として、高野・熊野地方の歴史や文化・自然をテーマに年4回開催します（無料）。

○世界遺産入門

学校、企業・団体等を対象とした学習・啓発プログラムを実施します。

○世界遺産ゼミ・自由研究

- ・大学生を対象としたゼミの課外研修や卒業論文の研究等をサポート
- ・小・中・高校生を対象とした自由研究や総合学習等のサポート
- ・フィールドワークをしながら世界遺産の価値を学習

○講師派遣の実施

県内外のセミナーやシンポジウム、研修会等へ職員を講師として派遣します。

○次世代育成事業

小・中・高校生を対象として、世界遺産入門・現地ウォークなどを組み合わせた学習を実施します。

○保存活用団体連携促進研修事業

和歌山県、三重県、奈良県において活動している保存団体や語り部団体等を対象として、交流促進を目的に研修会と現地ウォークを実施します。

2021 実績

◇世界遺産セミナー（新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催見送り）

◇世界遺産入門

<参加> 29団体 計1,060人

活動日	団体名	場所
5月24日	三菱電機(株)冷熱システム製作所	世界遺産熊野本宮館
6月30日	浦島観光ホテル(株)	浦島観光ホテル
5月31日	田辺市立本宮小学校	世界遺産熊野本宮館
6月4日	四日市市立内部小学校	世界遺産熊野本宮館
6月24日	県立串本古座高等学校	串本古座高等学校
7月13日	紀の川市立池田小学校	ジオパークセンター

7月15日	田辺市立田辺第一小学校	多目的ホール
8月3日	県立南紀高等学校	世界遺産熊野本宮館
9月6日	南紀熊野ジオパークセンター	小会議室
9月6日	印南町立清流中学校	世界遺産熊野本宮館
9月23日	和歌山市民図書館	和歌山市民図書館
10月7日	田辺市立芳養小学校	世界遺産熊野本宮館
10月8日	田辺市立秋津川・大坊小学校	世界遺産熊野本宮館
10月10日	田辺市立田辺東部小学校	世界遺産熊野本宮館
10月11日	海南市立第三中学校	ジオパークセンター
10月13日	田辺市立龍神地区小学校合同	世界遺産熊野本宮館
10月15日	海南市立亀川中学校	ジオパークセンター
10月18日	田辺市立近野小学校	世界遺産熊野本宮館
10月20日	紀の川市立田中小学校	ジオパークセンター
11月1日	田辺市立三栖小学校	世界遺産熊野本宮館
11月1日	紀美野町立野上中学校	東牟婁振興局
11月5日	海南市立海南中学校	東牟婁振興局
11月5日	新宮市立熊野川中学校	世界遺産熊野本宮館
11月10日	紀美野町立野上中学校	世界遺産熊野本宮館
11月23日	追手門学院大学	世界遺産熊野本宮館
11月25日	上富田町立岡小学校	本宮行政局
11月25日	田辺市立田辺第三小学校	世界遺産熊野本宮館
12月8日	県立日高高等学校附属中学校	世界遺産熊野本宮館

◇世界遺産ゼミ、自由研究等

<回数> 6回実施

活動日	企業・団体名等	活動場所
8月1日	上富田町(5,6年生)	熊野本宮館
8月4日	田辺市(6年生)	熊野本宮館
8月11日	大阪市(6年生)	熊野本宮館
8月15日	堺市(中学校1年生)	熊野本宮館
8月29日	田辺市(社会人)	熊野本宮館
9月22日	京都市(社会人)	熊野本宮館

◇講師派遣

<参加> 2回実施

活動日	企業・団体名等	活動場所
11月3日	まちから伝える・つなぐ四国遍路講座	松山市子規記念博物館
4年1月28日	ロングハイキング事前学習会	オンライン

◇次世代育成事業

<参加> 29校 898人

活 動 日	企 業 ・ 団 体 名 等	活 動 場 所
9 月 24 日	橋本市立清水小学校	高野町
10 月 1 日	由良町立由良中学校	高野町
10 月 5 日	県立日高高等学校中津分校	田辺市（本宮）
10 月 12 日	太地町立太地中学校	田辺市（本宮）
10 月 14 日	和歌山市立鳴滝小学校	高野町
10 月 15 日	印南町立印南中学校	田辺市（本宮）
10 月 19 日	みなべ町立高城中学校	高野町
10 月 20 日	御坊市立御坊中学校	田辺市（本宮）
10 月 22 日	県立日高高等学校附属中学校	那智勝浦町
10 月 23 日	県立田辺高等学校	田辺市（本宮）
10 月 28 日	和歌山市立加太中学校	高野町
10 月 29 日	和歌山市立木本小学校	高野町
11 月 1 日	県立新翔高等学校	田辺市（本宮）
11 月 2 日	御坊市立河南中学校	田辺市（本宮）
11 月 4 日	橋本市立高野口小学校	高野町
11 月 5 日	和歌山市立楠見東小学校	高野町
11 月 8 日	那智勝浦町立色川中学校	田辺市（本宮）
11 月 9 日	県立慶風高等学校	高野町
11 月 11 日	県立有田中央高等学校清水分校	田辺市（本宮）
11 月 16 日	橋本市立西部小学校	高野町
11 月 18 日	橋本市立応其小学校	田辺市（本宮）
11 月 19 日	田辺市立会津小学校	田辺市（本宮）
11 月 24 日	橋本市立恋野小学校	高野町
12 月 2 日	那智勝浦町立下里小学校	田辺市（本宮）
12 月 3 日	九度山町立九度山小学校	九度山町
12 月 6 日	那智勝浦町立那智中学校	かつらぎ町
12 月 8、9 日	県立みはま支援学校	田辺市（本宮）
12 月 10 日	県立貴志川高等学校	高野町
12 月 14、21 日	県立熊野高等学校	高野町

II 世界農業遺産

「みなべ・田辺の梅システム」が平成27年12月15日に世界農業遺産に認定されたことを契機に、観梅をはじめ、「梅」にちなんだ体験や工場見学（システム紹介）など、世界農業遺産をうまく活用しながら、みなべ、田辺地域の梅の里への誘客を促進します。

情報発信・受入体制整備

◇各種イベントでの情報発信（みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会）

各種イベントでのパネル展示等により、システムや地域の魅力を紹介します。

◇動画配信による情報発信（みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会）

協議会ホームページ及び YouTube チャンネルで動画を配信し、世界農業遺産に認定された梅システムやシステムを支える取組、また、地域の魅力を紹介します。

◇ガイド養成（みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会）

これまでに任命された梅システムマイスターと連携し、「梅」に関連した観光素材に加え、世界農業遺産に認定されたみなべ・田辺の梅システムを活用した地域の魅力発信を行うとともに、梅システムマイスターの研修会や情報交換会を行い、知識のブラッシュアップを図ります。

2021 実績

◇紀の国わかやま文化祭において、記念品として農業遺産関連商品を配布

＜時 期＞ 10月30日

＜内 容＞ 梅干し、PRパンフレット

◇みなべ・田辺の梅システムフォトコンテストの実施及び梅システムカレンダー作成

＜時 期＞ フォトコンテスト実施 2年12月1日～8月31日

＜内 容＞ 入賞12作品（応募総数144作品）

入賞作品を使用し、梅システムカレンダーを作成・配布

◇動画配信（みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会）

梅システムの保全と地域内外への普及啓発のために実施した取組の様子を、動画により配信

＜内 容＞ 和歌山大学と連携して実施したミツバチの巣箱づくり

＜時期等＞ 11月配信

◇ジラス（世界農業遺産）マイスターの養成（みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会）

＜内 容＞ 和歌山大学南紀熊野サテライトの世界農業遺産に係る公開講座の受講・修了者の中から、協議会が、世界農業遺産を説明・活用出来る人材として「梅システムマイスター」に任命

＜時 期＞ 12月4日～4年2月5日（全4回）

＜備 考＞ 3年度は13人が任命され全42人となった

(5) 『日本遺産』で和歌山を売り出す

文化庁が平成27年(2015年)に創設した「日本遺産」制度は、東京オリンピック・パラリンピックを契機に海外から訪れる観光客が地方を周遊するためのコンテンツとして、100件を目標に2年(2020年)まで認定が進められ、3年3月末日現在で104件が認定されました。本県に關係するものとしては7件が認定されています。これらの日本遺産の認知度向上を図り、誘客に繋がります。

I 「鯨とともに生きる」(平成28年4月認定)

「鯨とともに生きる」については、“海の日本遺産”、“山の世界遺産”をキャッチフレーズに、熊野エリアへの誘客促進のための情報発信に努め、日本遺産のストーリーを体験できるよう案内サインや情報発信拠点の整備、日本遺産ガイドの養成等受入体制の充実を図るとともに、鯨料理や体験プログラムなどの観光商品の創出・販売支援を行ってきました。引き続き、エリア内への誘客や周遊の促進、滞在時間延長のため、SNSやWEB等を活用し、同エリアの魅力を発信していきます。

情報発信・誘客促進

SNSやメディア等様々な媒体を活用し、国内外へ積極的に情報発信を行います。

◇特設WEBサイトによる情報発信

<内容> 平成28年度に制作した特設WEBサイトを引き続き運営し、捕鯨文化と熊野エリアの魅力を総合的に情報発信

◇SNS等による情報発信

<内容> Facebook等を活用した情報発信

◇県観光情報誌「紀州浪漫」への掲載

<内容> 随時、新着情報を紹介

<展開> 全国のメディア、旅行会社、高速道路主要SA、書店(110店舗)等

◇メディアの活用による情報発信

<内容> 雑誌等を活用し、ターゲットを絞ったプロモーションを実施

◇ガイドの養成

<内容> 日本遺産ガイドの養成講座を開催

◇ストーリー体験メニューの充実

<内容> 日本遺産ガイドを活用した、ストーリー体験メニューを展開

◇修学旅行誘致の実施

<内容> 体験プログラムを活用した修学旅行誘致のため、学校及び教育委員会に向けて修学旅行プランを提案

2021実績

◇メディアによる情報発信

名称	掲載テーマ	発行日等
----	-------	------

るるぶ和歌山' 2 2	太地町と鯨の歴史 & グルメ	5 月 1 日
リビング和歌山	日本遺産の地・太地町の海でクジラにキュン	7 月 10 日
リビング和歌山電子版	日本遺産の地・太地町の海でクジラにキュン	7 月 10 日
ロカル和歌山	日本遺産の地・熊野灘エリアの美食「くじらキッチン」	8 月 7 日
総合百科事典ポプラディア 学習資料集	世界と日本の地理編「日本遺産」	11 月 1 日
ロカル和歌山	くじら博物館、クジラ料理、和歌山太地町で遊ぶ	12 月 13 日
わかやまくじら BOOK	鯨とともに生きる ～くじらと人との物語～	4 年 2 月 1 日
『日本鯨紀行』西日本編	鯨ゆかりの地を見て、食べて、歩く。	4 年 2 月 28 日
おでかけ日本遺産	鯨はどこだ!? 南紀の海岸線を東へ西へ。	4 年 3 月 29 日

II 「絶景の宝庫 和歌の浦」（平成 29 年 4 月認定）

平成 29 年度に日本遺産に認定された「絶景の宝庫 和歌の浦」については認定後、協議会を設立し、情報発信や受入体制の整備、地域の機運醸成に努めてきました。

今後は、観光遊覧船などの体験メニューや食事を組み合わせた楽しみ方を提案していくとともに、地域の皆さんに日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」のストーリーを理解していただき、この地域を訪れるお客さまにその魅力を語る事ができるよう機運を醸成していきます。

情報発信・普及啓発

観光遊覧船などの体験メニューや食事、地域の人々のオススメの景色等、和歌の浦及び周辺地域での楽しみ方を紹介します。

◇周遊促進ガイドブック等の増刷

<内 容> 令和元年度に制作した周遊促進ガイドブック等の掲載情報を更新・増刷

◇特設WEBサイトによる情報発信

<内 容> 平成 29 年度に制作した特設WEBサイトを引き続き運営し、和歌の浦エリアの魅力を総合的に情報発信

◇県観光情報誌「紀州浪漫」への掲載

<内 容> 随時、新着情報を紹介

<展 開> 全国のメディア、旅行会社、高速道路主要SA、書店（110店舗）等

◇日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」フォトコンテストの実施

<内 容> 構成エリアおよび周辺地域の魅力を発信するため、SNSを活用したフォトコンテストを実施

◇旅行会社とのタイアップ企画

<内 容> 旅行会社とタイアップセミナーを開催し関連ツアーを造成

◇メディア活用による情報発信

<内 容> 雑誌やWEB等を活用し、「絶景の宝庫 和歌の浦」の魅力について情報を発信

2021 実績

◇総合ガイドブックの修正・増刷

<内 容> 29年度に制作した総合ガイドブックの掲載情報を更新・増刷

<部 数> 10,000部

◇メディア対策

・テレビ、雑誌等

名 称	掲載テーマ	発行日等
関西ウォーカー2021 6月号	和歌の浦	5月20日
朝日新聞	漆器のまち 海南・黒江をめぐって	7月22日
和歌山放送ニュース	黒江のおみやげ物黒潮市場で試験販売	7月30日
わかやま新報	海上から楽しむ日本遺産 和歌の浦遊覧船が運航中	7月31日
WTVニュース	黒江ブランドの土産物テスト販売会	8月1日
じゃらん大人のちょっと贅沢な旅	万葉歌人が愛した絶景に、感動。	8月5日
和歌山よろん新聞	フォトコンの作品を募集 和歌の浦の絶景	8月13日
紀州浪漫（秋号）	撮っておきわかのうら 2021 フォトコンテスト	9月1日
西 Navi（10月号）	和歌の浦	9月25日
一個人	歌人を魅了した和歌の浦	10月1日
わかやま月報	雑賀崎の街並み	10月5日
美しい日本へ 絶景の旅	和歌の浦 万葉集にも歌われた景勝地 朝日と夕日の美しさに息を呑む	10月19日

わかやま新報	絶景の雑賀崎や蓬萊岩 和歌の浦フォトコン入賞決まる	10月21日
ジモト応援！つながるNews～りんくう・和歌山～	絶景の宝庫和歌の浦 Tシャツアート巡り	11月24日
ジモト応援！つながるNews～堺・南大阪・和泉・泉大津～	絶景の宝庫和歌の浦 Tシャツアート巡り	11月25日
遠くへ行きたい	冬の紀州わくわく旅	12月19日
リビング和歌山	見て、巡って、魅力を再発見 和歌の浦の景色がTシャツを彩る	4年1月1日
電子雑誌「旅色」	海沿いの絶景を堪能！愛犬と和歌山へドライブ	4年1月11日
Prime Time	和歌の名人たちと紀州徳川藩主が心惹かれた和歌の浦	4年1月31日
わかやま新報	和歌の浦フォトコンテスト雑賀崎等入賞5点決定	4年1月31日
おでかけ日本遺産	万葉歌人が詠んだ“映え”る景色のスタンダードへ。	4年3月29日
関西ドライブウォーカー	エリア別 日帰りドライブコース	4年3月31日

◇撮っておき わかのうら 2021フォトコンテストの開催

<内 容> 日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」及び周辺地域の魅力を広く発信するために、Instagramでのフォトコンテストを実施。募集期間を3回に分け、それぞれ5作品を入賞作品として選定、入賞者には地域特産品をプレゼント

<期 間> 第1弾 テーマ：煌めく夏
7月21日～8月31日
第2弾 テーマ：秋の彩り
10月1日～11月30日
第3弾 テーマ：冬の訪れ
4年1月1日～4年2月28日

<応募数> 第1弾 279作品
第2弾 257作品
第3弾 493作品



◇Tシャツアート巡りの実施

<内 容> 日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」が持つ魅力の発信と構成エリア及びその周辺地域の周遊を促すために、令和2年度に実施した日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」フォトコンテスト応募作品をプリントしたTシャツをアート作品として、エリア内の24店舗等に設置

併せて、設置店舗等をチェックインスポットとしたモバイルスタンプラリーを実施。獲得したスタンプ数に応じて、抽選で賞品をプレゼント

<期 間> 11月1日～4年1月31日

<参加者> 88人



Ⅲ 「『葛城修験』一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」（2年6月認定）

2年6月に日本遺産に認定された「『葛城修験』一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」については、認定後、協議会を設立し、情報発信や受入体制の整備、地元
の機運醸成に努めてきました。

今後はより一層の誘客を図るため、情報発信を行うとともに、人材育成や受入体制の強化により誘客を促進していきます。

①情報発信・普及啓発

◇葛城修験デジタルスタンプラリー企画の実施 =New=

<時 期> 4年3月～

<内 容> 役行者が法華経の経典を埋納したとされる28の経塚を中心とした31か所のランドマークを巡る、登山地図アプリ「YAMAP」を活用したデジタルスタンプラリーを実施。

<賞 品> ランドマーク訪問数に応じ特製デジタルバッジ（全8種類）をアプリ上で付与

◇葛城修験パンフレットの英訳及び印刷

<内 容> これまでに作成したパンフレット（8ページ版及び36ページ版）をインバウンド向けに英訳及び印刷し、海外からの誘客を図ります。

◇ルートマップの印刷及び英訳

<内 容> 葛城修験の周遊ルート（19ルート）を冊子化するとともに、英訳版も作成及び冊子化します。

◇リレー形式セミナーの開催

<内 容> 協議会構成自治体間でのリレー形式でのセミナーを開催します。

◇モニターツアー・ファムツアーの実施

<内 容> 葛城修験に関心のある方々や旅行者、メディア等を対象にモニターツアー及びファムツアーを実施します。

◇親子修験ツアーの実施

<内 容> 地域の小中学生等を対象に、親子で参加できる修験ツアーを実施します。

◇未指定の文化財調査

<内 容> 後世に良好な状態で引き継げるよう葛城修験の経塚やその周辺の構成文化財について調査を実施します。

2021 実績

◇葛城修験デジタルマップの作成・スタンプラリー企画の実施

＜時 期＞ 4年3月～

＜内 容＞ 役行者が法華経の経典を埋納したとされる28の経塚を巡る19のモデルコースを登山地図アプリ「YAMAP」に搭載し、経塚を中心とした31か所のランドマークを巡るデジタルスタンプラリーを実施

＜賞 品＞ ランドマーク訪問数に応じ、特製デジタルバッジ（全8種類）をアプリ上で付与

◇葛城修験WEBサイト英語版の制作

＜時 期＞ 11月公開

＜URL＞ <https://katsuragisyugen-nihonisan.com/en/>

◇葛城修験PR冊子（36ページ版）の制作

＜時 期＞ 4年2月完成

＜部 数＞ 50,000部

＜展 開＞ 葛城修験日本遺産活用推進協議会の関係20市町村等



◇小中学生向け冊子の作成・配布

＜時 期＞ 11月完成

＜部 数＞ 75,000部

＜展 開＞ 葛城修験日本遺産活用推進協議会の関係20市町村内の小学校4年生～中学校3年生

◇メディア活用による情報発信

名 称	掲載テーマ	発行日等
紀州浪漫（夏号）	「葛城修験」出発の地・加太	6月1日
和歌山放送 オピニオントーク	葛城修験全般について	8月1日、8日
テレビ和歌山 6waka イブニング	加太地域の葛城修験について	8月18日
旅の手帖	紀の川市の葛城修験について	9月10日
和歌山放送ニュース5	リレーパネル展示会について	11月5日
NHK和歌山「ギュギュっと和歌山」	かつらぎ町の葛城修験について	12月23日
和歌山放送「ぐるっと紀州路」	名物ガイド松浦さんと歩く冬の友ヶ島ウォーキング	4年1月6日

◇協議会構成自治体間でのリレー形式パネル展示会の実施

＜時 期＞ 10月30日～4年3月21日

＜内 容＞ 葛城修験の普及啓発を目的として、葛城修験日本遺産活用推進協議会の構成自治体においてリレー形式でのパネル展示会を実施



◇PR動画の作成

<時期> 4年3月完成

<内容> 葛城修験の魅力を紹介するプロモーション動画を作成し、HP上で公開

◇モニターツアーの実施（金剛山）

<時期> 11月20日

<内容> 葛城修験に関するツアーの造成を目的に、金剛山においてモニターツアーを実施。現役修験者のガイドのもと、第20番経塚、21番経塚、転法輪寺等を巡拝

<参加者> 6人

◇モニターツアーの実施（加太・友ヶ島）

<時期> 4年3月20日

<内容> 葛城修験に関するツアーの造成を目的に、加太・友ヶ島においてモニターツアーを実施。現役修験者のガイドのもと、第1番経塚等を巡拝

<参加者> 4人

②受入体制整備

◇日本遺産ガイド養成研修会の開催

<内容> 認定された日本遺産の魅力や構成文化財のストーリー中の位置づけをはじめ、周辺の観光資源を含め、訪れるお客様に伝える人材を育成します。

◇構成文化財等案内サイン等の作成・設置

<内容> 構成文化財等に解説板や誘導板を作成・設置します。

2021実績

◇現地ガイド養成講座の開催

<時期> 11月26、27日、12月3～5日（計5回）

<内容> 葛城修験に関する現地ガイドの養成を目的として、講座を実施

<参加者> 葛城修験エリアで活動中の地域ガイド等、125人

◇地域プロデューサー養成講座の開催

<時期> 4年1月13日～1月15日（計3回）

<内容> 葛城修験を活用したコンテンツ造成や情報発信に取り組む方を養成することを目的として、講座を実施

<参加者> 葛城修験エリアで活動中の観光協会職員・DMO職員等、23人

◇構成文化財等案内サイン等の設置

<時期> 11月～4年3月

<内容> 葛城修験エリア内の構成文化財等約40か所に解説板や誘導板を設置

IV 県内の日本遺産との連携

県内には、一町単独で申請し認定された日本遺産や県内自治体を構成メンバーとし他府県の自治体が主体となって申請し認定された日本遺産もあります。

これらの日本遺産についても、様々なプロモーションの機会を捉えてPRを行います。

県内の日本遺産

- ◇「**最初の一滴**」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅(平成29年4月認定)
＜所在自治体＞ 湯浅町
- ◇「**百世の安堵**」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～(平成30年5月認定)
＜所在自治体＞ 広川町
- ◇**1300年**つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～(元年5月認定)
＜所在自治体＞ 代表自治体：滋賀県大津市
県内自治体：和歌山市、紀の川市、那智勝浦町
- ◇**女性とともに今に息づく女人高野**～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～
(2年6月認定)
＜所在自治体＞ 代表自治体：河内長野市
県内自治体：九度山町、高野町

V 日本農業遺産

「下津蔵出しみかんシステム」が平成31年2月15日に、「聖地 高野山と有田川上流域を結ぶ持続的農林業システム」及び「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」が3年2月19日に日本農業遺産に認定されたことを契機に、各システムの魅力を活用しながら、各地域への誘客を促進します。

情報発信

- ◇**各種イベントやWEBサイトでの情報発信**
(下津蔵出しみかんシステム日本農業遺産推進協議会、高野山・有田川流域世界農業遺産推進協議会、有田みかん地域農業遺産推進協議会)
各種イベントでのパネル展示やWEBサイトにおいて、システムや地域の魅力を紹介します。

2021実績

- ◇紀の国わかやま文化祭において、記念品として農業遺産関連商品を配布
＜時 期＞ 10月30日
＜内 容＞ みかんジュース、粉山椒、PRパンフレット
- ◇下津蔵出しみかんシステム日本農業遺産推進協議会公式ホームページによる情報発信
＜時 期＞ 4年1月開設
＜内 容＞ 協議会公式ホームページを作成し、動画や写真等により下津蔵出しみかんシステムを紹介

(6) 『温泉』『食の魅力』で和歌山を売り出す

I 温泉の魅力発信

本県の温泉は、源泉数が多く、豊富な湯量があり、また、県内の至るところに特徴ある温泉地が所在する「いで湯の国」です。その泉質も抜群で、年齢性別を問わず、本県への旅行目的の上位を占める観光素材です。

温泉の「泉質の良さ」や「かけながし」を前面に出し、世界遺産、食、自然など周辺の観光素材と組み合わせたプロモーションを行います。さらに、それぞれの温泉地が持つ特色や魅力を発信しつつ、各温泉地における観光関係団体と連携しながら「おもてなし」の向上などを図り、総合的な魅力アップにより誘客を促進します。

①情報発信・誘客促進

◇源泉かけながし

源泉数の多さや豊富な湯量、山・海・川と趣の異なる温泉に加え、抜群の泉質、源泉かけながしなど和歌山の温泉の魅力を発信します。

<内 容> 専用WEBサイトでの情報発信

「水の国、わかやま。」での情報発信 [詳細 25 頁](#)

県公式観光サイト「わかやま観光」での情報発信

各種パンフレットで紹介

◇おとなの白浜さんぽ

「日本三古湯」や「泉質の良さ」など、「温泉」を中心に白浜や椿、日置川エリアが元来持つ魅力をWEBサイトで紹介

○専用WEBサイトによる情報発信

<内 容> 白浜・田辺エリアの観光素材・周遊ルートを紹介します。

2021 実績

◇源泉かけながし温泉WEBサイト

<内 容> 県内の源泉かけながし温泉を掲載

(エリアや泉質による絞り込みなど検索機能を構築)

◇「水の国、わかやま。」による情報発信

<内 容> 「水の国、わかやま。」パンフレット、WEBサイトで温泉を紹介

[詳細 27 頁](#)

②温泉地との連携

◇わかやま12湯推進協議会

県内各地にある泉質の良い温泉地への誘客・地域活性化に寄与するため、地域・旅行会社が連携して情報発信をします。

<内 容> 県内各地の温泉を紹介するチラシの作成、各地域ならではの旅行商品の企画・販売

◇和歌山市の温泉

- 「万葉」で誘客（加太、和歌の浦、紀三井寺）

加太、和歌の浦、紀三井寺は、歴史と景観に彩られた地です。万葉集には、これらの地域で詠まれた歌がいくつか収められており、万葉をテーマとした情報発信やイベントを行うことで、全国の万葉ファンの誘客を促進します。

- 「おさかなリゾート」で誘客（加太）

地元の美味しい鮮魚と海や島を活かした体験（伝統漁法見学、漁船クルーズ等）を組み合わせ、京阪神やインバウンドの観光客の誘客を行います。

◇南紀白浜温泉

- 「しらはま和みコンシェルジュ」で周遊・滞在促進

白浜温泉旅館協同組合加盟施設の従業員が「コンシェルジュ」となり、自ら体験したおすすめの体験プログラムの紹介や手配、また、町内の隠れスポットなどの紹介を行います。

- アートによる白浜の新たな魅力付け

白浜温泉旅館協同組合と大阪芸術大学がコラボし、まちなかでのアート体験や白浜温泉の各ホテルでのコンサート、ライブペインティング等により白浜＝アートな町のイメージづくりにより白浜の新たな魅力付けを行います。

- 「ALL白浜」で周遊・滞在促進

ALL白浜“ここでしかできない旅”実行委員会（※）では、まちなかの周遊促進のための各種取組を実施します。

※構成 商工会、観光協会、旅館組合、町、県、商店街連合振興会、飲食業組合（平成22年に組織）

<主な取組>

- ・ランチプロジェクト「白浜deランチ」の実施
- ・おもてなしボランティア「ウェルカムサポーター」の運営 など

- 食の魅力「クエ」で誘客

観光協会、旅館組合、JR西日本、旅行会社等が連携し、安定供給が可能となった「クエ」を白浜の食として誘客に活用します。

- 多彩なイベントによる誘客

白浜の四季を彩るさまざまなイベント情報を発信し、誘客に繋がります。

◇龍神温泉

- 「日本三美人の湯」で誘客

龍神温泉は、弘法大師空海が開いたとされ、紀州徳川家の湯治場となっていた由緒ある温泉です。また、日本三美人の湯としても知られています。こうした魅力に併せて、世界遺産「高野山・熊野」への近接性などのメリットを主に女性層に発信し、誘客します。

◇熊野本宮温泉郷

世界遺産・熊野本宮大社の膝元に開けた熊野本宮温泉郷は、世界遺産「つぼ湯」が所在する古湯「湯の峰温泉」、毎年冬、河原を掘って作られる「仙人風呂」で有名な「川湯温泉」、アウトドアと大露天風呂が楽しめる「渡瀬温泉」と、それぞれ違った

魅力を有しています。世界遺産にこれらの魅力を併せて発信することで誘客を促進します。

◇串本温泉

○豊かな自然で誘客

「ラムサール条約湿地」に登録されたサンゴの海、本州最南端の「潮岬・大島」、国名勝天然記念物の「橋杭岩」をはじめ、平成26年8月、日本ジオパークに認定された「南紀熊野ジオパーク」などの豊かな自然と新たに「カヤックフィッシング」や「SUP」などのマリンアクティビティを加え、更に充実した体験プログラムと本州最南端の温泉で誘客と滞在を促進します。

○食の魅力「海の食材」で誘客

ブランド「しよらさん鰹」（プレミアム和歌山）をはじめ、「まぐろ」「イセエビ」「トビウオ」など、海の食材には事欠かない串本の「食」を「本まぐろ養殖体験」などユニークな体験プログラムと組み合わせて発信します。

◇南紀勝浦温泉

○世界遺産を活用した誘客

世界遺産に近接するメリットを最大限に活用しつつ、温泉、グルメ、イベント、体験プログラムといった地域観光素材を組み合わせ魅力発信を行うことで、女性層をターゲットにした誘客を促進します。

○食の魅力「生まぐろ」で誘客

南紀勝浦の食を代表する「生まぐろ」を中心に情報発信することで「食」での誘客を促進します。まぐろをテーマとした各種イベント（まぐろ祭り、バル等）の実施や「生まぐろ食べ歩きマップ」による店舗紹介など、まぐろの町ならではのPRを展開します。

2021 実績

◇わかやま12湯推進協議会

○第1回わかやま12湯サミット in 龍神温泉

＜時 期＞ 10月14日

＜場 所＞ 季楽里龍神

＜内 容＞ 和歌山県旅館ホテル生活衛生同業組合の下部組織で12の温泉地の関係者でつくる「WOK委員会」と、協同組合和歌山県旅行業協会の中にある「わかやま12湯推進協議会」が連携し、女性中心で温泉の良さをPRし、他の温泉地と協力して地域を盛り上げ、観光客を誘致することを目的として実施

◇南紀白浜温泉

○しらはま和みコンシェルジュ（白浜温泉旅館協同組合）

＜時 期＞ 平成26年4月～

＜内 容＞ 体験プログラム案内担当（コンシェルジュ）を設け、体験プログラムの利用を促進

白浜周辺を含む体験事業者を募り、チラシ作成、施設各部屋に配置
コンシェルジュやフロントから予約

○シーサイドイルミネーション

<時期> 12月1日～4年1月31日

<内容> 白良浜遊歩道沿いをイルミネーションで飾り付け

◇川湯温泉

○川湯温泉仙人風呂

<時期等> 12月5日～4年2月28日 来場者：約55,000人

<内容> 川を一部せきとめて作られる日本一大きな露天風呂

【参考】

◇温泉総選挙 2021

<時期> 11月1日～4年1月31日

<主催者> 旅して日本プロジェクト実行委員会

<内容> 様々な部門賞を通じて温泉の効能や温泉地の魅力を広くPRし、国民へ温泉地の利用を促進することを目的として実施。

エントリー温泉地総数：132温泉地

<受賞> ①南紀勝浦温泉

・部門賞「歴史・文化部門」第1位（獲得票数7,973票）

<備考> 総投票数 1,001,910票

II 食の魅力発信

温暖な気候風土に恵まれた本県には黒潮で獲れる海の幸、梅やみかんをはじめとする山の幸があります。「食」は「温泉」などとともに旅行目的の重要な要素であり、地元の新鮮な食材を活かした特色あるメニューや郷土料理等を他の観光素材と組み合わせて情報発信するとともに、地域で人気のあるお店やカフェなど女性にうける店舗や、バルなどの地域等が新たに実施する「食」に関する取組について情報発信等を行うことで誘客に繋がります。

情報発信・誘客促進

◇県公式観光サイトにおける情報発信

県公式観光サイト内「グルメ」において、随時、旬なグルメ記事や、観光客が来店しやすいような店舗情報を掲載、更新することで誘客を図ります。

また、すべての情報発信の際に、旅の楽しみ方として最新グルメやご当地グルメなど「食」の情報や周辺観光スポットなどの情報をあわせて発信することで誘客を図ります。

◇地元グルメの情報発信

「地元ならではの食」や「地元の看板グルメ」を各種観光パンフレット等に掲載し、積極的に情報発信することで誘客に繋がります。

○和みわかやまっぷ with スタンプラリー（お得なクーポン付与）

県内のお食事処、お土産処、温泉・入浴施設をめぐるスタンプラリー。規定数のスタンプを集めて応募すると、宿泊券や県産品等を抽選で進呈。「わかやま・まるごとスタンプラリー」の1メニューとして、実施します。 [詳細 117 頁](#)

○県観光ガイド&マップ

○県観光情報誌「紀州浪漫」 など

◇**ミシュランガイドを活用した情報発信**

2022 年版「ミシュランガイド」に掲載された飲食店情報を周辺の観光スポットなどの情報とあわせて発信することで誘客を図ります。

2021 実績

◇和歌山通がおすすめするグルメ情報の発信

<時 期> 4月1日～

<内 容> 随時旬なグルメや店舗情報を掲載

<実 績> 計59テーマを掲載

◇県公式観光サイトにおける情報発信

「郷土料理・特産・土産」「果物」「魚介類・肉類」「飲料」毎に代表する「食材」を紹介

◇地元グルメの情報発信

○和みわかやまっぷ with スタンプラリー [詳細 118 頁](#)

○県観光ガイド&マップ

○県観光情報誌「紀州浪漫」

各号の特集などで旬の素材や地域グルメを紹介

◇**ミシュランガイドを活用した情報発信**

○県公式観光サイト

○県観光ガイド&マップ

○雑誌「SAVVY」（4年3月23日発行）

○シティリビング（大阪・神戸・京都）、WEB、SNS（4年3月25日発行）

○WEB「Next weekend」（4年3月30日公開）

○関西日帰りドライブ Walker（4年3月31日発行）

(7) 『自然の素晴らしさ』 『ほんまもん体験』 で和歌山を売り出す

I 自然を活用した誘客

本県は、山・海・川など、天与の観光資源である自然に恵まれ、心身のリフレッシュや景観を楽しむだけでなく、自然をフィールドにさまざまな体験を楽しむ観光客が増えています。

このことから、県では「水」をテーマにした「水の国、わかやま。」を通じて、新たな「和歌山の魅力」を発信し、観光資源の開発やブラッシュアップに取り組むとともに、和歌山の自然を楽しみながら走るサイクリングルートの整備や、太平洋岸自転車道のナショナルサイクルルートの認定、サイクルトレインの運行にあわせ、サイクリストに優しい宿や、サイクルステーションなど、受入環境の拡充にも取り組んでいます。

詳細 13～32 頁

また、紀伊半島の大地が創り出した南紀熊野ジオパーク（県内の9市町村に所在）が、平成31年1月、日本ジオパークに再認定されました。これは、貴重な自然、そこから発生した自然崇拜や熊野信仰、人間の営み、豊かな温泉、食文化があり、それを地域の人々が保全し、活性化につなげる活動を継続して繰り広げてきたからこそ再認定されたものです。今後、地域と連携した取組を進めるとともに、南紀熊野ジオパークエリアの情報発信やガイド養成などの受入体制の充実を図り、地域への誘客を促進します。

情報発信・誘客促進

◇「ジオパーク」を活用した誘客

○南紀熊野ジオパークセンターの取組

- ・南紀熊野ジオパークセンターを南紀熊野ジオパークエリアの観光の情報発信拠点とし、地域への誘客を促進します。
- ・センター内に南紀熊野ジオパークガイドが常駐し、地域の様々な魅力を発信します。
- ・教育旅行の受け入れを推進します。

○「南紀熊野ジオパーク」モバイルスタンプラリー（わかやま・まるごとスタンプラリー）の実施

スマートフォン等を活用した県内のジオサイトを巡るモバイルスタンプラリーを実施し、南紀熊野ジオパークエリアへの誘客を促進します。

○各種情報発信ツールやメディア展開

各種情報発信ツールやメディア展開において「南紀熊野ジオパーク」の魅力を発信し認知度向上・誘客促進に努めます。

○「南紀熊野ジオパーク推進協議会」と連携した観光振興

平成26年8月に日本ジオパークに認定され、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を進めている「南紀熊野ジオパーク」地域について、推進主体である南紀熊野ジオパーク推進協議会と連携しながら、観光振興での活用を図ります。

<推進協議会の観光振興に係る主な事業>

- ・協議会公式ホームページや公式 Facebook、パンフレットによる情報発信
- ・南紀熊野ジオパークガイド養成
- ・南紀熊野ジオパークフォトコンテストの開催
- ・南紀熊野ジオパークフェスタの開催
- ・「WEST EXPRESS 銀河」運行に伴うJR西日本との連携事業の実施

【ジオパーク】

貴重な地質や地形を含めた自然遺産を保全するとともに、ジオツーリズムを通して地球科学の普及や環境教育などを行い、さらに観光資源として活用することで地域の活性化を目指す。

世界ジオパークは、平成27年11月に世界遺産と同じユネスコの正式事業に承認された。

【南紀熊野ジオパーク推進協議会】

構成団体：県、新宮市、白浜町、上富田町、すさみ町、那智勝浦町、太地町、

古座川町、北山村、串本町の行政・教育委員会・経済団体及び奈良県十津川村

設立年月：平成25年2月

2021実績

◇「ジオパーク」を活用した誘客

○南紀熊野ジオパークセンター

<開設日> 令和元年7月27日

<来館者数> 累計141,536人(今年度46,852人)(4年2月末現在)

○「南紀熊野ジオパーク」モバイルスタンプラリーの実施

<時期> 7月1日～4年2月28日

<内容> 日本ジオパークに認定されている南紀熊野ジオパークのジオサイトを巡るスタンプラリー

※チェックポイントを30か所設定し、チェックポイントを訪れるとスタンプを1つ獲得

○「水の国、わかやま。」による情報発信 [詳細 26 頁](#)

○各種メディアでのPR

- ・実業之日本社「ガルヴィ(6月号)」(発行日:5月10日)

特集「ジオパークと地元食材を巡るキャンプ旅」

- ・英公社「わおマップ 和歌山県南紀エリア」(発行:7月)

- ・リビング新聞社「LiSM」

特集「3つの大地で愛を叫ぶ「ジオアワード2021」開幕」(発行:5月25日)

特集「目指せ!ジオカードコンプリート!」(発行:4年3月25日)

- ・JTBパブリッシング「ノジュール(4月号)」(発行日:4年3月28日)

特集「絶景白浜サイクリング」

○協議会公式ホームページや公式 Facebook、パンフレットによる情報発信

- ・協議会公式ホームページによる情報発信

<時期> 随時

- <内 容> イベント情報を随時更新。ジオサイト、ジオパークガイド、モデルコース等の情報を発信
- ・協議会公式 Facebook による情報発信
 - <フォロワー> 2, 507人
 - ・パンフレット「知る旅 いい旅 南紀熊野ジオパーク」による情報発信
 - <時 期> 随時
 - <内 容> エリアごとに、ジオパークの見どころや飲食店、マップ等をモデルコース形式で紹介
 - <展 開> 紀南地域を中心に、道の駅、観光案内所、宿泊施設、ジオパークセンター等での配布
 - ・英語版「南紀熊野ジオパーク・吉野熊野国立公園ガイドブック」による情報発信
 - <時 期> 随時
 - <内 容> 英語でジオサイト等の見どころやアクティビティ、歴史文化を紹介
 - <展 開> 関西国際空港、南紀白浜空港、道の駅、観光案内所、宿泊施設、ジオパークセンター等で随時配布
- 南紀熊野ジオパークガイド養成【主管：自然環境室】
- <内 容> 南紀熊野ジオパーク地域の魅力を伝える南紀熊野ジオパークガイドの養成講座を実施
 - ・新規養成講座：合格者23人 エリア拡大講座：合格者8人
 - <実 施> 南紀熊野ジオパーク推進協議会
- 南紀熊野ジオパークフォトコンテスト【主管：自然環境室】
- <内 容> 南紀熊野の地形や風景、自然の恵み、地元特有の動植物、歴史や文化、農業、漁業、地場産業やエリア内の人々の営みなど、南紀熊野の魅力を目撃した写真のコンテストを実施
 - <応募数> 106人 延べ362作品
- 第9回南紀熊野ジオパークフェスタの開催【主管：自然環境室】
- <時期等> 4年2月11日 オンライン配信
 - <内 容> 講演会
 - 南紀熊野ジオパーク探偵団活動報告
 - 南紀熊野ジオパーク活動紹介
 - <実 施> 南紀熊野ジオパーク推進協議会、環境省近畿地方環境事務所
- 「WEST EXPRESS 銀河乗客」運行に伴うJR西日本との連携事業の実施【主管：自然環境室】
- ・南紀熊野ジオパークガイドの案内による橋杭岩鑑賞
 - ・記念グッズ（南紀熊野ジオパークと WEST EXPRESS 銀河のロゴマークキーホルダー）のプレゼント

II 「ほんまもん体験」の魅力発信

体験観光は、観光客が訪問先での滞在時間を延ばし、消費拡大につながる重要な観光素材です。自然、農林漁業や歴史文化、暮らしなどの地域資源を活かした体験型観光「ほんまもん体験」は約390のメニューがあり、これらを活用して和歌山を売り出します。

特に、自然に触れ合うアウトドア志向の急激な高まりに対応するため、本県の豊かな自然を生かしたアウトドアフィールドと体験メニューの魅力を情報発信するとともに、体験メニューのブラッシュアップを行い、誘客に繋がります。

「ほんまもん体験」を修学・教育旅行に組み込むことによる教育的効果の期待が高まり、本県への修学・教育旅行が増加しています。この機を活かし、様々な学習・体験ができる修学・教育旅行を全国の学校に提案します。 [詳細 112 頁](#)

また、訪日教育旅行は、学校交流や農山漁村生活体験などを通じて、県内の児童・生徒や地域の方々が異文化を体験し、国際理解を深める機会にもなっています。今後も海外の旅行会社や学校に積極的にプロモーションを行い、さらなる誘致に努めます。

[詳細 112 頁](#)

①体験プログラム情報発信等

◇「水の国、わかやま。」との連動 [詳細 25 頁](#)

「水の国、わかやま。」で水の体験アクティビティを紹介します。

◇体験プログラムの情報発信

さまざまな媒体を活用して体験プログラムの情報発信を行います。

その際、利用状況や事業者からのヒアリング結果などから利用しやすい体験プログラムを選別し、それらをより強く情報発信します。

<内 容> 県公式観光サイトにおける専用ページでの紹介
プレスツアーへの組入れ
雑誌等への特集記事掲載

◇旅行会社へのセールス活動の強化

団体での受入れが可能で、かつ、人気が高く利用しやすい体験プログラムを旅行会社に積極的に情報提供し、商品化に繋がります。

<内 容> 旅行会社訪問時の情報提供
旅行会社現地研修ツアーへの組入れ

◇アウトドア体験プログラムの情報発信 [詳細 30 頁](#)

◇ワーケーションを活用した取組の強化 [詳細 104 頁](#)

◇地域観光関係団体による体験観光の利便性向上

観光協会、旅館組合など地域観光関係団体を中心となって、周辺の体験プログラム等を積極的に情報発信することにより、地域への滞在と消費を促します。

2021 実績

◇体験プログラムの情報発信

「ほんまもん体験」ホームページやメディアを通じた情報発信を実施

- ドライブウォーカー、SNS広告での情報発信
 <時期> 4年3月31日
- 「ほんまもん体験」ホームページの更新

②体験プログラムの魅カアップ

- ◇体験観光の開発支援 詳細 28 頁
- ◇アウトドア体験プログラムのフラッシュアップ 詳細 30 頁
- ◇紀州語り部のレベルアップ

紀州語り部のおもてなし力等の向上を促す研修会等や相互連携を図る連絡会議を実施すると共に、次世代の担い手とされる人材確保等に努めます。

- 紀州語り部ガイドレベルアップ支援

紀州語り部各団体等が独自で行うレベルアップ研修に対する助成を行います。

<対象> 紀州語り部各団体等

- 紀州語り部連絡会議、研修会の実施

紀州語り部登録団体・登録者間の交流、語り部の資質向上、相互連携を図るための研修会等を開催します。

<時期等> 5年1～3月頃、連絡会議は県内2か所、研修会は県内外1～3か所で開催

- ◇将来の地域人材確保に向けた取組

世界遺産の語り部などの将来的な人材不足を見据え、地域が求める次世代を担う人材の裾野を拡大します。

- 紀州語り部 次世代担い手の育成

次世代を担う語り部を育成するために、各語り部団体・各市町村・市町村観光協会等と連携し、担い手となる各団体等への調整や周知を図ると共に、段階的な認知活動を進めます。

<時期等> 9月～5年1月頃

<募集対象> 県内外の希望者

- 世界遺産を次世代に継承するための取組 詳細 52 頁
- 日本遺産ガイドの養成 詳細 62 頁
- 和歌山県版通訳ガイド育成 詳細 181 頁

2021実績

- ◇紀州語り部のレベルアップ

- 紀州語り部ガイドレベルアップ支援事業

語り部等7団体に対し支援を行った。

- ①田辺観光ボランティアガイドの会 ②古道語りべ・熊野赤リュック
- ③（一社）和歌山地域通訳案内士会 ④熊野本宮語り部の会
- ⑤（一社）田辺市熊野ツーリズムビューロー ⑥（一社）湯浅町観光協会
- ⑦ShoLa Wakayama Guide

○紀州語り部おもてなし等研修会の実施

<日 程> 4年3月15日・16日

<場 所> 和歌山県民文化会館（15日・27人）
西牟婁振興局（16日・30人）

<テーマ> 「SDGs の基本的な知識を学び目標達成に貢献するガイドを目指す」

<講 師> 河上 伸之輔氏【（一社）SDGs 支援機構】

○紀州語り部連絡会議 （新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）

◇わかやま次世代語り部の育成 （新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）

(8) 『ブランド』で和歌山を売り出す

グローバルブランドである「世界遺産」や「ミシュラン三つ星」に加え、本県独自のブランドとして「和歌山県ふるさと大使」をはじめ、スーパースターなどを前面に出したPR活動を行います。

県が委嘱している「和歌山県ふるさと大使」、「わかやまパンダ大使」、「和歌山県観光大使」、県観光連盟が委嘱している「わかやま応援団」や「和歌山ファンクラブ」の方々には、メディアや企業等、それぞれが関係するフィールドにおいて広く情報発信を行っていただくとともに、本県のスーパースターであるアドベンチャーワールドの「パンダファミリー」や和歌山電鐵貴志川線の「社長代理ウルトラ駅長・ニタマ、スーパー駅長・よんたま」の世代を問わない人気や、安全で高品質な県産品として認定されたわかやまの逸品「プレミア和歌山」など、ブランド力を活かしたプロモーションを実施します。

情報発信・誘客促進

◇和歌山県ふるさと大使等によるPR

「和歌山県ふるさと大使（坂本冬美さん、小西博之さん）」や「わかやまパンダ大使（岡本玲さん）」、「和歌山県観光大使（袁文英さん）」には、さまざまな観光イベントなどに出演を依頼し、メディアを介して広く情報発信を行っていただきます。また、「わかやま応援団（33人）」「和歌山ファンクラブ（838人）」の方々には、各人の持つ広い人脈を通して観光や県産品等の情報を発信していただきます。

ふるさと大使



坂本冬美さん

ふるさと大使



小西博之さん

わかやまパンダ大使



岡本玲さん

観光大使



袁文英さん

◇パンダなどブランドを活用した情報発信

○日本一の飼育頭数を誇る「パンダ」を活用した誘客展開

アドベンチャーワールドにおいて、2年11月、2年ぶりにメスの赤ちゃんパンダ「楓浜（ふうひん）」が誕生しました。引き続き、「パンダ＝和歌山」のイメージの拡大・定着を図るとともに、周辺の楽しみ方も含め情報発信に努めます。

- ・都市圏プロモーションにおける情報発信
メディア、旅行会社訪問時にパンダ情報を紹介
- ・メディアを活用した情報発信
テレビ、雑誌、新聞広告などによる情報発信

○和歌山観光PRシンボルキャラクター「わかぱん」による情報発信

和歌山観光PRシンボルキャラクター「わかぱん」の露出機会を増やし、『パンダ＝和歌山』イメージの拡大・定着を図ります。

- ・「わかぱん」の全国的な露出拡大を図るため、大手企業とのタイアップを開拓・

推進

- ・県内事業者等に、商品やパッケージへの「わかばん」の使用を働きかけ
 - ・各種プロモーション（メディア訪問等）実施時に「わかばん」着ぐるみ登場
 - ・「わかばん」各種ノベルティ（シール、缶バッジ、絆創膏、ピンバッジ等）の活用
- 「パンダ」イメージプロモーション
- ・メディアを介した情報発信を期するため、「わかやまパンダ大使」の岡本 玲さんをイベントや観光情報等で起用
 - ・県公式観光サイト、「わかばん Twitter」等による旬のパンダ情報の発信
- 和歌山電鐵「社長代理ウルトラ駅長・ニタマ」で誘客促進

3年8月21日和歌山県勲功爵称号授与式を開催し「ニタマ卿」となった「社長代理ウルトラ駅長・ニタマ」や3年12月4日に運行開始した「たま電車ミュージアム号」をはじめ、「いちご電車」「たま電車」「うめ星電車」といったユニークな電車が観光客を惹きつける和歌山電鐵とタイアップして貴志川線沿線の誘客を促進します。

- ・都市圏プロモーション [詳細 120 頁](#)
- メディア、旅行会社訪問時の紹介
- ・岡山市における情報発信

同社が属する両備グループの岡山電気軌道(株)の路面電車「たま電車／わかやま応援館」を使用して岡山市において継続的な情報発信

◇本県にゆかりのある「アニメ」の活用

本県にゆかりのある「アニメ」作品を集約し、本県出身の漫画家の協力を得ながら、ゆかりの地を巡る旅を提案・発信します。

○サマータイムレンダによる発信

TVアニメ「サマータイムレンダ」の放送を機に、特設ホームページやデジタル旅雑誌を活用した情報発信をすることで、和歌山市友ヶ島を含めた県域への誘客を図ります。

○イメージキャラクターの活用

本県出身の人気漫画家・助野嘉昭氏の協力により制作したアニメ系のイメージキャラクター「和歌みなみ」の等身大パネル等を各種プロモーションや媒体で活用します。

○「わかやまアニメ旅」による発信

県公式観光サイト内「わかやまアニメ旅」において本県にゆかりのある「アニメ」作品や舞台となった地の情報を発信することで誘客（アニメ聖地巡礼）に繋がります。

◇プレミア和歌山の活用

優良県産品（プレミア和歌山）の販促活動と連携した観光プロモーションを実施することで、観光と物販の相乗効果を高めます。

また、各種キャンペーンにおける賞品等でプレミア和歌山認定商品を積極的に活用し、認知度向上に努めるとともに、地域の特産品やお土産として観光的価値の高い商品について、積極的にPRを行います。

○特設WEBサイト「premier SELECT—わかやまの逸品—」による情報発信

- <時 期> 随時更新
<内 容> プレミア和歌山認定商品の中から高品質なものをセレクトして紹介
<展 開> 県公式観光サイト内に開設している特設WEBサイトに誘導

2021 実績

◇和歌山県ふるさと大使等によるPR活動

○ふるさと大使・坂本冬美さん

- ・「紀の国わかやま文化祭 2021」開会式への出演

<時期等> 10月30日 和歌山ビッグホエール

○わかやまファンクラブ

<会員数> 838人

<内 容> 紀州浪漫の送付

◇パンダなどブランドを活用した情報発信

○旅行会社ファムツアーの実施

<時 期> 4年3月8日～3月10日

<内 容> 首都圏旅行会社を対象に白浜空港を活用した現地視察にてアドベンチャーワールドを訪問（9社参加）

○春プロモーションでの情報発信 [詳細 123 頁](#)

<時 期> 4年3月24日

<内 容> サンテレビジョン「情報スタジアム4時キャッチプラス」でアドベンチャーワールドを紹介

○「わかぱん」による情報発信（企業タイアップ）

県内外企業が発売する商品等に「わかぱん」を採用してもらい、露出を促進

- ・パッケージへのデザイン使用（(株)アクトジャパン）

<承認日> 4月1日

<内 容> お土産「くるッと梅マヨコーン」パッケージでの使用

- ・電子マネーカードにおけるデザイン使用（イオンリテール(株)）※継続利用

<承認日> 5月12日

<内 容> 電子マネーWAON カードの券面デザインでの使用

- ・空港見学ツアーのプロモーション動画での使用（(株)南紀白浜エアポート）

<承認日> 6月2日

<内 容> 飛行機に乗るわかぱん画像を空港見学ツアーのプロモーション動画内で使用

- ・漆器でのデザイン使用（(株)三好漆器）

<承認日> 6月22日

<内 容> わかぱんデザイン漆器の製造、販売、及び本商品の広告

- ・旅行商品パンフレットにおけるデザイン使用（東武トップツアーズ(株)）

<承認日> 6月25日

<内 容> 個人型企画商品 FEEL「関西」パンフレットにおけるデザイン

- ・お土産用菓子におけるパッケージへのデザイン使用 ((有)山崎梅栄堂)

<承認日> 8月16日

<内 容> 「めっちゃ旨!ぷちかるる梅にんにく味」パッケージでの使用

- ・旅行ガイドブックにおけるデザイン使用 ((有)どんぐり・はうす)

<承認日> 8月23日

<内 容> 「地球の歩き方」00日本 (仮題) における各県の旅行情報掲載部分で使用

- ・マクドナルド和歌山出店40周年・和歌山県150周年コラボ企画における使用 (日本マクドナルド(株))

<承認日> 8月29日

<内 容> レシート裏クーポン及びコラボレーション告知ポスターにおけるデザイン使用

- ・マスクにおけるデザイン使用 ((株)島精機製作所)

<承認日> 9月16日

<内 容> 販売用ホールゲームマスクにおける使用

- ・雑誌におけるデザイン使用 ((株)小学館)

<承認日> 10月6日

<内 容> 小学校低学年男児向けエンタメ雑誌「コロコロイチバン!」における使用

- ・大学祭パンフレット・特設サイトにおけるデザイン使用 (京都女子大学)

<承認日> 10月8日

<内 容> 京都女子大藤花祭のパンフレットおよび特設サイトにおける使用

- ・パンフレットにおけるデザイン使用 (南海印刷(株))

<承認日> 10月27日

<内 容> 「わかやまいいところ!徳島いいところ!キャンペーン」パンフレットにおける使用

- ・缶バッジにおけるデザイン使用 (NPO法人はまゆう JAPAN)

<承認日> 10月29日

<内 容> 販売用缶バッジにおける使用

○和歌山電鉄「ニタマ駅長」への和歌山県勲侯爵の授与

和歌山電鉄貴志駅の執行役員ウルトラ駅長として大活躍中の「ニタマ駅長」がわかやまを全国へ発信した功績を称え、「和歌山県勲功爵」の称号を授与

<内 容> 仁坂知事から表彰状、徽章及び副賞(キャットフード)の贈呈

和歌山電鐵 小嶋代表取締役社長からガウン及び帽子飾
ゲストからお祝いメッセージ

- ・アドベンチャーワールド飼育スタッフ 吉田倫子さん
(過去に勲侯爵を受賞したパンダファミリー代表)
- ・和歌山大好き・猫ガール 本谷紗己さん

<時 期> 8月21日 11:20~12:00

<場 所> 和歌山電鐵 貴志駅 敷地内

◇本県にゆかりのある「アニメ」の活用

○「わかやまアニメ旅」による発信

県公式観光サイト内「わかやまアニメ旅」において本県にゆかりのある「アニメ」
作品や舞台となった地の情報を追加発信

・サマータイムレンダを活用した発信

和歌山市の友ヶ島がモデルとなっているサスペンス漫画。聖地とされる友ヶ島
を起点に、県域への更なる誘客を図る為の情報発信を行う

<内 容> サマータイムレンダ特設ホームページの作成

友ヶ島や加太エリアの情報以外に、和歌山市、高野山、白浜、串本、
熊野のエリア情報を、アニメの描き下しを新たに行い紹介する頁を
作成

<内 容> サマータイムレンダデジタル旅雑誌の作成

アニメのメインキャラクターを演じる女性声優2人が、女子旅と称
し、友ヶ島等と和歌山市内や白浜町を旅するデジタル旅雑誌を作成

◇プレミア和歌山の活用

○県観光情報誌「紀州浪漫」ミニ特集「紀州三昧」

夏号：小玉スイカ（ひとりじめ7）、秋号：紀州和華牛

冬号：長寿柿、春号：漆ガラス食器

(9) 『四季折々の魅力』で和歌山を売り出す

四季折々の表情を見せる和歌山の観光素材。その時期ならではの見どころや楽しみ方がたくさんあります。こうした情報に加え、特色ある祭りや地域イベントなど本県ならではの旬の情報をきめ細やかに発信します。

旬の情報発信

県観光情報誌やイベント情報チラシ、県公式観光サイト、ラジオ番組等で旬の情報をタイミングよく発信します。

◇県観光情報誌「紀州浪漫」 詳細 93 頁

<時期等> 年4回（6、9、12、3月）発行
各号6、5万部

<展開> 全国のメディア、和歌山ファンクラブ会員、全国主要都市の主要書店
110店舗など

◇県公式観光サイト 詳細 93 頁

旬のイベント情報、四季折々の見どころや楽しさを紹介します。

◇地元の方しか知らない熊野古道の見どころを情報発信 詳細 42 頁

地元の方しか知らない熊野古道の絶景や四季・天候により異なる魅力、文化など見どころをWEBサイトで国内外に広く情報発信します。

◇テレビ・ラジオ番組

○週末に行きたくなるような近畿2府4県の観光&イベント情報を紹介

<番組名> NHK

「ほっと関西サタデー（仮）」内の「週末情報コーナー」

<時期> 近畿2府4県（2か月に1回）毎週土曜日 18時50分～約5分間

○県内の主なイベントなどの観光情報をタイムリーに発信し、聴取エリアからの誘客を図ります。

<番組名> 和歌山放送

「つながるワイド」内の観光情報コーナー「ぐるっと紀州路」

<時期> 毎週木曜日 15時20分～約5分間

2021実績

◇県観光情報誌「紀州浪漫」 詳細 95 頁

各号のミニ特集「紀州三昧」やイベントカレンダーで四季折々のお祭りやイベントなどを紹介

◇ラジオ番組

<放送日等> (※)はNHK第1、その他は和歌山放送

テーマ	放送日	場所	時期
粉河寺 本堂北側千手観音特別拝観	4月1日	紀の川市	3月27日 ～5月5日

熊野本宮大社例大祭	4月8日	田辺市	4月13日 ～4月15日
高野山の桜と霊宝館の紹介 高速バス(大阪市内～高野山) 運行 (※)	4月9日	高野町	4月23日 ～11月30日
こいのぼりの丹生川渡し	4月15日	九度山町	4月11日 ～5月5日
紀三井寺秘仏御本尊「よみが えり御開帳」	4月22日	和歌山市	4月8日 ～5月29日
北山川 観光筏下り	4月29日	北山村	5月3日 ～9月29日
紀三井寺秘仏御本尊「よみが えり御開帳」	5月13日	和歌山市	4月8日 ～5月29日
西庄ふれあいの郷ハーブ園	5月20日	和歌山市	4月中旬 ～5月中旬
水の国、わかやま。 (※)	5月21日	県内	
桑の木の滝	5月27日	新宮市	5月27日
かつらぎ町の蛍	6月3日	かつらぎ町	6月上旬～中旬
和歌山市森林公園あじさい	6月10日	和歌山市	6月上旬～下旬
みなべ町梅狩り	6月17日	みなべ町	6月中旬頃
リフレッシュプラン2nd	6月23日	県内	8月31日 ～12月31日
箕川の大賀ハス	6月24日	有田市	6月下旬 ～7月下旬
舞妃蓮の開花	6月30日	御坊市	～7月下旬頃まで
たなばた祭り	7月1日	和歌山市	7月1日 ～7月7日
サイクリング王国「WAKAYAMA 800」 水の国、わかやま。 (※)	7月2日	県内	
御最勝講	7月7日	高野町	7月19日、20日
「和みわかやまっぶ」のイン スタグラム紹介	7月8日	県内	2年11月 ～8月31日

園内花と緑の写真コンテスト	7月15日	岩出市	7月1日 ~7月31日
私のたなべ街歩きキャンペーン	7月22日	田辺市	4月1日 ~4年2月28日
白浜花火の大会	7月28日	白浜町	8月1日、8日、15日、22日、29日
北山村 観光筏下り	7月29日	北山村	5月3日 ~9月29日
ヒマワリ咲き始める	8月5日	御坊市	8月上旬頃まで
わかやま遊び（アウトドアサイト）（※）	8月6日	県内	
みさと天文台がリニューアル	8月12日	紀美野町	7月7日
ホエールウォッチング	8月19日	那智勝浦町	9月下旬まで
鷲ヶ峰コスモスパークの秋桜	9月23日	有田川町	9月上旬 ~10月下旬
わかやま歴史物語（※）	9月24日	県内	
龍神街道スタンプラリー	9月30日	田辺市	10月下旬
飛鳥神社秋期例大祭	10月5日	太地町	10月10日
みかんまつり	10月6日	海南市	10月10日
鷲ヶ峰コスモスパークの秋桜	10月7日	有田川町	9月上旬 ~10月下旬
くどやま芸術祭	10月13日	九度山町	9月19日 ~10月17日
熊野速玉大社例大祭	10月14日	新宮市	10月15日、16日
熊野川水系鮎漁解禁	10月20日	新宮市	12月31日まで
秋季特別展「加太淡島神社展・女性漁民の祈り」	10月21日	和歌山市	10月9日 ~12月12日
生石高原のススキ	10月28日	有田川町	9月上旬 ~11月下旬
高野山の紅葉	11月4日	高野町	10月下旬 ~11月中旬

ぼたん荘の朝市	11月11日	古座川町	11月14日
紅葉溪庭園、福定の大銀杏 (※)	11月12日	和歌山市 田辺市	11月下旬頃まで
第15回 田辺弁慶映画祭	11月18日	田辺市	11月19日 ~21日
フェスタルーチェ	11月25日	和歌山市	11月3日 ~2月14日
ARIDA CYCLING MEETING	12月2日	有田市	12月4日
仙人風呂	12月9日	田辺市	12月1日 ~4年2月28日
心の癒し・お逮夜ナイトウォーク	12月16日	田辺市	12月20日
海南ノビノスイルミネーション	12月23日	海南市	11月19日 ~4年2月14日
各地の温泉情報 (※)	12月24日	和歌山市、田 辺市、白浜町	仙人風呂(本宮)は 2月末
カウントダウン花火大会	12月30日	白浜町	12月31日
名物ガイド松浦さんと歩く冬の友が島ウォーキング	4年1月6日	和歌山市	1月8日 2月5日
隅田八幡神社管祭り	4年1月13日	橋本市	1月15日
立春大護摩供星祭、重要文化財指定御本尊開帳	4年1月20日	那智勝浦町	1月27日
あまご釣り	4年3月8日	紀美野町	3月13日 ~9月30日
いちご狩り	4年3月9日	紀の川市	1月上旬 ~5月末
シロウオ漁体験イベント	4年3月10日	広川町	3月12日・13日・ 19日・20日
みなべフォトコンテスト	4年3月15日	みなべ町	4月3日 ~4年3月31日
明恵峡の桜	4年3月16日	有田川町	3月下旬 ~4月上旬
奥之院正御影供	4年3月17日	高野町	3月21日
和みわかやまっぷ	4年3月23日	県全域	~4年8月31日

ホエールウォッチング	4年3月24日	那智勝浦町	3月下旬 ～9月下旬
ひな流し	4年3月30日	田辺市	4月3日
歓喜神社大祭	4年3月31日	白浜町	4月1日 ～4月30日

◇「熊野古道の新たな見どころ100選」による情報発信 [詳細44頁](#)

祭り・イベント

伝統的な祭りのほか、奇祭、参加型イベントなどバラエティーに富んだ祭りの数々をタイミングよく情報発信し、誘客を図ります。

【紀州三大祭り】

- ・和歌祭（5月15日） 紀州東照宮（和歌山市） [プレミア和歌山](#)
- ・田辺祭（7月24、25日） 鬪雞神社（田辺市）
- ・粉河祭（7月30、31日） 粉河とんまか通り（紀の川市）
[プレミア和歌山](#)

【火祭り】

- ・那智の扇祭り（7月14日） 熊野那智大社（那智勝浦町） [プレミア和歌山](#)
- ・高野山万燈供養会（ろうそく祭り）（8月13日）
金剛峯寺／奥之院（高野町）
- ・本州最南端の火祭り（1月最終土曜） 潮岬望楼の芝（串本町）
- ・御燈祭（5年2月6日） 神倉神社（新宮市） [プレミア和歌山](#)
- ・生石高原の山焼き（5年3月） 生石高原（紀美野町・有田川町）

【有名な祭り】

- ・湯登大祭（4月13～15日） 熊野本宮大社（田辺市本宮町）
[プレミア和歌山](#)
- ・花盛祭（4月第2日曜日） 丹生都比売神社（かつらぎ町）
[プレミア和歌山](#)
- ・齋刺祭（10月第1土曜日） 大宮神社（岩出市） [プレミア和歌山](#)
- ・みかん祭り（10月第2日曜日） 橋本神社（海南市）
- ・笑い祭（10月第2日曜日） 丹生神社（日高川町）
- ・奉納花相撲（泣き相撲）（10月中旬）
山路王子神社（海南市）
- ・隅田八幡神社の秋祭（10月第1土、日曜日）
隅田八幡神社（橋本市） [プレミア和歌山](#)
- ・御船祭（10月16日） 熊野速玉大社（新宮市） [プレミア和歌山](#)
- ・ひな流し（5年3月3日） 淡嶋神社（和歌山市）

【市民参加型イベント】

- ・砂まつり（5月下旬） 白良浜（白浜町）
- ・弁慶映画祭（11月） 田辺市内

・南紀おやじバンドコンテスト（12月上旬）

上富田文化会館（上富田町）

2021実績

祭りやイベント等について、県公式観光サイト、県観光情報誌「紀州浪漫」、イベントカレンダー、マスコミ等を通じて広く情報発信

3 和歌山へ招く

(1) 『メディアを活用』して和歌山へ招く

「和歌山の魅力」の発信は、本県観光戦略の主軸であり、なかでもメディアの活用は、最も重要な施策です。近年、ロンリープラネットやAirbnb、ガイジnPottなどの国内外からの高評価を連続して得ているのは、明らかに各種メディアからの情報発信の成果であるといえます。引き続き、県観光情報誌「紀州浪漫」の全国展開に加え、「世界遺産」「女子旅」などのブランド力やマーケットの注目度の高いテーマと「まだまだ知られていない和歌山の魅力」をテレビ、ラジオ、雑誌、新聞、WEB及びSNS（Facebook、Twitter、Instagram、YouTube）などとの組み合わせに加えインフルエンサーの活用などにより効果的かつ効率的に発信します。

また、有名自転車メーカーなどの企業とのタイアップやCSR活動の推進により企業のブランド力とパブリシティを活用するとともに、大都市圏等でのプロモーション活動においても、プロモーション実施地域のテレビ、新聞などのメディアから情報発信を行います。

さらに、映画やテレビ番組等のロケ地を誘致するフィルムコミッション活動を展開し、映像を通じた魅力発信を図ります。

①番組・映画制作、記事掲載の促進

◇企画提案活動の実施

テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、WEBなどの各種メディアに対し、それぞれの媒体のコンセプトやターゲット層にマッチした観光素材やキャンペーンの提案活動を推進します。

◇フィルムコミッション

ジャパン・フィルムコミッションのネットワークを積極的に活用し、業界関係者に強く働きかけ、映画やテレビ番組等のロケを誘致することで、映像を通じた魅力発信と認知度向上を図ります。

○ジャパンフィルムコミッションロケ地フェアへの出展

<時期等> 8月頃 近畿ロケ地フェア2022（大阪）
5年1月頃 全国ロケ地フェア2023（東京）

<内容> 国内外の映像関係者との人脈作りやロケ地の魅力発信を実施

○ロケ実施支援

わかやまフィルムコミッション専用サイトによるロケ適地等の情報を発信し、ロケハン・ロケ協力、エキストラの動員、市町村等との連携

○ロケ誘致活動

首都圏制作会社等への営業活動（年4回程度）

◇企業とのタイアップ事業、企業のCSR活動による広報展開

トレッキングやマリンスポーツ、サイクリングなどを展開するメーカーなどの企業とのタイアップや企業がCSR活動を広報するため実施しているパブリシティを積極的に活用します。

◇ SNSを活用した情報発信の実施

サイクリング、アウトドア、グルメなど各分野に影響力のあるインフルエンサーを招致し、それぞれのSNSで魅力を発信していただきます。

＜時期＞ 随時

◇ 阪急阪神グループタイアップキャンペーン [詳細 119 頁](#)

◇ 都市圏などでのプロモーション活動における情報発信 [詳細 120 頁](#)

都市圏やターゲットとする地域において実施する複合プロモーション活動の一環として、地域のテレビ局や主要新聞社などを訪問し、ニュースや記事等で旬の情報を発信します。

◇ 各種イベント・事業での情報発信

○世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサートにおける情報発信 [詳細 43 頁](#)

○その他の事業

「参詣道環境保全トレッキング」、「ほんまもん体験」などの事業を展開するなかで、雑誌、フリーペーパーなどを活用し、本県の魅力を発信します。

◇ 広告展開

コンベンション、スポーツ合宿などのターゲットに確実に訴求できる専門誌への広告掲載や各種キャンペーン、旬の情報等の雑誌、新聞広告を実施します。

◇ 旬の情報発信

レジャー関連記者やメディアに対し、写真共有サイト「Flickr（フリッカー）」を活用した観光情報を随時メールで発信します。

◇ わかやま紀州館の取組 [詳細 130 頁](#)

わかやま紀州館が東京都心に位置することを活かし、情報発信効果の高い首都圏の各種メディアに積極的にアプローチすることにより情報発信を促進します。

2021 実績

◇ 企画提案活動

本県の露出拡大を目的に、メディアや企業等へのセールスを実施

＜時期＞ 10月

＜訪問先＞ 東京・名古屋・大阪のメディア等

(株)ゲイン、スターツ出版(株)、(株)宝島社、ラファレーシング(株)、
パシフィックコンサルタンツ(株) 等

＜内容＞ パンダ関係を中心に県内の最新情報を紹介

○テレビ、ラジオ（一部再掲）

名称	テーマ	放送日
テレビ和歌山 「県民チャンネル」	わかやまリフレッシュプラン 2nd 実施中、期間延長	6月25日
和歌山放送 「県庁だより」	わかやまリフレッシュプラン 2nd 実施中、期間延長	6月27日他
FMはしもと	わかやまリフレッシュプラン 3rd 絶賛販売中	10月20日

NHK-BS4K「巨樹百景」	南方熊楠ゆかりの大樹を訪ねる	4年3月30日
----------------	----------------	---------

○新聞、フリーペーパー、雑誌等

名称	掲載テーマ	発行日等
サンケイ広告(株)奈良支社 「Prime Time」	旅先を自転車で愉しむ	4月28日
ニュース和歌山(株) 「ニュース和歌山 PLUS」	わかやまりフレッシュプラン 2nd 実施中、期間延長	6月25日
ニュース和歌山(株) 「ニュース和歌山小学生新聞」	わかやまりフレッシュプラン 2nd 利用促進	7月1日
リビング和歌山	わかやまりフレッシュプラン 2nd 販売開始	7月3日
エー・アール・ティ(株) 「九州王国8月号」	南方熊楠、ゆかりの地	7月15日
中日新聞社 「中日新聞」	旅いくガイド 熊野古道	7月18日
ニュース和歌山(株) 「ニュース和歌山」	わかやまりフレッシュプラン 2nd 利用促進	7月24日
(株)KADOKAWA 「東海ウォーカー」	「水の国、わかやま。」に関わる スポットと体験	8月20日
(株)コスミック出版 「わんことトキメキ旅行'22」	愛犬を同伴できるニューオープン 施設	9月2日
ピークス(株) 「BiCYCLE CLUB 11月号」	女子3人旅	9月20日
ピークス(株) 「ランドネ10月号」	女子3人旅	9月23日
ピークス(株) 「フィールドライフ」	女子3人旅	9月30日
(株)宝島社 「ゆるっとわたしの癒し旅」	和歌山・高野山	10月19日
ニュース和歌山(株) 「ニュース和歌山小学生新聞」	わかやまりフレッシュプラン 3rd 絶賛販売中	10月20日
リビング和歌山	わかやまりフレッシュプラン 3rd 絶賛販売中	10月23日
ニュース和歌山(株) 「ニュース和歌山 PLUS」	わかやまりフレッシュプラン 3rd 絶賛販売中	10月29日
サンケイ広告(株)奈良支社 「Prime Time」	黄金色のイチョウが出迎える自然 美	10月31日

ココラデ	わかやまりフレッシュプラン 3rd 絶賛販売中	11月1日
熊野新聞	わかやまりフレッシュプラン 3rd 絶賛販売中	11月1日
LISM	わかやまりフレッシュプラン 3rd 絶賛販売中	11月1日
辰巳出版(株) 「自転車日和」	サイクルトレインで和歌山をサイ クリング	11月5日
エー・アール・ティ(株) 「九州王国12月号」	高野山の精進料理	11月15日
(株)流行発信 Cheek 12月号	絶景と美食(生石高原)	11月23日
産経新聞タブロイド版	熊野古道が導く聖地	11月27日
スターツ出版(株) 「OZ TRIP」	和歌山温泉お散歩ガイド	12月14日
(株)扶桑社 「天然生活2月号」	自然とともに生きる暮らし	12月20日
産経新聞大阪本社版	「蘇りの地、宿泊得々キャンペー ン」告知	12月22日
毎日新聞大阪本社版	「蘇りの地、宿泊得々キャンペー ン」告知	12月22日
朝日新聞大阪セット版	「蘇りの地、宿泊得々キャンペー ン」告知	12月24日
読売新聞大阪本社版	「蘇りの地、宿泊得々キャンペー ン」告知	12月26日
(株)KK ベストセラーズ「一個人」	祈りとミシュラン美食の和歌山旅	12月28日
(株)八重洲出版 「Cycle Sports 3月号」	京奈和自転車道実走大調査	4年1月20日
中日新聞社 「中日新聞」	伊勢志摩・南紀特集	4年2月21日
CCCメディアハウス Newsweek 日本版	紡がれる仏教の教えを高野山の 「阿字観」で体験	4年3月8日
(株)ネオパブリシティ One Million	非日常を五感で感じる 高野山の旅	4年3月25日
(株)流行発信 「おでかけドライブ 2022-2023」	人気ドライブエリア特集	4年3月31日

OWEB等

名 称	掲載テーマ	発行日等
(株)trippiece 「RETRIP」	和歌山の大自然を堪能するオープンエアな旅	6月1日
「Bunny Tokyo」 Instagram	高野山、熊野	7月7日
(株)文芸春秋 「CREA WEB」	【和歌山県】夏の絶景・風物詩5選	7月10日
(株)KADOKAWA 「ウォーカープラス」	「水の国、わかやま。」に関わるスポットと体験	8月20日
YouTube「とったび」	「水の国、わかやま。」に関わるスポットと体験	8月20日
(株)ytvメディアデザイン 「anna」	滝・温泉・グルメ パワーチャージする夏旅【3選】	8月27日
ピークス(株) 「BiCYCLE CLUB」	JRきのくに線サイクルトレイン実証実験	9月1日
(株)八重洲出版 「Cycle Sports」	JRきのくに線サイクルトレイン実証実験	9月1日
(株)trippiece 「RETRIP」	フォトジェニックな旅 高野山の穴場スポット	9月1日
(株)自転車創業 「FRAME」	JRきのくに線サイクルトレイン実証実験	9月2日
(株)自転車創業 「FRAME」	自転車で行く南紀白浜めぐり	9月24日
(株)スペースキー CAMP HACK	「水の国、わかやま。」でテントサウナ	10月4日
(株)文芸春秋 「CREA WEB」	【和歌山県】秋の絶景・風物詩5選	10月11日
「Tokyo Explores」 「Japan Gem」 Instagram、「Ellie Fox」 YouTube	高野山、熊野	10月26日
「Japan Travel」 WEBサイト	お寺ステイ×アウトドア	10月27日
ロカルわかやま	わかやまりフレッシュプラン3rd 絶賛販売中	11月1日
(株)ゲイン 「日刊 KELLY」	パンダの親子が屋外運動場デビュー	11月8日
ピークス(株) 「BiCYCLE CLUB」	JRきのくに線サイクルトレイン 通年実施	11月25日

(株)八重洲出版 「Cycle Sports」	JRきのくに線サイクルトレイン 通年実施	11月30日
(株)trippiece 「RETRIP」	南紀白浜温泉を満喫する1泊2日 の旅	12月1日
(株)自転車創業 「FRAME」	JRきのくに線サイクルトレイン 通年実施	12月3日
(株)文芸春秋 「CREA WEB」	【和歌山県】冬の絶景・風物詩5 選	4年1月5日
「Sugoi Japan」WEBサイト、 Instagram、「TV5MONDE」	高野山、熊野	4年1月28日
(株)扶桑社 「天然生活4月号」	サイクリング動画公開情報	4年2月20日
「Journal-ONE」WEBサイト	高野山	4年3月9日
(株)trippiece 「RETRIP」	庭園三昧でプチデトックス。1泊 2日プラン	4年3月1日
(株)y t vメディアデザイン 「anna」	名刹の桜がもてなす 春のオスス メぶらり旅【3選】	4年3月4日
(株)文芸春秋 「CREA WEB」	【和歌山県】春の絶景・風物詩6 選	4年3月19日
CCCメディアハウス WEB大人の名古屋	静寂の高野山、歴史がいざなう旅	3月22日
フランスの地上波放送局 「TF1」	高野山、熊野	4年4月予定

◇フィルムコミッション

○ロケ受入れ担当者研修会

(新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止)

○ジャパンフィルムコミッション近畿ロケ地フェア 2021 への出展

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴い開催中止)

○ジャパンフィルムコミッション全国ロケ地フェア 2022 への出展

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴い参加見送り)

○ロケ実施支援

ロケ実施支援 16件

種 別	放送局・番組等タイトル	ロケ等時期 公開時期
映画	「あつい胸さわぎ」	7月30～8月12日 4年12月(予定)
〃	「無音のレテ」	8月4～20日 5年1月(予定)

〃	「耳をすませば」	10月4・5日 4年10月（予定）
〃	「湯道」	11月12日・12月26日 公開日未定
テレビ	朝日放送（ABC）「朝だ！生です旅サラダ 世界遺産 熊野古道をゆく」	4月20・21日 5月1日
〃	朝日放送（ABC）「夏の全国高校野球ショートドラマ『海と空と蓮と』」（全11話）	6月5～8日 8月19～9月19日
〃	TBS「バナナマンのせっかくグルメ！」	6月17～19日 7月4日
〃	NHK朝ドラ「カムカムエブリバディ～大阪編～」	9月6～8日 12月23日～
〃	日本テレビ「遠くへ行きたい」	11月12～14日 12月19日
〃	NHK大阪「ほっと関西サタデー」	4年3月19日（リモート出演） 4年3月19日（リモート出演）
CM等	SONY Mobile XPERIA CM動画	4月11～18日 5月21日～
〃	L'Arc-en-Ciel・HYDE・新曲『NOSTALGIC』	5月29・30日 7月24日～
〃	「ロケンローケイリン-和歌山編-」	7月14・15日 4年2月（予定）
〃	伊原六花さん 写真集「R22」	10月11～15日 4年3月22日～
〃	インターネット配信型番組「コロッケの旅うた」	12月2～4日 12月11～26日
〃	葉加瀬太郎さん 東京東海証券CM	4年2月24～26日 公開日未定

○ロケ誘致活動

京阪神制作会社

<時期> 4年1月27日

<訪問社数> 4社



◇企業のCSR活動による広報展開 [詳細 107 頁](#)

◇和歌山県×阪急阪神グループ「今が旬わかやまキャンペーン」 [詳細 119 頁](#)

◇大都市圏などでのプロモーションにおける情報発信 [詳細 121 頁](#)

◇各種イベント・事業での情報発信

○世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサートにおける情報発信 [詳細 45 頁](#)

○10万人の参詣道環境保全活動 [詳細 49 頁](#)

○熊野古道見どころ100選 [詳細 44 頁](#)

○サイクリング王国わかやま	詳細 18 頁
○水の国、わかやま。	詳細 26 頁
○わかやま歴史物語	詳細 35 頁
○日本遺産「鯨とともに生きる」	詳細 56 頁
○日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」	詳細 58 頁
○日本遺産「『葛城修験』一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」	詳細 61 頁
○リムジンバス・アクセスバス	詳細 147 頁
○和みわかやまキャンペーン	詳細 118 頁
○旬の情報ほか	詳細 80 頁
◇わかやま紀州館	詳細 131 頁

② 県観光情報誌やWEBサイト、SNSによる情報発信

◇ 県観光情報誌「紀州浪漫」による情報発信

県観光情報誌「紀州浪漫」は発刊から20年が経過し、本県を代表する観光情報誌として定着しています。

引き続き、旬の観光情報とマーケットニーズに即応する誌面を制作し、主要書店を始め全国に情報発信します。

<時期等> 年4回（6、9、12、3月）発行
各号6、5万部

<配布> 全国のメディア、和歌山ファンクラブ、全国主要都市の主要書店
約110店舗 など

◇ WEBサイトによる情報発信

○ 県公式観光サイト「わかやま観光」からの情報発信

「水の国、わかやま。」、「サイクリング王国わかやま」、「わかやま歴史物語」、「高野山」「熊野古道」「グルメ」等、常時アクセス頻度の高いコンテンツバナーをトップページに配置し、和歌山の旅の魅力を発信します。

・ 総合情報パンフレットのデジタル化 **=New=**

総合情報パンフレットのデジタル化を行い、和歌山県の魅力を総合的に発信し、本県への誘客、周遊を促進します。

・ 写真ダウンロードページ「フォトライブラリー」の運営

法人・旅行会社の皆さまに使用していただけるよう、四季の風景や旬の料理など魅力的な写真データを集めたダウンロードページを運営します。

<掲載数> 1,252枚（随時更新）

・ 各事業に係る情報発信

「和みわかやまっぷ」や「ほんまもん体験」などの事業について、専用ページ内で参画事業者を紹介し、各事業の周知や利用促進を図ります。

・ 旬の観光情報発信

旬のイベントやおすすめ情報、四季折々の見どころや楽しさを時期に応じて紹介します。

・ イベント情報、観光スポット情報の検索

エリア、カテゴリ、タグ、キーワードなど、利用者の目的に合った検索が可能
なわかりやすい検索システムを提供します。

・利用者ごとの情報発信

観光事業・教育旅行関係者向けのページにより、教育旅行やコンベンションな
どの情報を発信します。

○県観光情報サイト「わかやま紀州館」からの情報発信

わかやま紀州館サイトの観光・物産・イベント・講座などの各種情報を随時更新
し、首都圏向け情報発信の強化を図ります。

◇SNSを活用した情報発信

○Twitter・LINEの連動による和歌山観光情報の多角発信

県・県観光連盟主催のキャンペーンやイベント情報のみならず、県産品の魅力な
どについて、各地域から情報を集約して発信します。

- ・わかやま紀州館 Twitter (@soon_wakayama) 平成22年10月開設
- ・わかぱん Twitter (@wakayamakanko) 平成23年8月開設
- ・わかやま紀州館 LINE (@wakayamakisyukan) 平成24年12月開設

○Facebookを活用した情報発信

個人旅行者の旅行意欲やサイクリストの来県を喚起するため、日本・和歌山の四
季の魅力、観光地やイベントなどの情報を随時発信します。

- ・WAKAYAMA 800サイクリング王国わかやま Facebook ページ 平成30年1月開設
- ・水の国、わかやま。Facebook ページ 平成30年9月開設
- ・鯨とともに生きる Facebook ページ 平成31年1月開設
- ・世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」～高野山、熊野、熊野古道～Facebook ページ
元年6月開設
- ・葛城修験一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地 Facebook ページ
3年1月開設
- ・和歌山県観光連盟 Facebook ページ 3年3月開設

○Instagramを活用した情報発信

観光客誘客を目的に近年、急速にユーザー数を増やしている写真・動画共有ソフ
ト「Instagram」を用い、県内各地の観光資源を世界に発信します。

- ・観光連盟 Instagram (nagomi_wakayama_tourism) 平成27年5月開設
- ・Instagramを活用した投稿キャンペーンの実施

<時期> 随時

<内容> 和歌山県オフィシャル「@nagomi_wakayama_tourism」をフォローし、
「#グッドトリップ和歌山」「#(撮影スポット名等)」を付けて投
稿いただいた中から入選作品を選定し、「わかやま観光」サイト内
の専用ページで紹介するとともに、同「フォトライブラリー」でも
掲載・活用します。

○YouTubeを活用した情報発信

観光情報誌「紀州浪漫」発行に合わせてYouTubeによる動画配信を行います。
また、サイクリング関連動画等も配信します。

○世界最大級の動画メディアを活用したSNS情報発信の強化 **=New=**
多数のフォロワーを有し、強い発信力を持つ動画メディアを活用し、和歌山を旅する魅力を発信します。

2021 実績

◇県観光情報誌「紀州浪漫」特集面

○夏号（6月）「自然と遊ぶスポーツ旅」

密を避け、自然の中でウォーターアクティビティの楽しみ方を紹介

○秋号（9月）「心浄める聖地の旅」

高野山とその麓エリアの魅力を紹介

○冬号（12月）「五感で愉しむわかやま冬旅」

温泉の魅力とサイクルトレインを利用したサイクリング旅を紹介

○春号（3月）「わかやま庭園回遊」

春に巡りたい和歌山の名園を紹介

◇WEBサイトによる情報発信（県公式観光サイト「わかやま観光」）

○県公式観光サイト「わかやま観光」の仕様や掲載内容などを見直し、より見やすく、親しみやすく、情報を見つけやすいWEBサイトを目指し改善を実施

○写真ダウンロードページ「フォトライブラリー」の運営

<時 期> 平成29年1月10日～

<内 容> 観光連盟が著作権等を有する写真データを、インターネットを通じて観光事業・教育旅行関係者向けに和歌山の紹介・PRにダウンロードしていただけるシステムを運用

○旬のおすすめ情報発信

旬のイベントやおすすめ情報、四季折々の見どころや楽しさを時期に応じてWEBサイト上で紹介し、同時に「関西をもっと楽しむライフスタイルマガジンanna」（y t vメディアデザイン運営）でも同内容を公開した。

6月「自然を満喫する大人旅 グランピングで贅沢な休日（3選）」

9月「眺望抜群で気分爽快！ 展望台へ行こう（5選）」

11月「秋景色に癒される 山間の露天風呂へ（5選）」

1月「ほっこり体の芯から温まる ご当地鍋&癒やしの湯（5選）」

3月「名刹の桜がもてなす 春のオススメぶらり旅（3選）」

◇SNSを活用した情報発信

○Twitter・LINEの連動による和歌山観光情報の多角発信

・わかぱん Twitter (@wakayamakanko)

<実 績> フォロワー 9,178人 ツイート 2,832件

・わかやま紀州館 Twitter (@soon_wakayama)

<実 績> フォロワー 8,525人 ツイート 17,120件

・わかやま紀州館 LINE (@wakayamakisyukan)

<実 績> 友だち数 6,141人

○Facebookを活用した情報発信

・水の国、わかやま。

- <実績> 発信回数 77回 (うち今年度15回)
 - フォロワー数 8,312人
- ・WAKAYAMA800 サイクリング王国わかやま (4年3月25日現在)
 - <実績> 発信回数 215回 (うち今年度23回)
 - フォロワー数 7,468人
- ・世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」～高野山、熊野、熊野古道～
 - <実績> 発信回数 126回 (うち今年度28回)
 - フォロワー数 14,526人
- ・鯨とともに生きる
 - <実績> 発信回数 58回 (うち今年度7回)
 - フォロワー数 1,400人
- ・「葛城修験」一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地
 - <実績> 発信回数 42回 (うち今年度11回)
 - フォロワー数 479人
- ・和歌山県観光連盟
 - <実績> 発信回数 156回 (うち今年度143回)
 - フォロワー数 3,873人

○Instagram を活用した情報発信

- ・和みわかやま (nagomi_wakayama_tourism)
 - <実績> 投稿数 463回 (うち今年度155回)
 - フォロワー数 14,641人
 - <内容> 和歌山の絶景、温泉、食、体験アクティビティや旬の観光情報を写真とテキストで紹介。ストーリーズでは、イベントやキャンペーンの告知、他事業でのメディア成果物などを紹介。これらに加え、「まとめ機能」を活用した投稿の特集を作成し、ターゲットやニーズを考慮した情報発信を実現。

<ストーリーズ掲載内容>

掲 載 内 容	掲 載 日
ウェブサイト特集ページ「和歌山の庭園」新設	4月6日
ウェブサイト特集ページ「週末は聖地へ」更新	4月14日
ウェブサイト特集ページ「日本遺産 葛城修験」新設	4月14日
グッドトリップ和歌山投稿キャンペーン (開始) × 3 投稿	4月16日
グッドトリップ和歌山投稿キャンペーン (活用方法)	4月21日
2021 年度和歌山ファンクラブ入会案内	4月22日
グッドトリップ和歌山投稿キャンペーン (4月分商品紹介)	5月31日
YouTube わかやま観光 紀州浪漫 2021 夏「和歌山でSUP体験」動画	6月1日

フィルムコミッション「XperiaⅢ」成果物	6月7日
ウェブサイト特集ページ「旬のおすすめ情報」自然を満喫する大人旅グランピングで贅沢な休日【3選】掲載	6月18日
グッドトリップ和歌山投稿キャンペーン（5月分商品紹介）×3投稿	6月23日
わかやまりフレッシュプラン2nd（実施中）×2投稿	6月23日
グッドトリップ和歌山投稿キャンペーン（5月分商品紹介）×2投稿	6月24日
わかやまりフレッシュプラン2nd（延長）	6月29日
わかやまりフレッシュプラン2nd（延長再周知）	6月30日
わかやま・まるごとスタンプラリー「南紀熊野ジオパーク」×2投稿	7月1日
ウェブサイト特集ページ「旬のおすすめ情報」滝・温泉・グルメパワーチャージする夏旅【3選】掲載	7月1日
WAKAYAMA800モバイルスタンプラリー4thシーズン×2投稿	7月5日
RIDE ON WAKAYAMA ポイントランキング×2投稿	7月6日
「Bunny Tokyo」成果物	7月6日
Instagram「和み わかやま」フォロワー数12,000人突破	7月14日
撮っておき わかのうらフォトコンテスト×2投稿	7月20日
グッドトリップ和歌山投稿キャンペーン（6月分商品紹介）	7月27日
体験予約サイト「ACTIVITY JAPAN わかやま遊び」新設	8月2日
わかやま・まるごとスタンプラリー「和みわかやまっふ with スタンプラリー」×2投稿	8月6日
「Bunny Tokyo」成果物（高野山、熊野）×2投稿	8月17日
和歌山電鐵貴志駅ニタマ駅長への称号授与式	8月17日
「Bunny Tokyo」成果物（わかぱんグッズ）×2投稿	8月20日
和歌山電鐵貴志駅ニタマ駅長への称号授与式（再周知）	8月20日
グッドトリップ和歌山投稿キャンペーン（7月分商品紹介）×2投稿	8月25日
グッドトリップ和歌山投稿キャンペーン（7月分商品紹介）	8月27日

グッドトリップ和歌山投稿キャンペーン（7月分商品紹介）	9月1日
YouTube わかやま観光 紀州浪漫 2021 秋「心浄める聖地の旅～高野山～」動画	9月2日
わかやまりフレッシュプラン 2nd（再延長）	9月3日
ウェブサイト特集ページ「旬のおすすめ情報」眺望抜群で気分爽快！展望台へ行こう【5選】掲載	9月10日
グッドトリップ和歌山投稿キャンペーン（8月分商品紹介）×2投稿	9月16日
高野山・熊野を愛する100人の会「高野山・熊野の魅力講座」動画（荒俣宏さん）	9月29日
高野山・熊野を愛する100人の会「高野山・熊野の魅力講座」動画（山本まりこさん）	9月29日
高野山・熊野を愛する100人の会「高野山・熊野の魅力講座」動画（石田ゆうすけさん）	10月1日
わかやまりフレッシュプラン 3rd（10/8 販売）	10月8日
わかやまりフレッシュプラン 3rd（10/8 完売、次回販売）	10月8日
Instagram「和み わかやま」フォロワー数 13,000 人突破×2投稿	10月13日
わかやまりフレッシュプラン 3rd（10/14 完売、次回販売）	10月14日
宿泊得々キャンペーン 2nd	10月19日
弱虫ペダル×WAKAYAMA 800モバイルスタンプラリータイアップ	10月19日
「Tokyo Explores」成果物（高野山）×2投稿	10月27日
「Tokyo Explores」成果物（高野山、熊野）×2投稿	10月29日
「SAVVY12月号 ウェブ記事」サイクリング掲載	11月1日
ウェブサイト特集ページ「旬のおすすめ情報」秋景色に癒やされる 山間の露天風呂へ【5選】掲載	11月1日
「Tokyo Explores」成果物（熊野）×2投稿	11月1日
「Tokyo Explores」成果物（高野山、熊野）	11月2日
わかやまりフレッシュプラン 3rd（抽選申込）	11月4日
わかやまりフレッシュプラン 3rd（抽選結果）	11月12日
日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」Tシャツアート巡り	11月15日

「Tokyo Explores」成果物（高野山）	11月17日
「環境省 吉野熊野国立公園」ファム成果物	11月17日
フィルムコミッション「溺れるナイフ」ロケ地巡り	11月17日
「環境省 吉野熊野国立公園」ファム成果物	11月18日
「Tokyo Explores」成果物（和歌山の商品プレゼントキャンペーン）	11月24日
「Tokyo Explores」成果物（高野山）×2投稿	11月25日
わかやまリフレッシュプラン3rd（予約利用期間再周知）	12月3日
YouTube わかやま観光 紀州浪漫 2021 冬「1300年の歴史を誇る白浜温泉」動画	12月3日
「RETRIP」やっぱり冬は温泉じゃない？南紀白浜温泉を満喫する1泊2日の旅に出発！掲載	12月3日
“今”だからこそ“近場”で楽しもう！キャンペーン×2投稿	12月3日
グッドトリップ和歌山投稿キャンペーン（10月分商品紹介）×2投稿	12月8日
グッドトリップ和歌山投稿キャンペーン（10月分商品紹介）	12月10日
Instagram「和み わかやま」フォロワー数14,000人突破	12月15日
グッドトリップ和歌山投稿キャンペーン（11月分商品紹介）×2投稿	12月23日
YouTube わかやま観光 WAKAYAMA 800「Route.1 太平洋岸自転車道」動画	12月24日
YouTube わかやま観光 WAKAYAMA 800「Route.2 紀の川サイクリングロード～高野山」動画	12月24日
YouTube わかやま観光 WAKAYAMA 800「Route.3 箕島漁港～千葉県～あらぎ島」動画	12月24日
YouTube わかやま観光 WAKAYAMA 800「Route.4 熊野三山巡り」動画	12月24日
わかやまリフレッシュプランS（エントリー開始）	12月24日
わかやまリフレッシュプランS（エントリー再周知）	4年1月5日
ウェブサイト特集ページ「旬のおすすめ情報」ほっこり体の芯から温まるご当地鍋&癒しの湯【5選】掲載	4年1月5日
わかやまリフレッシュプランS（エントリー再々周知）	4年1月7日

わかやまリフレッシュプランS（開始延期）	4年1月12日
わかやまリフレッシュプランS（開始延期再周知）	4年1月13日
「Sugoi Japan」成果物（高野山）	4年1月19日
「Sugoi Japan」成果物（熊野）	4年1月21日
グッドトリップ和歌山投稿キャンペーン（12月分商品紹介）×2投稿	4年1月21日
2022年度和歌山ファンクラブ入会案内×2投稿	4年3月1日
首都圏の旅行会社向けファミツアー成果物（白浜）×7投稿	4年3月14日
高野山・熊野を愛する100人の会「田辺のたのしみ」本出版（甲斐みのりさん）	4年3月15日
いかりの鐘設置@萬波×2投稿	4年3月16日
首都圏の旅行会社向けファミツアー成果物（白浜、田辺）×13投稿	4年3月18日
首都圏の旅行会社向けファミツアー成果物（本宮、太地、串本、すさみ、白浜、田辺）×19投稿	4年3月22日
わかやまリフレッシュプランS（2回目エントリー開始、再開）	4年3月24日
「和み、わかやま」PR動画×2投稿	4年3月25日
「RETRIP」庭園巡りでプチデトックス！和歌山の美景庭園とグルメ満喫、春の1泊2日旅プラン掲載	4年3月29日
YouTube わかやま観光 紀州浪漫 2022 春「わかやま庭園回遊」動画	4年3月29日
ウェブサイト特集ページ「旬のおすすめ情報」名刹の桜がもてなす 春のオススメぶらり旅【3選】掲載	4年3月29日
高野山・熊野を愛する100人の会「Studio暮らし 熊野古道」動画（山本まりこさん）	4年3月29日
「わかやま・まるごとスタンプラリー」第2弾開始	4年3月30日
「YAMAP」×「葛城修験日本遺産活用推進協議会」デジタルスタンプラリー開始	4年3月30日
「葛城修験」PR動画	4年3月30日

<まとめ機能> モデルプラン@本宮/太地/串本/すさみ/白浜/田辺
首都圏の旅行会社向けに実施されたファミツアーの模様を投稿し、特集を作成のうえ、県公式観光サイト「わかやま観光」へ掲載

投稿数 12回（今年度投稿の内数でまとめた投稿数）

○Instagram 投稿キャンペーン

- ・「WAKAYAMA 800モバイルスタンプラリー」 [詳細 16 頁](#)
- ・「撮っておき わかのうら 2021フォトコンテスト」 [詳細 59 頁](#)
- ・「和みわかやまっぷ with スタンプラリー」 [詳細 118 頁](#)
- ・「#グッドトリップ和歌山」

<時 期> 4月1日～4年3月20日

<投稿数> 47,000件

- <内 容>
- ・和歌山県内を訪れて写真を撮影
 - ・県公式アカウント「@nagomi_wakayama_tourism」をフォロー
 - ・ハッシュタグ「#グッドトリップ和歌山」「#（撮影スポット名等）」を付けて投稿
 - ・毎月入選10作品を選びWEBサイトで紹介
 - ・フォトライブラリーへ掲載

○YouTube「わかやま観光」での動画公開等

紀州浪漫発行と同時期に4本の動画を公開

6月「和歌山でSUP体験」

9月「心浄める聖地の旅～高野山～」

12月「1300年の歴史を誇る白浜温泉」

3月「わかやま庭園回遊～根来寺～」

これに合わせて、国内最大級の旅メディア「RETRIP」で同様の特集記事を公開し、同メディアのInstagram投稿により同ページへ、また、YouTubeチャンネルへの誘導を促進

その他、観光PR動画やサイクリング動画など12本の動画を公開

○和歌山県観光プロモーション動画の制作、配信

和歌山県全域にわたる観光地の魅力を紹介するPR動画「和み、わかやま」を制作。YouTube「わかやま観光」で公開するとともに、広告配信を実施。

- <制作動画>
- 「和み、わかやま ～Wakayama Japan～」Long版（19分）
 - 「和み、わかやま ～Wakayama Japan～」Short版（5分44秒）
 - * その他、広告配信用のショート版（15秒～30秒）を計18本制作

- <広告配信>
- Facebook ターゲティング広告配信
 - CATV チャンネル「HISTORIY」での広告配信
 - ・19分のLong版を編成放送 計3回
 - ・番組のプロモーション広告
 - 歴史リージャパン公式 Facebook および YouTube での公開
 - ・Facebook フィードへの投稿
 - ・YouTube への動画投稿

(2) 『ターゲットごとのプロモーション』で和歌山へ招く

日本の旅をリードしているのは女性です。旅の決定権を握り、口コミ、SNSでの情報発信力も高く、雑誌などのメディアの露出量も圧倒的に多くなっています。本県には、「スピリチュアル」「聖地」「癒し」など、女性が好む要素を多く持つ世界遺産や温泉、絶景などの観光地が多数存在することから、「女性層」をメインターゲットとした誘客により、和歌山のイメージアップと情報の拡散を促進します。

また、働き方改革や社会貢献活動に取り組む企業と連携し、和歌山ならではの「サステイナブルツーリズム」を活用した企業研修やCSR活動を推進することにより、企業のブランド力やパブリシティを活用した誘客を促進します。

さらに、「宇宙」を切り口とした新たな層の誘客や、ワーケーション推進による本県での中長期的な滞在を促進するとともに、年金旅行、コンベンション、教育旅行、スポーツ合宿など具体的なターゲットに対し誘致活動を実施します。

I 「宇宙」を切り口とした新たな層の開拓 **=New=**

日本初の民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」が串本町に完成、本年冬にはロケット初号機の打上げが予定されています。これを契機に地域に溶け込んだ新たな観光コンテンツを創出するとともに、ロケット関連イベントを開催するなど、新たな層の誘客や県内周遊を促進します。

◇ロケット打上げ応援イベント等の実施【主管：産業技術政策課】

○事前予約制・有料のプレミア公式見学場（射点から2,000メートル弱）及びそこまでの輸送手段を整備し、渋滞のない誘客を図る。

- ・田原海水浴場（串本町）、旧浦神小学校（那智勝浦町）の2か所
- ・合計最大5,000人収容
- ・打上りフトオフ時を中継するパブリックビューイング設備を整備
- ・駐車場は設けず、来訪者は、宿泊施設等からのシャトルバス等で輸送

○事前予約制のロケット打上げ応援ツアーを企画

- ・可能な限り、串本町、那智勝浦町をはじめとする県内への宿泊とセットにし、地元観光資源を組み合わせた旅行商品を造成。
- ・打上げ応援イベントの委託先である(株)JTBをはじめ、地元の旅行会社等とも連携してチケットを販売
- ・熊野古道や温泉など近隣の観光資源と組み合わせ、観光消費を促進
- ・往来のタイミングが分散化されることで、交通渋滞の緩和に寄与

○宇宙教育の充実化や宇宙関連産業の集積へ向けた機運を醸成、宇宙科学への興味誘発や理解深化

- ・『全国初』公立高等学校に宇宙専門のコースを新設

令和6年度に串本古座高等学校の普通科内に「宇宙探究コース」を新設予定

◇「WEST EXPRESS 銀河」の運行 [詳細 126 頁](#)

2021 実績

◇ロケット打ち上げ応援イベント等の実施【主管：産業技術政策課】

○宇宙シンポジウム in 串本第3弾（7月開催）

・衛星産業やロケット産業などの宇宙関連産業の集積に向けた機運を醸成するとともに、宇宙科学への興味誘発や理解深化

・約200人が参加 ※YouTubeで生配信も実施

東京大学大学院教授 中須賀 真一 氏

スペースワン(株)最高顧問 遠藤 守 氏

宇宙飛行士 山崎 直子 氏

JAXA はやぶさ2 プロジェクトマネージャー 津田 雄一 氏

三菱電機(株)主席技監 小山 浩 氏

○宇宙教育に関する取組

・和歌山県宇宙教育研究会の設立（9月）

県内19人の小中高教職員で構成

◇「WEST EXPRESS 銀河」の運行 [詳細 127 頁](#)

II 若い女性層をターゲットの中心とした誘客戦略

女性誌を中心に多くのメディアにおいて「和歌山の魅力」を発信することで、若い女性層はもちろんのこと、その家族や友達といった幅広い観光客層にまで拡大した誘客促進を行います。

◇メディア展開

東京、名古屋、大阪、福岡など大都市圏の女性層に高い支持のある雑誌を中心にメディアを活用した魅力発信を実施します。

◇女性集客企画への参画

女性への発信力が高いメディア等の企画に積極的に参画し、魅力的でかつ効果的なPRを展開します。

2021 実績

◇メディア展開（女性向け）

○雑誌、新聞、フリーペーパー等

名 称	掲載テーマ	発行日等
(株)文芸春秋 「CREA WEB」	【和歌山県】夏の絶景・風物詩5選	7月10日
(株)y t vメディアデザイン 「anna」	滝・温泉・グルメ パワーチャージする夏旅【3選】	8月27日
ピークス(株) 「ランドネ10月号」	女子3人旅	9月23日
(株)文芸春秋 「CREA WEB」	【和歌山県】秋の絶景・風物詩5選	10月11日

(株)宝島社 「ゆるっとわたしの癒し旅」	和歌山・高野山	10月19日
(株)京阪神エルマガジン社 「SAVVY」12月号	和歌山でお気軽サイクリング	10月22日
(株)京阪神エルマガジン社 「L. maga. jp」	和歌山でお気軽サイクリング	10月22日
(株)流行発信 Cheek 12月号	絶景と美食（生石高原）	11月23日
(株)京阪神エルマガジン社 「SAVVY 温泉とおやつ」MOOK 本	和歌山でお気軽サイクリング	11月30日
スターツ出版(株) 「OZ TRIP」	和歌山温泉お散歩ガイド	12月14日
(株)扶桑社 「天然生活2月号」	自然とともに生きる暮らし	12月20日
(株)文芸春秋 「CREA WEB」	【和歌山県】冬の絶景・風物詩5選	4年1月5日
バイシクルクラブWEBサイト	名刹の桜がもてなす 春のオススメぶらり旅【3選】	4年3月4日
(株)文芸春秋 「CREA WEB」	【和歌山県】春の絶景・風物詩6選	4年3月19日

◇女性集客企画への参画

○Cityliving Party 2021 in NAGOYA（新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）

Ⅲ ワークেশョンの推進を通じた誘客

新型コロナウイルス感染症の流行以降、テレワークの定着が進み、ワークেশョンの機運が高まったことを踏まえ、「ワークেশョン＝わかやま」の定着を一気に加速させるための施策を展開します。

※ワークেশョンとは

リゾート地等の環境の良い場所で、休暇や研修などを兼ねて短中期的に滞在し仕事を行う取組で、休暇の取得促進だけでなく、地域主体との協働や地域の資源を活用したイノベーションの創出や新しい生き方の発見等に繋がる働き方。

◇受入環境整備促進【主管：情報政策課】

県内でワークেশョン向けのサービスを提供する事業者「Wakayama Workation Networks（和歌山ワークেশョンネットワークス）」を拡充し、受け入れ体制を拡大し、充実します。

◇企業研修プログラムによる誘客 =New=

昨年、富士通(株)とワークেশョンに関する協定を締結し、企業研修として活用できるワークেশョンプログラムの開発を行いました。今年はこのプログラムを活用した企業の研修誘致に向けた取組を展開します。

◇利用促進

ワーケーションの利用促進に向け、首都圏及び都市圏において、ビジネスパーソンやフリーランスなど、ターゲット層を考慮したメディアによるプロモーションや、CSR活動に取り組む企業への営業活動を展開します。

◇情報発信【主管：情報政策課】

和歌山のワーケーションに関する情報をホームページ上で一元的に情報発信するとともに積極的にコンテンツを追加し、都市圏の企業を主なターゲットとして訴求効果を高めます。

2021 実績

◇Wakayama Workation Networks 登録 【主管：情報政策課】

＜時期＞ 2年6月～

＜内容＞ ・ワーケーション実施者の受入に協力的な県内の民間事業者を募り、「Wakayama Workation Networks」として登録、県のワーケーションホームページで一元的に情報発信するなどPRを実施
・「コーディネート事業者」「宿泊施設」「ワークプレイス」「アクティビティ」の4つのカテゴリで事業者の登録を随時募集

＜登録事業者＞ 97事業者140サービス（4年2月末現在）

◇和歌山ワーケーションファミツアーの開催 【主管：情報政策課】

＜時期＞ 11月12～15日

＜場所＞ 白浜町・田辺市

＜内容＞ 和歌山県でワーケーションを行うことにより得られるメリットに関して検証する”効果検証型ファミツアー”を開催。またツアー中にプログラムの模様や結果等を参加者にSNS等で発信していただくことにより、和歌山ワーケーションの魅力を全国に発信

＜参加者＞ 都市部の企業のビジネスパーソンや個人事業主など15人

◇ホワイトペーパーの作成 【主管：情報政策課】

＜内容＞ 和歌山でワーケーションを実施するために必要となる検討事項、準備事項、実施手順、社内規程整備事例、他社導入事例、和歌山県の受入体制など、主に首都圏の企業が制度としてワーケーションを導入し社員に実施させるための具体的な手順書・マニュアル（ホワイトペーパー）を作成し、県のワーケーションホームページに掲載

◇取組状況 【主管：情報政策課】

○本県でのワーケーション実施（4～12月） 40社 約163人（県把握分）

＜内容＞ 地域交流、テレワーク、観光、CSRなどを実施

＜参加＞ 主に首都圏の企業や個人 など

◇和歌山県と富士通(株)とのワーケーション・移住協定

＜時期＞ 10月15日

＜内容＞ 富士通(株)と地方創生や地域課題の解決、地域の産業活性化などを目的に

相互の連携・協力を通じた持続可能な地域社会の構築を目指し包括協定を締結

【連携・協力の対象分野 ※ 観光関連】

1. ワークーション推進による関係人口の創出 ※
2. 多様な知見・スキルを活用した地域課題の解決 ※
3. 遠隔勤務を活用した転職なき移住による地方創生

◇「サステナブルエコツーリズム」プログラムの開発（トライアルの実施）

<時 期> 11月23～25日

<内 容> 富士通㈱との協定締結を受け、ワークーションを活用した企業研修プログラムを共同開発

今回は作成したプログラムの効果測定を富士通㈱の社員が実施

（行 程）1日目 熊野古道ウォーク、サステナブルに関する講座、
テレワーク

2日目 テレワーク、道普請

3日目 里山再生活動、地域課題解決に向けたワークショップ

（参加者）18人（東京、大阪）

◇情報発信

○SNS「和歌山 YouTube チャンネル／ワークーションホームページ」への掲載

<時 期> 4月～

<内 容> ・BS朝日で放映された本県のワークーションをテーマとした番組を、「和 nagomi わかやまワークーション海編」、「和 nagomi わかやまワークーション山編」として和歌山 YouTube チャンネル／ワークーションホームページにて公開

○雑誌「観光とまちづくり」夏号への掲載

<時 期> 7月（発行：（公社）日本観光振興協会）

<内 容> ・「和歌山県におけるワークーションの取組」と題し、本県でのワークーションに関する取組を紹介

○第9回プラチナ大賞において優秀賞を受賞

<時 期> 10月21日発表会／表彰式

<内 容> ・本県でのワークーションに関する取組を紹介し、59団体の中で「優秀賞－ワークーション先達賞－」を受賞

※プラチナ大賞とは

イノベーションによる新産業の創出やアイデアあふれる方策などにより社会や地域の課題を解決し、「プラチナ社会」の姿を体現している、又は、体現しようとしている自治体や企業などの取組を表彰するもの

○ケーブルテレビ（Channel Bay 10ch）「旅 Work～旅するように働くと～」

<時 期> 10月～

<内 容> ・ケーブルテレビ「Channel Bay 10ch」で放映された、本県でのワークーションを紹介した番組をワークーションホームページにて公開

IV CSRによる世界遺産保全活動の推進

◇世界遺産の保全活動をテーマとした誘客

「道」が世界遺産であり、誰でも世界遺産の保全活動に携わることができる本県ならではの特性を活かしたこの活動は、全国から注目を集めており、多くの企業に参加いただいています。また、参加者の満足度も高く、多くの企業がリピーターとして何度も参加いただいています。

今後も、CSR関連メディアや提案活動などにより、さらなる参加の拡大を目指すとともに、企業の広報と連携し、世界遺産のブランド力を高めます。

また、ワーケーションに取り組む企業に、世界遺産の保全活動をメニューの1つとして組み入れていただけるよう働きかけを行うなど、誘致の活動を広げていきます。

○誘致活動

企業・団体への提案活動を展開します。

<時期> 通年

<対象> ワーケーションに積極的に取り組む企業、CSR活動に熱心な企業・団体等

○保全活動体験ツアー

CSR担当者向けの保全活動体験ツアーを実施します。

<時期等> 12月頃 熊野

○情報発信

- ・CSR活動に関心の高い企業等が交流・情報交換を行う場である「毎日メディアカフェ」に参加し、イベントとクロスメディアを組み合わせた情報発信により、企業による保全活動を促進します。
- ・環境やCSRに特化した情報誌等への記事掲載による保全活動の認知度向上を図ります。

2021実績

◇情報発信

○企業のCSR活動による広報展開

名称	掲載テーマ	発行日等
紀伊民報	人の手をつなぐ世界遺産	6月26日
紀州タイムス	熊野古道を道普請 那智勝浦町の観光ホテル社員	7月号
紀伊民報	熊野古道を道普請 浦島観光ホテルの社員	7月3日
紀南新聞	清掃とウォーキングで汗流す 熊野古道中辺路で「道普請」	7月3日
わかやま新報	世界遺産の保全に活用 KDDI が県協議会に寄付	7月14日

紀伊民報	32人が熊野古道の道普請 田辺税務署と納税協会	10月12日
わかやま新報	熊野古道の道普請 日本道路が本宮で	11月23日
紀伊民報	熊野古道の修繕に汗 「KDDI 関西総支社」	12月15日
紀伊民報	熊野古道を歩きやすく 観光ホテル社員が道普請	4年1月23日
観光経済新聞	世界遺産の保全と活用へ 第2回道普請実施 ホテル浦島（和歌山県・那智勝浦温泉）	4年2月7日

○企業のCSRレポート等

KDDI(株)、日本道路(株)

◇企業CSRの環境保全活動実績 一部再掲49頁

(合計：10団体 182人)

活動日	企業・団体名等	活動場所
5月24日	三菱電機(株)冷熱システム製作所	中辺路（式水茶屋）
6月30日	浦島観光ホテル(株)	かけぬけ道
11月6日	(一財) さわかみ財団	中辺路（大日山）
11月13日	JR西日本和歌山支社	中辺路（式水茶屋）
11月13日	南紀白浜エアポート(株)	中辺路（三軒茶屋）
11月25日	日本道路(株)	中辺路（三軒茶屋）
11月25日	富士通(株)	中辺路（三軒茶屋）
12月11日	KDDI(株)	中辺路（三軒茶屋）
4年1月12日	浦島観光ホテル(株)	かけぬけ道
4年3月17日	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」 保全活動ファムツアー	中辺路（式水茶屋）

V 信用金庫等の年金旅行誘致

信用金庫が実施するいわゆる年金旅行等の誘致を促進するため、きのくに信用金庫、新宮信用金庫、信金中央金庫と連携し、全国の信用金庫や旅行会社に積極的に提案活動を行います。（平成28年11月8日「観光・産業振興等に関する連携協定」締結）

◇**プロモーション活動の実施**

全国の信用金庫及び年金旅行を扱う旅行会社に対し具体的な提案を行います。

<時期> 通年

<対象> 日帰り旅行（近畿・東海エリア：バス利用）

1泊2日旅行（近畿・東海・中国・北陸エリア：バス利用）

2泊3日旅行（全国エリア：JR・航空機＋バス利用など）

◇受入地域との連携強化

年金旅行を受け入れる県内市町村や観光事業者等との連携を強化し、地域一体となったおもてなしの充実と誘客を図ります。

2021実績

◇誘致活動

○信用金庫訪問（新型コロナウイルス感染拡大に伴い訪問見送り）

○ファムツアーの実施（新型コロナウイルス感染拡大に伴い見送り）

◇信用金庫との連携

○「さいしんビジネスフェア」（主催：埼玉県信用金庫）

<時期等> 5月10日～6月30日

<内容> 観光PR動画「サイクリング王国わかやま WAKAYAMA 800 女子旅編」をオンライン配信

○「羽田スマートシティ EXPO 2021」

（主催：羽田みらい開発株、協賛：城南信用金庫）

<時期等> 11月5～7日

<内容> ブース出展、わかぱんによる観光PRなど

◇受入対応（地域と連携したおもてなし）（新型コロナウイルス感染拡大に伴い見送り）

VI コンベンション誘致推進

コンベンション（国際・国内規模の各種会議や学会等）やスポーツ大会などの誘致を市町村や関係団体等とともに、交流人口の拡大を図ります。

また、世界遺産を活用したユニークベニュー（特別な会場）を提案することで和歌山での開催をアピールするとともに、ニーズに合わせたサポートを実施します。

◇開催支援

コンベンション開催助成金や、観光パンフレット等のツール提供により、主催者を支援します。

<時期> 随時（申請に基づく）

<内容> 助成金の交付、観光パンフレット等の提供

◇誘致活動

○地方都市コンベンション協議会合同セールスへの参画

首都圏において協議会構成メンバー（6地区）による合同セールスに参加し、本県でのコンベンション開催に向けた営業活動を展開します。

<時期等> 未定（年3回程度） 東京都

○地方都市コンベンション協議会への参画

協議会主催合同セミナー及びイベントPRブースに参加します。

<時期等> 未定（年3回程度） 東京都もしくはオンライン開催

OMICE EXPO 2022 への出展 **=New=**

MICE に特化した展示会に出展し、本県でのコンベンション開催に向けた営業活動を行います。

<時期等> 12月7日～8日 インテックス大阪

○視察の支援

コンベンションを計画している団体、学会関係者を対象に、施設やアフターコンベンション等の視察実施のための支援をします。

<時期> 随時

◇情報発信

○コンベンションガイドブック、専用サイトによる支援制度や施設情報の発信

2021 実績

◇誘致活動

○日経BP(株)

<時期> 8月31日

<内容> オンラインで日経ビジネス等でのタイアップ企画について情報交換

<時期> 9月29日

<内容> オンラインで日経ビジネス等でのタイアップについて打合せ

<時期> 10月18日

<内容> 日経ビジネス11月22日号等へのタイアップ企画オンライン取材

○(株)コンベンションリンケージ

<時期> 10月6日

<内容> 和歌山城ホールオープンについての情報提供および情報交換。

○(株)インターグループ、日本コンベンションサービス(株)、日本旅行大阪法人営業統括部

<時期> 10月15日

<内容> 和歌山城ホールオープンについての情報提供および情報交換

○地方都市コンベンション関連団体合同ワークショップへの出展

<時期等> 12月20日 ホテルグランドアーク半蔵門

<参加者> (公社)高分子学会、(一社)日本航空宇宙学会ほか 計30団体

○全国へき地教育研究連盟

<時期> 12月21日

<内容> 学会主催者への誘致活動

○JCCB 主催「IME2022online」出展

<時期> 2月16日、17日

<内容> 学会関係者、旅行会社等13社とオンライン商談を実施

◇開催支援

○コンベンション開催助成金による支援

・助成金交付件数 4件

・延べ宿泊者数 2,623人 *見込(4年3月10日現在)

開催状況 (人)

開催日	コンベンション名	開催場所	参加者数	延宿泊者数
9月7日 ～9月12日	第11回全国大学女子 硬式野球選手権大会 和歌山大会	田辺スポーツパ ーク・上富田ス ポーツセンター	250	1,534
4年1月6日 ～7日	New year cup in 和歌山	和歌山ビッグホ エール	498	339
4年3月5日	第12回日本成人脊柱 変形学会	ホテルアバロー ム紀の国	167	83
4年3月28日 ～30日	フェニックスカップ in 和歌山	和歌山ビッグホ エール、和歌山 ビッグウェーブ	1,000 (予定)	600 (予定)

◇メディア露出

- 「日経ビジネス11月22日号」「日経ビジネス電子版 Special」
「日経メディカルオンライン」より「日経ビジネス電子版 Special」へ誘導
＜内容＞ 自然と文化の地でリフレッシュ 和歌山での MICE 開催
＜発行＞ 11月19日発行(発行部数約150,000部)
- 「旬刊旅行新聞」
＜内容＞ 和歌山での MICE 開催
＜発行＞ 4年2月1日発行(発行部数 約32,000部)
- 「PRESIDENT 4年4月15日号」
＜内容＞ コンベンションの開催地として「和歌山県」が見逃せない理由
＜発行等＞ 4年3月25日発売(発行部数 約117,000部)

Ⅶ 修学・教育旅行の誘致

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、修学旅行の目的地が遠方から近場へと変更される傾向が顕著です。また、県内学校の多くが、県内を周遊する修学旅行の実施を選択しています。これらの傾向の変化を踏まえターゲットとなるエリアを選定し、重点的に誘致活動を展開します。

また、地域に密着した和歌山ならではの生活文化、地域産業、農林漁業などの体験メニューに、SDGs の理念や、「主体的・対話的で深い学び」の考え方を盛り込み、さらなる修学・教育旅行の誘致を図ります。

<現在紹介している主なプログラム>

- ①世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全活動「道普請」
- ②南紀熊野ジオパーク～大地に触れ、生活への恵みを知る～
- ③自然・生物との共存～サンゴの海を残す保全活動～

- ④災害に備えて何ができるのか（津波と土砂災害）
- ⑤世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」
～一次産業の技術、生物の多様性を学ぶ～
- ⑥作って、食べて、学ぶ「食文化学習」
～豊かな風土と人々に育まれた和歌山の食～
- ⑦マグロから学ぶ「将来を見据えた資源管理」
- ⑧日本遺産「鯨とともに生きる」～多様な文化を理解することの大切さ～
- ⑨和歌山とトルコの友好から国際社会における人間の「心」を学ぶ

◇国内でのセールス活動の実施

- 県外校の誘致活動の展開（和歌山県体験型教育旅行誘致協議会による取組）
修学・教育旅行で来県される皆さまのサポートを目的に設立した誘致団体と県、
県観光連盟で構成する「和歌山県体験型教育旅行誘致協議会」がさらなる誘致活動
を展開します。

＜時 期＞ 首都圏：対高校商戦時期の8月～4年2月
その他：対中学商戦時期の6～7月

＜対 象＞ 首都圏、中京圏、近畿圏、中国圏の旅行会社及び学校

＜内 容＞ 旅行会社や学校を直接訪問するローラー作戦を展開

- 県内校への働きかけ

県内を目的地とした修学・教育旅行が選択肢の一つとして定着し、前年度に引き
続き実施されるよう県内教育関係者に対し働きかけを行います。

◇インバウンド教育旅行の誘致

インバウンドの段階的回復を見据え、学校交流に係る支援のための教育旅行コーデ
ィネーターを引き続き配置し、近隣府県と連携したVJ地方連携事業を実施するなど
体験型観光や農家民泊を取り入れたインバウンド教育旅行の誘致活動を展開します。

- 京都府・大阪府・兵庫県・奈良県と連携したVJ地方連携事業を実施
- 東アジア、オセアニア等での海外プロモーションの実施
- 多言語WEBサイト「Visit Wakayama」による情報発信
- 「ほんまもん体験」を取り入れたファムツアーの実施

◇教育旅行実現に向けた総合的な支援

- 教育旅行プランづくりの支援
教育旅行のテーマ、目標に沿ったプランの作成を支援します。
- 事前学習の支援
学校を訪問し、児童・生徒の事前学習をサポートします。
- 教育旅行現地視察支援の実施
学校関係者及び旅行会社の下見のための現地視察を支援します。

◇和歌山県体験型教育旅行誘致協議会研修会の実施

本県の修学・教育旅行の受入体制の充実を図るため、地域の体験事業者や宿泊施設
などの協議会会員を対象とする研修会を実施します。

2021 実績

◇修学旅行来県校

県外校256校(27,978人)、県内校319校(14,909人)

◇国内でのセールス活動の展開

○県外学校の誘致活動

<時期> 10月6～8日

<訪問先> 愛知県内の旅行会社 9社、岐阜県内の旅行会社 1社
三重県内の旅行会社 9社

<時期> 11月11～12日

<訪問先> 滋賀県内の旅行会社 4社、京都府内の旅行会社 4社

<時期> 11月17～19日

<訪問先> 岡山県内の旅行会社 7社、香川県内の旅行会社 6社
広島県内の旅行会社 4社

<時期> 12月2日

<訪問先> 奈良県内の旅行会社 6社

<時期> 12月22～24日

<訪問先> 滋賀県内の公立中学校 18校、旅行会社 6社

<時期> 4年3月28～29日

<訪問先> 広島県福山市内の公立中学校 33校

○和歌山県教育旅行素材説明会の開催

<時期> 12月22日

<対象> 滋賀県内の旅行会社

○県内学校への働きかけ

<時期> 4月8日～6月3日

<訪問先> 県内全市町村の教育委員会 他

◇教育旅行現地視察支援事業の実施

<支援件数> 26件

<支援団体> 首都圏：東京都立芝商業高等学校

東海圏：愛知県立半田農業高等学校、愛知県立阿久比高等学校
愛知県立一色高等学校、愛知県安城市立安祥中学校
愛知県名古屋市立平田中学校、愛知県名古屋市立白山中学校
愛知県名古屋市立高針台中学校
三重県鳥羽市立鳥羽東中学校、三重県多気町立相可小学校
三重県南伊勢町立南勢中学校

近畿圏：兵庫県尼崎市立琴ノ浦高等学校、兵庫県西宮市立西宮東
高等学校、兵庫県宝塚市立南ひばりガ丘中学校
兵庫県神戸市立桃山台中学校、兵庫県私立雲雀丘学園中学校
奈良県奈良市立飛鳥中学校、奈良県奈良市立朱雀小学校
奈良県奈良市立済美小学校

大阪府私立関西大学第一中学校、大阪府私立関西大倉中学校
大阪府藤井寺市立道明寺中学校
滋賀県立甲西高等学校、滋賀県湖南市立日枝中学校
滋賀県大津市立志賀中学校

四国圏：香川県私立大手前高松高等学校

◇教育旅行事前学習支援の実施

7月 9日 紀の川市立池田小学校 ※「おはなし講座」事後、総合学習の支援
9月13日 愛知県立豊田南高等学校
10月 1日 山梨県立甲府第一高等学校

◇教育旅行ガイドブック「学びの旅」の改訂

◇和歌山県体験型教育旅行誘致協議会による活動

○総会

<時期等> 6月11日（書面開催）
<内 容> 2年度事業実施・収支決算報告
3年度事業計画・予算案審議

◇海外学校とのWEB学校交流

○台湾

4月27日 東海大学付属高級中学（日高高校と学校交流）
5月 8日 新北市私立復興高級商工職業学校（紀北工業高校と学校交流）
4年3月11日 高雄市立路竹高級中学（日高高校と学校交流）
4年3月17日 台北市立南港高級中学（橋本高校と学校交流）

○韓国

7月13日 韓国培正高校（那賀高校と学校交流）
8月25日 釜山センタム女子学校（和歌山信愛高校と学校交流）
10月18日 釜山外国語高校（星林高校と学校交流）

◇海外教育旅行の誘致活動の展開

○ベトナム オンライン商談会

<時 期> 6月16日
<対 象> ベトナム旅行会社
<商談数> 12社

○台湾 教育旅行オンラインセミナー

<時 期> 8月20日
<対 象> 台湾の教育旅行担当教員
<対象校> 41校（123人）

○マレーシア オンライン商談会

<時 期> 10月28日
<対 象> マレーシア旅行会社・学校
<商談数> 旅行会社8社、学校16校

○オーストラリア オンライン商談会

<時 期> 11月10日
<対 象> 旅行会社

<商談数> 7社

○アメリカ オンラインセミナー

<時 期> 12月10日

<対 象> 学校担当教員

<対象校> 31校(32人)

○台湾 オンラインセミナー・商談会

<時 期> 4年1月17～19日

<対 象> 旅行会社、学校

<セミナー>旅行会社13社、学校23校

<商談数> 旅行会社5社、学校5校

○中国 オンラインセミナー・商談会

<時 期> 4年3月10～14日

<対 象> 旅行会社・学校

<セミナー>旅行会社36社、学校1校

<商談数> 旅行会社10社、教育委員会1機関

VIII スポーツ合宿の誘致

本県の温暖な気候と国体を契機に整備された施設を活用して、県教育委員会やキャンプ誘致に積極的な市町村等と連携したより効果的なプロモーションを展開することにより、各種団体のスポーツ合宿を誘致します。

併せて、「スポーツ王国わかやま合宿ガイド」のパンフレットを活用し、スポーツ振興に取り組んでいる和歌山のPRに繋がります。

◇プロスポーツキャンプの誘致

キャンプ地としての知名度アップやブランド化を目指します。

<内 容> 激励品(特産品等)の提供
スポーツ施設、宿泊施設等の調整

<対 象> プロスポーツチーム

◇ターゲットを絞ったプロモーションの実施

<内 容> 競技力の高い社会人・大学のスポーツチームの合宿を取り扱う旅行会社へセールスし、キャンプ地としての知名度アップと誘致を図り、県内宿泊施設等の利用を促進

<対 象> 旅行会社

◇スポーツ博覧会への出展

・スポーツ博覧会 in 関西 2023

<時 期> 5年2月(予定)

<場 所> インテックス大阪 6号館

2021実績

◇改訂したスポーツ合宿ガイドを活用したセールス活動

○旅行会社訪問

<時期> 10月5日

<訪問先> 京都府内旅行会社 4社

◇キャンプ・合宿誘致

○ホンジュラス男子サッカー (U-24) ナショナルチーム

<時期等> 7月13日～18日 参加約30人
上富田スポーツセンター

○ドイツ男子サッカー (U-24) ナショナルチーム

<時期等> 7月14日～18日 参加約40人
紀三井寺公園陸上競技場

○NTTドコモレッドハリケーンズ大阪 (ラグビートップリーグ)

<時期等> 9月5日～11日 参加40人
串本町総合運動公園

○女子ラグビー7人制日本代表

<時期等> 10月16日～24日 参加30人
上富田スポーツセンター

○トヨタヴェルブリッツ (ラグビートップリーグ)

<時期等> 11月7日～11日 参加70人
上富田スポーツセンター

○日野レッドドルフィンズ (ラグビートップリーグ)

<時期等> 11月13日～19日 参加75人
串本町総合運動公園

○三重ホンダヒート (ラグビートップリーグ)

<時期等> 11月15日～19日 参加70人
上富田スポーツセンター

○NTTコミュニケーションズ シャイニングアークス東京ベイ浦安
(ラグビートップリーグ)

<時期等> 11月22日～27日 参加70人
上富田スポーツセンター

○横浜FC

<時期等> 4年1月12日～23日 参加65人
上富田スポーツセンター

○ヴィッセル神戸

<時期等> 4年1月24日～28日 非公開
上富田スポーツセンター

※新型コロナウイルス感染症の影響により歓迎セレモニー、激励品の贈呈等は未実施

Ⅸ 和みわかやまキャンペーン

平成27年5月に設立した、「わかやまDC推進協議会」の後継団体である、「和みわかやまキャンペーン推進協議会」において、わかやまDC期間中に実施した企画等で高い評価を得た取組を一層ブラッシュアップし、継続実施するとともに、県内観光地の

周遊促進を促進するための新たな取組を実施します。

<構成団体> 県、県観光連盟、市町村・観光関係団体、西日本旅客鉄道(株)和歌山支社、南海電気鉄道(株)、和歌山電鐵(株)、紀州鉄道(株)など 80 団体

<名称> 和みわかやまキャンペーン推進協議会

<設立> 平成27年5月27日

◇旅行会社に対する取組

○旅行会社とのタイアップ

旅行会社とタイアップし、旅行商品造成にむけ観光情報を発信します。

○旅行会社訪問 [詳細120頁](#)

都市圏プロモーションにおける旅行会社訪問の際、世界遺産「高野山・熊野」、「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」「アウトドア体験」のほか、ブラッシュアップした企画等をアピールすることで誘客を働きかけます。

○観光素材の情報発信

県公式観光サイトに掲載している「観光素材」について、随時更新を行います。

◇情報発信

○メディアによる情報発信

<時期> 随時

<内容> 旅行雑誌、タウン情報誌等へ掲載

○WEBサイトによる情報発信

<内容> オススメ観光素材を随時情報発信

○都市圏プロモーション [詳細120頁](#)

<内容> 京阪神の主要駅等で市町村等と共同で観光PR

◇受入対策

○和みわかやまっぷ with スタンプラリー

県内観光地の周遊促進とおもてなしを目的に、県内のお食事処、お土産処、温泉・入浴施設を紹介。規定数のスタンプを集めて応募すると、「プレミアム和歌山」認定商品などを抽選で進呈。「わかやま・まるごとスタンプラリー」の1メニューとして、アプリにて運用。

<時期> 9月頃～

○地域観光素材開発支援

地域で新たに実施する魅力ある素材を支援

<時期> 7月～5年3月

2021 実績

◇「和みわかやまキャンペーン推進協議会」総会を書面にて開催

<内容> 各種議案の提案・承認

(事業報告、収支決算、事業計画、収支予算など)

◇旅行会社に対する取組

○夏プロモーション [詳細 121 頁](#)

○観光素材の情報発信

「観光素材」について、専用サイトで随時更新

◇プロモーション

○「蘇りの地、わかやま」観光PRイベント [詳細 126 頁](#)

◇情報発信

○雑誌、WEB等

名 称	掲載テーマ	発行日等
(株)京阪神エルマガジン社 「SAVVY」12月号	和歌山でお気軽サイクリング	10月22日
(株)京阪神エルマガジン社 「L. maga. jp」	和歌山でお気軽サイクリング	10月22日
(株)京阪神エルマガジン社 「SAVVY 温泉とおやつ」MOOK本	和歌山でお気軽サイクリング	11月30日
和歌山放送「ぐるっと紀州路」	和みわかやまっふ	4年3月23日
WEB「NEXT WEEKEND」	この春に和歌山県でアウトドアをするなら	4年3月30日

◇受入対策

○和みわかやまっふ with スタンプラリー

<時 期> 10月13日～4年8月31日

<内 容> 県内のお食事処、お土産処、温泉・入浴施設（237店舗）掲載
全店舗で使えるお得なクーポン付き、県内ペア宿泊券や県産品（プレミアム和歌山推奨品）が当たるスタンプラリー

※掲載店舗にチェックポイントを設定し、チェックポイントを訪れるとスタンプを1つ獲得

※駐車場、バリアフリートイレ、車いすでの入店、禁煙店の情報、駅に近い店舗の情報をアイコンで表示

※Instagram 投稿キャンペーンとして、毎月1人の方にプレミアム和歌山推奨品3,000円相当を抽選でプレゼント

(3) 『近畿、東海、西日本等』から和歌山へ招く

近畿、東海、中国、四国、九州の都市部において、メディア、旅行会社を対象にプロモーションを行います。

世界遺産「高野山・熊野」、サイクリングと旅を融合した「サイクリング王国わかやま」、自然をテーマにした「水の国、わかやま。」、歴史・文化をテーマにした「わかやま歴史物語」、400周年を迎える和歌祭など、旬の観光素材を情報発信するとともに、特に本県最大のマーケットである京阪神においては、「阪急阪神グループ」などとのタイアップによる大型観光キャンペーンを実施することで、誘客を加速します。

なお、各種プロモーションや企画の実施に際しては、核となる交通事業者と連携するとともに、市町村、地域団体・事業所に対して積極的な参画を働きかけます。

I 京阪神大型観光キャンペーン

阪急阪神グループタイアップキャンペーン

大手私鉄グループの豊富なメディア媒体を活用し、京阪神での効果的な情報発信により誘客を促進します。

<時期> 9～10月

<内容> 「弘法大師御誕生1250年」、「蘇りの地、わかやま」など

2021実績

◇阪急阪神グループタイアップキャンペーン

本県最大のマーケットである「京阪神エリア」での効果的な情報発信と誘客を加速させるため、阪急阪神グループが持つ多くの情報発信媒体を活用したタイアップによる「今が旬わかやまキャンペーン」を実施

<時期> 10月18日～12月19日

(※弱虫ペダル特別版スタンプラリーと同時開催)

<内容> ①阪急・阪神電鉄交通媒体(車内中吊り、沿線主要駅構内)に広告掲出



・車両 阪急：車内中吊りポスター(全車両 約1,450枚)

阪神：1編成(6両)全てにポスター(中吊り、ドア横)

・梅田駅 阪急：梅田グランドビジョン、阪急百貨店前のサイネージ掲出

阪神：最も人通りの多い東改札口でのポスター掲出

②阪急電鉄沿線情報誌「TOKK」に掲載

発行日：11月号(10月25日発行)

部数：30万部

③和歌山の逸品「プレミア和歌山」推奨品等プレゼントキャンペーン
クイズに答えると抽選で103名様に和歌山県への旅行や和歌山の逸品「プレミア和歌山」推奨品をプレゼント(応募件数8,532件)

④WEBやSNSでの情報発信

特設サイトや Twitter・Facebook にて情報発信

Facebook 表示回数 22,740 Twitter 表示回数 145,759

II 都市圏プロモーション

各都市圏の主要旅行会社を訪問して、観光素材やモデルコースの提案を行い、旅行商品の造成や販売促進に繋がります。また、テレビ局や新聞社など主要メディアをキャンペーンスタッフやご当地キャラクターなどで訪問し、記事等での露出を図ります。

◇観光プロモーション

「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」、「アウトドア体験」をはじめ、旬の観光素材や特別企画について、旅行会社、メディアを訪問し、PR・提案を行います。

- <時期> 夏プロモーション 6～7月
春プロモーション 5年2～3月
- <対象等> 京阪神 大阪、神戸、京都
西日本 岡山、広島、福岡
東海 名古屋

◇わかやま発信イベント

○Travel Land 2022

- <時期等> 6月18～19日
久屋大通公園 久屋広場・エンゼル広場（名古屋市）
- <内容> 国内外の観光地域のPRや特産品の販売を実施

○Cityliving Party 2022 in NAGOYA

- <時期等> （未定） 名古屋市内（予定）
- <内容> Cityliving 読者層（働く女性）に向け、県産品や観光のPRを実施

○ふるさとフェア～全国センター合同物産観光展～

- <時期等> （未定） 名古屋市内（予定）
- <内容> 名古屋に事務所を置く13県合同で観光や物産PRを実施

○旅まつり名古屋2023

- <時期等> 5年3月（予定）久屋大通公園 久屋広場・エンゼル広場（名古屋市）
- <内容> 地方自治体や航空会社などが集まり、観光のPRを実施

○名古屋サイクルスポーツデイズ

- <時期等> （未定）
- <内容> 東海地域最大級のサイクリングイベント
企業や自治体などがサイクリングコンテンツのPRを実施

◇旅行会社対策

○観光素材の情報発信 [詳細 93 頁](#)

旬の「イベント・観光素材」について、県公式観光サイトを通して、随時掲載情報の更新を行い、情報発信を行います。

- <時期> 随時

○旅行会社訪問

各都市圏の主要旅行会社を訪問して、観光素材やモデルコースの提案を行い、旅行商品の造成や販売促進に繋がります。

○情報ツールの提供

新たな観光素材等について、詳細資料をはじめ写真やビデオ等の素材情報をタイムリーに提供し、魅力的な商品案内カタログの作成を支援します。

○旅行商品造成支援

旅行会社ファムツアー以外に、随時、企画担当者の現地下見を受け入れ、観光素材の商品への組入れ・造成を働きかけます。また、下見に係る経費の支援やアテンド等を行い、商品造成を促進します。

○全国旅行業協会（ANTA）加盟の旅行会社対策

地域の団体旅行を牽引する第2種、第3種旅行者に対し、旅行商品造成のための提案活動を実施します。また、社員、従業員あるいは顧客向けの旅行商品を企画するいわゆるハウスエージェントに対しても提案活動を実施します。

＜時期等＞ 通年 近畿、東海、首都圏、九州

○日本旅行業協会（JATA）とのタイアップによる商品造成促進

JATA とのタイアップ事業として、会員向けの観光素材説明会及び現地研修ツアーを実施し、商品造成を促進します。

2021 実績

◇夏プロモーション

「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」をはじめ、旬の観光素材や特別企画について、都市圏の旅行会社、メディアにアピールすることで誘客を促進

○旅行会社（京阪神）

＜時期＞ 7月7～12日の間に実施

＜訪問先＞ 計18店舗

大阪市：名鉄観光サービス、近畿日本ツーリスト、南海国際旅行、毎日新聞大阪開発、阪急交通社

【新宮市、湯浅観光まちづくり推進機構と協働】

読売旅行、日本旅行、JTBメディアリターリング、旅ぱる
【和歌山市、岩出市と協働】

京都市：京都新聞旅行センター、ヤサカ観光旅行センター、アルファトラベル、阪急交通社、都観光ツーリスト

【田辺市と協働】

神戸市：山陽バス、神姫バスツアーズ、三洋航空サービス、神戸新聞旅行社

【高野山麓ツーリズムビューロー、田辺市と協働】

○旅行会社（西日本・東海）

<時 期> 7月13～7月16日

<場所等> 計21店舗

名古屋市：西鉄旅行、中日ツアーズ、阪急交通社、名鉄観光、
クラブツーリズム

【南紀白浜観光協会、新宮市観光協会と協働】

岡山市：下電観光バス、名鉄観光サービス、阪急交通社、農協観光、
タビックスジャパン、両備バスカンパニー

【和歌山市観光協会・岩出市と協働】

広島市：JTBメディアリターリング、農協観光、読売旅行、
たびまちゲート広場（旧ひろでん中国新聞旅行）、
阪急交通社

【和歌山市観光協会・岩出市と協働】

福岡市：阪急交通社、西日本新聞旅行、農協観光、第一観光、
日本旅行、名鉄観光

【南紀白浜観光協会と協働】

○メディア

・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止

◇春プロモーション

「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」
をはじめ、旬の観光素材や特別企画について、都市圏の旅行会社、メディアにアピー
ルすることで誘客を促進

○旅行会社（京阪神）

<時 期> 4年3月14日、15日、25日に実施

<訪問先> 計13店舗

大阪市：日本旅行、阪急交通社、JTBメディアリターリング
【高野山麓ツーリズムビューローと協働】

読売旅行、トラベルギャラリー、旅ぱる、南海国際旅行、
サンケイトラベル

【和歌山市、高野山麓ツーリズムビューローと協働】

京都市：京都新聞旅行センター、ヤサカ観光旅行センター

【高野山麓ツーリズムビューローと協働】

神戸市：山陽バス、神戸新聞旅行社、神姫バスツアーズ、
三洋航空サービス

【白浜町と協働】

○旅行会社（西日本・東海）

<時 期> 4年3月15～17日、24日に実施

<場所等> 計20店舗

名古屋市：西鉄旅行、ワールド航空サービス、阪急交通社、名鉄観光、
JR東海バス

【南紀白浜観光協会と協働】

岡山市：下電観光バス、名鉄観光サービス、両備バスカンパニー、
農協観光、阪急交通社

【白浜町と協働】

広島市：阪急交通社、タビックスジャパン、読売旅行、農協観光、
たびまちゲート広場（旧ひろでん中国新聞旅行）、

【白浜町、那智勝浦観光機構と協働】

福岡市：阪急交通社、西日本新聞旅行、農協観光、第一観光、
名鉄観光

【白浜町、那智勝浦観光機構と協働】

○メディア

・KBS京都放送「キモイリ！」出演（4年3月19日放送）

・サンテレビジョン「情報スタジアム4時キャッチプラス」（4年3月24日放送）

◇旅行商品造成 計20件

会社名	商品名
京都新聞旅行センター	高野山奥の院めぐり
京都新聞旅行センター	南紀白浜アドベンチャーワールド
サンシャインツアー	世界遺産の聖地 熊野三山めぐり
たびまちゲート広島	高野山と秘湯の名湯 龍神温泉
JTB	観光列車「天空」に乗車！心身和らぐ世界遺産高野山 2日間
JTB	紀州和歌山で味わう 高級魚「クエ」と絶景の宝庫「和歌の浦」
たびぱる	わかやま旬のいちご狩り食べ放題&めで鯛尽くし膳のご昼食
たびぱる	和歌山県しみず温泉健康館&あさぎり
たびぱる	アドベンチャーワールドの旅 パンダファミリーに会いに行こう
南海国際旅行	世界遺産熊野古道『中辺路』を語り部と歩く 全3回
南海国際旅行	熊野古道・小辺路を歩く 全4回で完歩
阪急交通社	伊勢・南紀 長期滞在7日間
阪急交通社	高野山と春彩御前
阪急交通社	西国三十三所巡礼の旅
神戸新聞旅行社	紀伊山地の霊場と参詣道を歩く 熊野古道と高野参詣道

三進トラベルサービス	素敵なお宿・厳選されたお食事・温かいおもてなし 愉快 痛快 秋の南紀温泉紀行
アルファトラベル	・熊野古道中辺路を歩く 稲葉根王子から清姫の墓まで ・桃の産地！かつらぎ町で桃の収穫体験と桃食べ放題
アルファトラベル	高野三山ハイキング
アルファトラベル	熊野古道中辺路を歩く 清姫の墓から高原熊野神社まで
エコトラベル	消防記念会による高野山参詣

◇わかやま発信イベント

○名古屋サイクルスポーツデイズ

<時期> 4月17～18日

<場所> イオンモール熱田（名古屋市）

<内容> サクリスト向けに和歌山の観光PRを実施

<主催> 名古屋サイクルスポーツデイズ実行委員会

○CYCLE MODE RIDE OSAKA 2021

<時期> 7月24～25日

<場所> 万博記念公園

<内容> サイクリング関連および観光PR

<主催> テレビ大阪

○ふるさと全国県人会まつり 2021（新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止）

<時期> 9月中旬

<場所> 久屋大通公園 久屋広場・エンゼル広場（名古屋市）

<内容> 物産および観光PR

<主催> ふるさと全国県人会まつり実行委員会

○ツーリズム EXPO ジャパン 2021（新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止）

<時期> 11月25～28日

<場所> インテックス大阪

<内容> 市町村や各観光協会とともに出展し、旅行会社等との商談会や来場者向けにパンフレット配布等のPRやステージイベントを実施

<主催> JATA、（公社）日本観光振興協会、JNTO

○ふるさとフェア～全国センター合同物産観光展～

<時期> 11月30日～12月3日（名古屋市）

<場所> 金山総合駅連絡通路橋

<内容> 物産および観光PR

<主催> 全国物産観光センター連絡協議会

○旅まつり名古屋 2022（新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止）

<時期> 4年2月26日～27日

<場所> 久屋大通公園（名古屋市）

<内容> 物産および観光PR

- <主 催> 旅まつり名古屋実行委員会
- 名鉄の泊りハイキング春フェスタ
 - <時 期> 4年3月1日
 - <場 所> 住友生命名古屋ビル（名古屋市）
 - <内 容> 熊野古道、町石道などハイキングメインの観光PR
 - <主 催> 名鉄観光サービス株
- アウトドアフェス 詳細32頁
 - <時 期> 4年3月5～6日
 - <場 所> 万博記念公園
 - <内 容> アウトドア関連および観光PR
 - <主 催> テレビ大阪
- CYCLE MODE RIDE OSAKA 2022
 - <時 期> 4年3月5～6日
 - <場 所> 万博記念公園
 - <内 容> サイクリング関連および観光PR
 - <主 催> テレビ大阪
- 第16回国内観光活性化フォーラム in やまなし（新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）
 - <時 期> 4年3月9日
 - <場 所> YCC県民文化ホール（甲府市）
 - <内 容> 物産および観光PR
 - <主 催> （一社）全国旅行業協会
- 名古屋サイクルスポーツデイズ
 - <時 期> 4年3月19～20日
 - <場 所> イオンモール熱田（名古屋市）
 - <内 容> サイクリスト向けに和歌山の観光PRを実施
 - <主 催> 名古屋サイクルスポーツデイズ実行委員会
- 日本観光ショーケース in 大阪・関西
 - <時 期> 4年3月25～27日
 - <場 所> インテックス大阪
 - <内 容> 物産および観光PR、旅行会社等との商談
 - <主 催> 「日本観光ショーケース in 大阪・関西」実行委員会
- ◇旅行会社対策
 - 旅行商品造成支援
 - 旅行会社企画担当者の現地下見受入を随時行い、現地下見に係る案内や経費の支援を実施（全9社うち近畿、東海、西日本等は4社）
 - 旅行商品造成に係る下見支援制度の提案
 - 本県向け旅行商品の造成促進を目的とした下見支援制度について、都市圏の全国旅行業協会（ANTA）支部や旅行会社に対してセールスを実施（全60社のうち近畿、東海、西日本等は15社）

Ⅲ 鉄道事業者とのタイアップ

◇JR西日本主催「観光素材説明会」への参加

「2023 年度観光素材説明会」において、和歌山の旬の素材について説明を行うとともに、主要旅行会社、JR関係者と情報交換を行います。

<時期等> ※開催時期等未定

◇「WEST EXPRESS 銀河」の運行

「WEST EXPRESS 銀河」運行に合わせて、紀南地域の市町村、観光関連事業者等と連携し、地域におけるおもてなしを実施します。

<時期等> 4 年秋～冬

<区 間> 京都駅～新宮駅

◇南海電鉄とのタイアッププロモーション

南海電鉄（高野線）は、大都市圏から高野山へアクセスする唯一の鉄道として独自の誘客宣伝事業を実施するため、引き続き、同社と情報交換・連携を密にし、真田ゆかりの地・九度山及び令和5年に弘法大師空海御誕生1250年を迎える高野エリアを効果的にプロモーションします。

◇和歌山電鐵とのタイアッププロモーション

全国的な知名度がある「社長代理ウルトラ駅長・ニタマ、スーパー駅長・よんたま」、また「たま電車ミュージアム号」「いちご電車」「たま電車」「うめ星電車」といったユニークな電車が観光客を惹きつける和歌山電鐵とタイアップして貴志川線沿線の誘客を促進します。

○都市圏プロモーション [詳細 120 頁](#)

メディア、旅行会社訪問時の紹介

○岡山市における情報発信

同社が属する両備グループの岡山電気軌道(株)の路面電車「たま電車／わかやま応援館」を使用して岡山市において継続的な情報発信

2021 実績

◇「蘇りの地、わかやま」観光PRイベント

<時 期> 10月23日、24日

<場 所> JR大阪駅アトリウム広場

<内 容> 県・市町村の観光PR動画放映、観光パンフレット・ポスター配架、当日参加市町村のPRブースの設置、ご当地マスコットキャラクターによる観光PR

<参 加> 当日参加9団体、パンフレット配架33団体、動画放映22団体

◇JR6社主要駅での和歌山県観光PRポスター掲出

<時 期> 10月（1か月間）

<内 容> 和歌山県観光PRポスター（5連貼）をJR6社の約800駅に掲出



◇「WEST EXPRESS 銀河」の運行

<内 容> JR西日本の観光列車「WEST EXPRESS 銀河」の紀南方面への運行に伴い、県、関係市町村等で協議会を設立（事務局：新宮市）し、紀南地域の周遊促進・おもてなし企画や特産品の販売等による受入体制を強化。

<時 期> 7月16日～12月22日

<区 間> 京都～新宮、週2往復

◇JR西日本主催「観光素材説明会」への参加

「2022年度観光素材説明会」に出席し、JRが一括して観光素材等をPR

<時期等> 10月28日 ホテルグランヴィア大阪（WEB併催）

◇和歌山電鐵「ニタマ駅長」への和歌山県勲侯爵の授与 [\[詳細 78 頁\]](#)

IV 高速道路会社とのタイアップ

高速道路会社（NEXCO 西日本、中日本）と連携したキャンペーン企画をはじめ、主要サービスエリアでの観光パンフレット設置により情報発信します。

◇NEXCO 西日本・広域観光連携キャンペーンへの参画

○「お国じまんカードラリー2022」

NEXCO 西日本が実施する西日本広域観光連携キャンペーン「お国じまんカードラリー2022」に参画し、誘客を図ります。

<時 期> 4月下旬～5年1月

<内 容> 選定された場所・施設等に設置されたカードを収集し、応募により特産品等が当たるもの

※カード設置箇所

紀州東照宮、道の駅「柿の郷くどやま」、道あかり、かえるの港、道の駅「すさみ」、世界遺産熊野本宮館、道の駅「おくとろ」、道の駅「たいじ」

<広 報> NEXCO 西日本管内主要SAにポスター、チラシ設置

NEXCO 西日本の広報媒体（サイト、フリーペーパー等）掲載

県公式観光サイトに掲載

◇NEXCO と連携した誘客促進

○西日本エリア主要SAへの観光パンフレット等の配置

<時 期> 4月1日～

<内 容> 「高野山・熊野」など

<場 所> 西日本主要SA 5か所
紀ノ川^下、岸和田^下、三木^上、大津^下、淡路^上

○東海エリア主要SAへの観光パンフレット等の配置

<時 期> 4月16日～

<内 容> 「高野山・熊野」など

<場 所> 東海圏主要SA 6か所
土山（集約）、多賀^下、南条^上、恵那峡^下、上郷^下、安濃^下

2021実績

◇NEXCO 西日本広域観光連携キャンペーンへの参画

○「お国じまんカードラリー2021」

NEXCO 西日本が実施する西日本広域観光連携キャンペーン「お国じまんカードラリー」に参画し、県内周遊を促進

<時 期> 11月1日～4年1月8日

<内 容> 参画した24府県、全157か所に設置されたカードを収集し、応募により特産品などを抽選で進呈

※カード設置箇所

四季の郷公園、道の駅「柿の郷くどやま」、紀州漆器伝統産業会館、新鮮市場 浜のうたせ、道の駅「SanPin 中津」、道の駅「すさみ」、道の駅「おくとろ」

<広 報> 同社管内の主要SA、県内のカード設置箇所にポスターを設置
同社の各種広報媒体（サイト、フリーペーパー等）及び県公式観光サイトで告知

<備 考> 県内カード配布計約900枚

◇NEXCO 西日本のSAへの観光パンフレット等の配置

「わかやま歴史物語スタンプラリー人物編」「水の国、わかやま。」「高野山・熊野」

<時期等> 4月1日～4年3月31日（約19,000部）

紀ノ川^下、岸和田^下、三木^上、大津^上、淡路^上 計5か所

◇NEXCO 中日本のSAへの観光パンフレット等の配置

「わかやま歴史物語スタンプラリー人物編」「水の国、わかやま。」「高野山・熊野」

<時期等> 4月16日～4年3月16日（約43,000部）

土山（集約）、多賀^下、南条^上、諏訪湖^下、安濃^下、恵那峡^下 計6か所

V 南海フェリーとのタイアップ

南海フェリー、県内市町村等、県が協働でフェリーの利用促進及び和歌山県への誘客、周遊促進に繋げるための各種事業を実施します。

◇誘客キャンペーン

○「フェリーで快適わかやま周遊 TRIP」（仮）

- <時 期> 10月～5年3月（予定）
- <内 容> パンフレット掲載施設における利用特典（クーポン）付与
- <広 報> キャンペーンパンフレットの製作・配布
県公式観光サイト、市町村等のサイトで情報発信
四国高速道路SA、道の駅等にパンフレット配置等

○旅行会社訪問

南海フェリーと共同で、四国4県の主要旅行会社を訪問し、観光素材やモデルコースの提案を行い、南海フェリーを利用した旅行商品の造成や販売促進に繋がります。

○フェリー利用促進キャンペーン（仮）

- <主 体> 南海フェリー、県（総合交通政策課）
- <内 容> ファミリー層をターゲットにイベント実施
- <広 報> キャンペーンパンフレットの製作・配布
四国主要メディア訪問による露出

2021 実績

◇南海フェリーとのタイアップキャンペーン

○「フェリーで快適わかやま周遊 TRIP」のリーフレット配架

- <時 期> 10月1日～4年3月31日
- <内 容> フェリー乗船割引券付きのリーフレットを作成・配布
(A3二つ折り：15,000部)
「ゆったりフェリーで和み旅2021」キャンペーンの掲載
(キャンペーン開催時期：10月1日～12月31日まで)

※南海フェリーキャンペーン情報、和歌山県観光情報、和みわかやまっぷ、WAKAYAMA800モバイルスタンプラリー、わかやま・まるごとスタンプラリーを掲載

- <配布先> 四国内の道の駅、イオンモール徳島へ配置
(他、四国内の高速SA、阿波銀行等へ配置)

(4) 『首都圏』から和歌山へ招く

人や情報が集中する首都圏において、メディアや旅行会社と連携し世界遺産「高野山・熊野」や「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」などの観光素材を継続的に情報発信し、首都圏からの誘客に繋がります。

“和みわかやま”東京レセプションの開催を通じた情報発信をはじめ、訴求力のある媒体への提案活動を実施するとともに、和歌山の観光をテーマとする講座を開催するなど、和歌山への興味と旅行動機を喚起します。

I 首都圏プロモーション

◇メディア開拓、連携強化、企画提案の実施

県内の地域や企業等との連携のもと、誘客に効果的なテレビや雑誌、新聞、WEBメディアの新規開拓や有力媒体に対する企画提案活動・取材誘致を行い、訴求力のある情報発信を実現します。

<時期等> 随時

○「“和みわかやま”東京レセプション 2022」において、テレビ番組制作、新聞、雑誌等首都圏メディアを招集し、観光素材のプロモーション説明会を実施します。

<時期等> 10月27日(予定)

○プレスツアー及び記者取材会の実施

企画提案活動を通じ、より効果的な露出を図るため、首都圏メディアを対象に記者取材会を実施します。

<時期等> 未定

◇メディア等情報交換会の開催

近畿6府県が連携し、首都圏の各記者クラブ等メディア関係者、旅行エージェント企画造成担当者を対象に、県内地域参加のもと対面型による観光素材の説明を実施し、媒体露出と旅行商品造成による送客促進の流れを築きます。

<時期> 6、10月、5年2月

◇和歌山の観光をテーマとする講座の開催

首都圏で、メディア、旅行会社、大学公開講座、カルチャーセンター、民間企業等と連携し、地元講師や有識者による講座の開催等を通じて「和歌山の魅力」を伝え、深い知識を得ることで和歌山県への旅行動機を喚起し、誘客を図ります。

<時期等> 随時

◇首都圏観光物産PRイベント等の実施

○“和みわかやま”東京レセプション 2022 の開催

世界遺産「高野山・熊野」、ジャイアントパンダなど首都圏ニーズの高い話題性のあるテーマを活かしたPRイベントを実施します。

<時期等> 10月27日(予定) ホテルニューオータニ東京(東京都)

<内容> メディア・旅行会社関係者約300人を招いてのPR

【第1部】旅行会社情報交換会

観光プロモーション説明会

【第2部】レセプション（交流会）

○東京から和歌山県への時刻表（アクセスガイド）の改訂発行

＜時期＞ 5年3月

○わかやま発信イベント

地域と協働した観光イベントを通して和歌山の魅力を発信します。

◇わかやま紀州館等県産品PR活動

○出前紀州館

首都圏の商業施設やイベント会場等で、和歌山県産品の展示販売と観光PRを並行して行なうことにより、首都圏での和歌山県の認知度アップを図ります。

・和歌山関連物産展への出展

＜時期等＞ 随時（年間8回以上）

・その他物産PRイベントへの出展

＜時期等＞ 随時

◇大型観光展への出展

○ツーリズム EXPO ジャパン 2022

＜時期等＞ 4年9月22～25日 東京ビッグサイト

＜内容＞ ・各種メディアや日本旅行業協会加盟の国内大手旅行会社との商談会に地域団体とともに参加

・一般向けの展示会に地域団体とともに出展し観光PRを実施

2021実績

◇メディア各社への情報提供及び企画提案の実施

○テレビ、ラジオ

媒体名	テーマ	放送日
北陸朝日放送 「ギョッ!と石川ゆうどき live」	南方熊楠	10月15日
エフエム東京 「TOKYO FM」	アドベンチャーワールドのSDGs	12月29日

○雑誌、新聞、フリーペーパー等

名称	掲載テーマ	発行日等
三栄 「いつか出会った郷土の味」	夢枕獺氏の食エッセイ 串本の旅	4月1日
日刊現代 「日刊ゲンダイ」	花粉症の季節には和歌山のじゃばら	4月1日
ベストセラーズ 「一個人（春号）」	高野山霊宝館開館100周年記念大宝蔵展「高野山の名宝」開催情報	4月3日

三栄 「男の隠れ家（6月号）」	かつらぎ町、すさみ町のキャンプ情報	4月27日
日刊現代 「日刊ゲンダイ」	花粉症に効く北山村のじゃばら	5月2日
実業之日本社 「月刊GARVY（6月号）」	ジオキャンプ	5月10日
読売新聞 「読売新聞」	歌舞伎座 道成寺“釣鐘アドバルーン”	5月14日
紀州新聞社 「紀州新聞」	歌舞伎座 道成寺“釣鐘アドバルーン”	5月14日
日刊現代 「日刊ゲンダイ」	歌舞伎座 道成寺“釣鐘アドバルーン”	5月19日
日経BPコンサルティング「はれ予報（6月号）」	世界遺産熊野古道・高野参詣道	5月20日
光文社 「女性自身Mook パンダ自身2頭め」	アドベンチャーワールドのパンダ	5月25日
三栄 「男の隠れ家（8月号）」	アウトドアな田舎暮らし	6月27日
水中造形センター 「マリンドайビング（8月号）」	白浜景勝地とアドベンチャーワールド	7月9日
交通新聞社 「旅の手帖（8月号）」	奈良交通八木新宮線の旅	7月10日
交通新聞社 「旅の手帖（10月号）」	葛城修験、道成寺秘仏中開帳	9月10日
三栄 「男の隠れ家（11月号）」	東京でわかやまを感じる 東洋ライス金のダイニング 鮪金	9月27日
ベストセラーズ 「一個人（秋号）」	農業遺産下津蔵出しみかん、 日本遺産絶景の宝庫和歌の 浦、那智勝浦町大泰寺	10月1日
ABCアーク 「歴史人（11月号）」	南方熊楠	10月6日
講談社 「週刊現代」	和歌山城	11月13日
三栄 「男の隠れ家（1月号）」	グラフィットバイクで巡る 串本、古座川旅	11月27日
主婦の友社 「写真集「パンけつ」」	パンダのおしり	12月7日

ベストセラーズ 「一個人 日本人のしきたり入門」	神仏習合 熊野古道大門坂	12月16日
三栄 「男の隠れ家(2022年2月号)」	キャンプグルメ特集 かつらぎ町 orange コラボ企画	12月27日
ベストセラーズ 「一個人(冬号)」	和歌山市、田辺市「祈りとミシュラン養食の和歌山旅」	12月28日
中日新聞東京本社 「東京中日スポーツ」	串本旅と海釣りであじ三味	4年1月13日
三栄 「時空旅人別冊「高野山」	高野山	4年1月14日
文藝春秋 「CREA Traveller(2022年2-3月号)」	「美味養生、紀州旅」ミシュラン和歌山	4年1月15日
JTB 「JTB 旅カードゴールド Travel&Life(2-3月号)」	クエ鍋、徳川御三家、日本三名瀑、紀州南高梅	4年2月1日
ワールドフォトプレス 「モノマガジン(2022年2月16日発売号)」	白浜&田辺エリア、パンダ、ミシュラン	4年2月16日
三栄 「男の隠れ家(4月号)」	「蘇りの地、わかやま」グラフィックバイク&串本橋杭岩	4年2月26日
文藝春秋 「CREA(春号)」	モデルはなさんの「パンダ暮らし」インタビュー	4年3月7日
実業之日本社 「月刊 GARVY(4月号)」	かつらぎ町 orange キャンプ旅 高野山	4年3月10日
日本経済新聞社 「日本経済新聞夕刊」	ワーケーション in 和歌山 旅も仕事も楽しむ人へ	4年3月24日

OWEB等

名称	掲載テーマ	発行日等
(株)扶桑社 「カラふる」	アンテナショップ じゃばら、梅干し	4月15日
和歌山放送 「和歌山放送」	歌舞伎座 道成寺“釣鐘アドバルーン”	5月13日
松竹 「歌舞伎美人」	歌舞伎座 道成寺“釣鐘アドバルーン”	5月14日
日経BPコンサルティング 「YouTube はれ予報チャンネル」	世界遺産・熊野古道	5月20日

旅恋 「旅恋」	歌舞伎座 道成寺“釣鐘アド バルーン”	5月22日
サイゾー 「cyzo woman」	和歌山の調味料梅酢	6月10日
A B Cアーク 「歴史人」チャンネル YouTube	南方熊楠	10月6日
朝日新聞 「朝日新聞デジタル」	HYDE ディスプレイ店頭プロ モーション	11月9日
(株)扶桑社 「カラふる」	アンテナショップ、梅&山椒 編	4年1月20日
J T B 「J T B旅カードゴールドWEB マガジン」	絶景田辺市天神崎、白浜町	4年2月15日
文藝春秋 「CREA WEB」	モデルはなさんの「パンダ暮 らし」インタビュー	4年3月8日
ベストセラーズ 「一個人WEB」	和歌山「鉄旅」紀行	4年3月28日
A B Cアーク 「歴史人WEB」	戦国一の地侍集団・雑賀衆 - 紀州の民の力 -	4年3月29日

◇観光素材説明会の開催

- ・近畿6府県首都圏観光連絡協議会

情報交換会（参加：旅行会社・メディア）

<時期等> 10月6日 参加23人

<内 容> （一社）南紀白浜観光協会が観光素材をプレゼンテーション

◇和歌山の観光をテーマとする講座の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見合わせ

◇「“和みわかやま”東京レセプション2021」

新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止

◇東京から和歌山県への時刻表（アクセスガイド）の改訂発行

首都圏から本県への最適で最新の交通アクセス・時刻を紹介

◇歌舞伎座で鐘供養 釣鐘バルーン設置によるPR

<時期等> 5月12日～6月6日

<内 容> 道成寺の二代目釣鐘お里帰りプロモーションの一環で、歌舞伎座木挽町
広場で道成寺、和歌山県の魅力の特設コーナーで紹介

◇紀の国わかやま文化祭 2021in 渋谷

<時期等> 10月3日

<内 容> 渋谷キャストにて、紀の国わかやま文化祭 2021 の認知度向上を目的に
観光案内と物産販売を実施

◇和歌山県PRイベント展示企画「わかやまトリップ展」

<時期等> 4年3月11～13日

<内 容> 東京シティアイ イベントスペース (KITTE 丸の内地下1階) で観光スポットの写真・ポスター等の展示イベントを開催

◇和歌山関連物産展・イベントへの出展

日 程	イベント名	場 所
5月12日 ～6月6日	歌舞伎座で鐘供養 釣鐘バルーンが登場	歌舞伎座木挽町広場
7月19日 ～9月5日	夏の全国特産品マーケット	東京スポーツスクエア
8月4～16日	アンテナショップフェア	小田急新宿店
9月8～13日	ご当地グルメアンテナショップフェア	高島屋高崎店
10月14～20日	ご当地アンテナショップ大集合	京王聖蹟桜ヶ丘店
10月3日	紀の国わかやま文化祭 2021 in 渋谷	渋谷キャスト
11月5～7日	羽田スマートシティ EXP02021	羽田イノベーションシティ

◇わかやま紀州館周年祭

<時期等> 4年2月1～28日 わかやま紀州館

<内 容> 県内各地のお菓子の限定販売及び抽選会を実施し、各種県産品の贈呈

II 旅行会社対策

◇旅行会社ファムツアーの実施

首都圏発の旅行商品造成を目的とし、旅行会社を招いた現地研修会等を実施します。

<時期等> 夏～秋

参加旅行会社15社(予定)

<内 容> 首都圏旅行会社を対象に現地視察旅行(場所未定)を実施

◇旅行会社担当者(企画担当・販売担当)との関係強化

○企画担当者との意見交換会の開催

「“和みわかやま”東京レセプション 2022」において、県内地域団体との商談会形式による情報交換会を実施します。

○旅行会社各店舗等への出前研修実施(観光素材や交通アクセス等のレクチャー)

◇旅行商品造成支援

○旅行会社企画担当者への有力観光素材や各種キャンペーン情報の提供

○旅行会社企画担当者による現地下見実現のための人的・財政的支援

◇販売促進支援

○旅行商品パンフレットの「わかやま紀州館」への配置・配布

○旅行商品販売促進のためのタイアップ事業の実施

◇情報ツールの提供

より魅力的な旅行商品パンフレットの作成を支援するため、観光素材の詳細資料や写真等の提供を迅速に行います。

2021 実績

◇旅行会社ファムツアーの実施

<時期等> 12月2日～3日

参加10社13人

<内 容> 「宇宙と繋がる熊野の原風景に触れる旅」をテーマに実施

◇観光素材説明会の開催 [詳細 134 頁](#)

◇旅行商品造成 26件

○商品内容

会 社 名	商 品 名
南海国際旅行	熊野古道「紀伊路」と五体王子を巡る3日間 平安貴族の熊野御幸ルートを再現！「城南宮」から熊野本宮大社へ
南海国際旅行	熊野古道「伊勢路」神々の息吹感じる3日間 聖地熊野の世界遺産総めぐり！松本峠ウォークと瀧原宮
びゅうトラベルサービス	個人では行きにくい近代化産業遺産を巡る3日間 日本遺産「生野銀山」「友ヶ島」へ
びゅうトラベルサービス	和歌三神めぐりと日本の発祥 国生みの聖地「淡路島」へ
JTB	高野山霊宝館100周年記念大宝蔵展と1400年御遠忌の聖徳太子ゆかりの法隆寺を巡る3日間
JTB	高野山霊宝館100周年記念大宝蔵展と河内・摂津・紀州の紅葉名所巡り3日間
阪急交通社	高野山霊宝館100周年記念大宝蔵展と奥之院 紅葉に染まる美しき奈良
毎日企画サービス	和歌山の日本一”だけ”をめぐる旅 日本一のパンダ・みかん・滝・川・灯台・美術館
毎日企画サービス	日本一距離の長い路線バスで走破する日本一広い村十津川と世界遺産・果無集落・熊野三山
クラブツーリズム	グルメも満喫 はじめての熊野・高野山・伊勢神宮 一度にぐるっと巡る聖地 紀伊半島
クラブツーリズム	2022年限定秘仏を見学 高野山3大スポット「壇上伽藍」「金剛峯寺」「奥之院」
クラブツーリズム	3月8日出発限定チャーター直行便利用 悠久の歴史と自然が織り成す絶景 紀伊半島
クラブツーリズム	今行きたい！世界遺産4ヶ寺で期間限定の特別公開！高野山・比叡山延暦寺・薬師寺「国宝・東塔」興福寺「国宝・五重塔」2日間
クラブツーリズム	《徹底解剖》案内人とめぐる 世界遺産 比叡山・高野山 2日間

毎日企画サービス	忘年ハイク in 紀伊半島 古座川峡・嶽ノ森山と熊野古道・紀伊路絶景地を歩く
三越伊勢丹ニッ コウトラベル	8名さまに語り部が1人同行 秋の熊野古道 ゆったり歩く3日間
びゅうトラベル サービス	日本三古泉の一つ「白浜温泉」に泊まる！日本最多！7頭のジャイアントパンダが暮らす「アドベンチャーワールド」を満喫
南海国際旅行	聖地高野山の世界遺産巡りと「高野の火祭り」
南海国際旅行	熊野信仰に触れる旅～南紀・那智山編～
南海国際旅行	熊野信仰に触れる旅～伊勢・熊野編～
南海国際旅行	熊野信仰に触れる旅～神秘の原始林を歩く旅～
南海国際旅行	真言密教と熊野信仰に触れる旅～高野山・熊野～
ジャルパック	【6名より催行】ツアーコンダクター同行〈巡礼の道と美食を楽しむ 高野山・熊野古道と伊勢志摩〉4日間
南海国際旅行	高野山・熊野三山を巡る旅～真言密教と熊野信仰に触れる3日間～
阪急交通社	4日間でじっくり巡るお体に優しい熊野三山・高野山
阪急交通社	海辺の絶景リゾートホテルに泊まるくつろぎの休日3日間

○旅行商品造成支援

旅行会社企画担当者の現地下見受入を随時行い、現地下見に係る案内や経費の支援を実施（全9社のうち首都圏5社）

○旅行商品造成に係る下見支援制度の提案

本県向け旅行商品の造成促進を目的とした下見支援制度について、大都市圏の旅行会社に対してセールスを実施（全60社のうち首都圏45社）

Ⅲ 南紀白浜空港を利用した誘客

本県が有する豊富な観光資源や白浜エリアを中心としたIT企業誘致の取組を背景に民間事業者による空港基本施設やターミナルビルの一体運営が実現しました。これにより、チャーター便など新たな航空ネットワークによるさらなる交流人口の拡大及び空港運営の効率化が期待されるため、航空事業者等への働きかけにより積極的に誘客を促進します。

◇旅行商品造成の働きかけ

南紀白浜空港～羽田空港便の就航機材が全便大型化し、首都圏から更なる誘客をするため、旅行会社訪問やファムツアーを実施し旅行商品造成に繋がります。

○旅行会社ファムツアーの実施

<時期> 未定

参加 旅行会社15社（予定）

<内 容> 首都圏旅行会社を対象に現地視察（場所未定）および地元事業者との商談会

◇**利用促進**【主管：港湾空港振興課】

○県外からの誘客活動

首都圏からの誘客のため、旅行商品造成による団体ツアーの誘致、わかやま紀州館等との連携による旅行会社への情報発信、また、国内チャーター便誘致により団体ツアーを取り込みます。その他、空港利用促進のためのキャンペーン等を実施します。

○地元の空港利用促進活動

企業・団体、中学校の修学旅行等、スポーツ合宿誘致、空の日フェスタ等イベント時のPR活動、各種メディア、団体会報での周知による利用促進活動を行います。

○その他

- ・航空乗継利用促進協議会事業への参画
- ・全国地域航空システム推進協議会への参画

2021 実績

◇首都圏対策

○旅行会社ファムツアーの実施

<時 期> 4年3月8日～10日

参加旅行会社9社9人

（JTBガイアレック、オリオンツアー、クラブツーリズム、読売旅行、ジャンボツアーズ、ジャルパック、名鉄観光サービス、近畿日本ツーリスト、エヌズ・エンタープライズ）

<内 容> ワークーションやアウトドア体験、ミシュランをテーマに実施

3月9日には地元事業者23社との商談会を実施

IV クルーズ客船誘致による誘客推進

国内クルーズ船の寄港（和歌山下津港・日高港・新宮港）を誘致し、周辺観光地への誘客を図るため、船会社や関係旅行会社へ観光素材をはじめ、オプションツアーの提案活動を実施します。

<寄港予定>

にっぽん丸	4月	（日高港）
	4月、7月	（新宮港）
	5月	（串本港）
ぱしふいっくびいなす	5月、7月、8月	（日高港）
MSCベリッシマ	5月、6月、7月、8月、9月	（和歌山下津港）
飛鳥Ⅱ	6月	（新宮港）
	7月	（和歌山下津港）
スターブリーズ	9月	（新宮港）

2021 実績

◇クルーズ船の寄港

時 期	寄 港 名	船 名	人 数
4 月 25 日	新宮港	飛鳥Ⅱ	2 1 7
8 月 13 日	日高港	ぱしふいっくびいなす	1 2 2
8 月 15 日	新宮港	にっぽん丸	1 2 0
9 月 24 日	新宮港	にっぽん丸	1 9 7
10 月 11 日	新宮港	飛鳥Ⅱ	2 0 1
11 月 19 日	新宮港	飛鳥Ⅱ	3 5 0
11 月 27 日	新宮港	飛鳥Ⅱ	2 8 8
4 年 1 月 5 日	新宮港	にっぽん丸	1 8 5
4 年 1 月 6 日	新宮港	ぱしふいっくびいなす	7 4
4 年 3 月 17 日	新宮港	にっぽん丸	1 8 6
4 年 3 月 29 日	新宮港	ぱしふいっくびいなす	1 7 7
4 年 3 月 31 日	日高港	ぱしふいっくびいなす	1 7 7

4 和歌山でもてなす

県民みんなで来訪者を歓迎し、気持ちよく過ごしていただくことで、再訪に繋げていくため、平成25年度からおもてなし県民運動「わかやまおもてなし宣言」に取り組んでいます。県民のおもてなし意識の向上を柱として、ソフト、ハードの両面で「おもてなし」を推進していきます。

ソフト面では、総合的な受入対策として、第一線で観光客に接する関係者の接遇能力の向上を図るための研修会を実施し、従業員満足度（ES）の向上を図ることで従業員のやる気を引き出し、更には、顧客満足度（CS）の向上を図ります。

ハード面では引き続き、公衆トイレの快適性向上や美化促進を図るために、大便器の洋式化、温水洗浄便座の設置、小便器の自動洗浄化などに市町村等と連携して取り組みます。

また、本県にはグローバルブランドである「世界遺産」や「ミシュラン三つ星」に加え、「スピリチュアル」、「絶景」、「良質な温泉」など富裕層観光客の欲求を満たす観光資源が豊富にあるにもかかわらず、富裕層に対応できる宿泊施設が依然不足しています。富裕層向け宿泊施設の立地により、地域ブランドの向上や新しい顧客層の誘客が期待できることから、県では平成28年度に富裕層向け宿泊施設誘致のための奨励金制度を創設し、担当部局と協働して誘致に向けた取組を開始しました。さらに、元年度には所有と運営が分離する開発スキームに対応した新奨励金制度に改定。富裕層向けの上質な宿泊施設の誘致に向けた活動をさらに強化します。

(1) 上質な観光サービスの創出

①ホスピタリティ向上

おもてなしの精神や作法など、特に第一線で観光客に接する観光関係者が必要とするおもてなし力の向上や、施設・料理など宿泊施設の商品力強化を支援します。

また、県民一人ひとりが来訪者をおもてなしの心で歓迎する機運を高めるため、「わかやまおもてなし宣言」の取組を継続、拡大し、県民の主体的なおもてなしを質、量ともに高めます。

◇おもてなし力向上研修会

県内観光関連施設のおもてなし力の向上を目的に、研修会を開催します。

<対象> 観光関連事業者（宿泊施設、交通事業者、土産物店等）

<内容> 県内各地で、接遇スキルの向上を目指した研修会を開催

◇課題対応研修会

県内観光関連施設が抱える課題解決を目的に、研修会を開催します。

<対象> 観光関連事業者（宿泊施設、交通事業者、土産物店等）

<内容> 県内各地で、設定した課題に特化した研修会を開催

◇おもてなしの宿づくりセミナー

宿泊施設等の経営者や支配人、基幹的職員を対象としたセミナーを開催します。

<対象> 観光関連事業者（宿泊施設、交通事業者、土産物店等）

<内容> 経営的観点からのおもてなしに関する研修会を開催

◇「わかやまおもてなし宣言」の実施

県民総参加による観光振興を推進し、将来にわたり持続可能な観光力の強化に繋げるため、県民一人ひとりが来訪者に対して行う具体的なおもてなしの内容を「わかやまおもてなし宣言」に登録し、実践していただきます。

<時 期> 平成25年8月28日～

<対 象> 県内在住、通勤通学、県内を拠点に活動している個人・団体等

<内 容> 自分ができる「おもてなし」を具体的に宣言して実践
登録者に登録証、登録ステッカーを進呈

<広 報> 交通関係、商工関係、教育関係、各種団体等と連携して、広報活動を継続して展開

◇おもてなし研修会の実施

「わかやまおもてなし宣言」の登録者に対して、おもてなし向上のための研修会を開催します。

◇タクシードライバーのおもてなし力向上

県内全てのタクシードライバーが最高の接客・接遇と優良なサービスを提供できるよう、県企画部と連携しておもてなし力の向上に取り組みます。

○事業者が行う接客・接遇講習会等研修への支援【主管：総合交通政策課】

○わかやまおもてなし宣言との連携

車内用の登録証や名刺に「わかやまおもてなし宣言」の内容を記載

◇観光週間事業の実施

「和歌山県観光立県推進条例」に定める観光週間を中心に、観光週間が属する月に諸事業を実施し、観光振興に取り組む意識を高め、二度、三度と来ていただけるような取組を推進します。

2021 実績

◇おもてなし力向上研修会（オンライン）

<時期等> 第1回 10月4日 参加19人

第2回 10月12日 参加17人

<内 容> 接遇スキルの向上を目指した研修会

◇課題対応研修会（オンライン）

<時期等> 第1回 10月13日 参加19人

第2回 10月18日 参加8人

<内 容> リーダーシップ、クレーム対応、コミュニケーション能力向上に加え、車いす利用者や視覚・聴覚障害者への介助方法等を学ぶ

◇おもてなしの宿づくりセミナー（オンライン）

<時期等> 10月27日 参加14人

<内 容> 宿泊施設等の経営者や支配人、基幹的職員を対象に、おもてなしに関する講演と、おもてなしを実践するために経営者としてどのように取り組むか等のセミナー

◇「和みわかやま」おもてなしの宿アワード2021

(新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止)

◇おもてなし県民運動「わかやまおもてなし宣言」の実施

<時 期> 平成25年8月28日～

<登録者> 1,707件 70,586人

<対 象> 県内在住、通勤通学、県内を拠点に活動している個人・団体等

<内 容> 自分ができる「おもてなし」を具体的に宣言して実践
登録者に登録証、ステッカー、おもてなしハンドブックを進呈
登録した「宣言内容」を県公式観光サイト内で紹介

◇おもてなし宣言スキルアップ研修会の開催

(新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止)

◇タクシードライバーのおもてなし力向上

○事業者が行う接客・接客講習会等研修への支援

・接客・接客講習会

<時期等> 10月～11月 計2回 計39人受講

◇観光週間事業の実施

観光週間事業として、「蘇りの地、わかやま」キャンペーンにおける県外からの誘客促進施策開始に合わせ、情報発信を強化

「蘇りの地、わかやま」キャンペーン [詳細5頁](#)

②夜の楽しみ方の提案

◇「Nightlife in WAKAYAMA ～和歌山の夜の楽しみ方～」の拡充

夜の娯楽としての県内飲食店や星空観察会をはじめとするイベント情報などを総合的に発信するとともに、県内飲食店の外国人観光客受入環境（メニュー多言語化等）の整備を進め、県内の消費拡大を目指します。

<内 容> 飲食店や体験プログラム、夜景スポットなどをまとめた「特設サイト」を更新

<時 期> 随時

<展 開> 特設サイトへの誘導

- ・多言語WEBサイト「Visit Wakayama」、県公式観光サイト「わかやま観光」にリンク設定
- ・各種パンフレット、SNSの活用

2021実績

◇Nightlife in WAKAYAMA 特設サイトへのイベントや飲食店の掲載

<時 期> 随時掲載

<内 容> 飲食店や体験プログラムをエリア別に掲載
外国人観光客向けには、多言語版観光情報サイト「Visit Wakayama」内に「WAKAYAMA WHEN THE SUN GOES DOWN」ページを掲載

- ＜展 開＞ 各種HPでのバナー設置、印刷物の二次元コード掲載
◇和歌山県内の夜景情報を追加
＜時 期＞ 随時掲載
＜内 容＞ 和歌山県内における夜景スポットを紹介

③富裕層向け宿泊施設の誘致

そのエリアにストーリー性があり眺望や非日常感に優れる候補地を選定して、不動産投資事業者、宿泊施設運営事業者、その他関係事業者に対して提案活動を実施します。併せて、候補地における各種規制への対応や地元関係者との調整など、宿泊施設の誘致に向けた総合的な活動を実施します。

2021 実績

◇県の誘致活動により開業した宿泊施設

「南紀白浜 和みの湯 花鳥風月」

立地場所：西牟婁郡白浜町3729-32

総客室数：全24室（全室半露天風呂付き）

雇用予定：23人（うち正社員従業員13人）

運 営：㈱京都プラザホテルズ（本社：京都府京都市南区）

開 業 日：4年3月1日

◇県がホテル立地に関わり開業したホテル

「フェアフィールド・バイ・マリオット・和歌山串本」

立地場所：東牟婁郡串本町鬮野川1579-1（「道の駅くしもと橋杭岩」向かい）

総客室数：全90室（地上7階建て）

開 業 日：4月14日

「フェアフィールド・バイ・マリオット・和歌山すさみ」

立地場所：西牟婁郡すさみ町江住672-1（「道の駅すさみ」隣接）

総客室数：全90室（温浴施設あり、地上6階建て（地下1階））

開 業 日：6月9日

(2)人材の育成

人材の育成

和歌山大学、県、県観光連盟の三者で締結した相互連携協定に基づき、本県の基幹産業である観光産業の振興を図るため、大学、行政及び観光関係団体が有する知識や情報を有効に活用した協働事業を実施します。

◇和歌山大学「観光・地域づくり」講座の共同開催

観光に寄与する人材の育成に向け、先進観光地のキーパーソンから先進事例を学ぶ和歌山大学「観光・地域づくり」講座を和歌山大学観光学部と連携して共同開催します。

＜時期等＞ 10～12月 5講座

<対 象> 観光学部学生、観光事業者、一般県民

<内 容> 先進観光地キーパーソンの講演

◇**インターンシップ受入**

観光局、わかやま紀州館等においてインターンシップを受け入れます。

◇**紀州語り部のレベルアップ** [詳細 73 頁](#)

◇**体験事業者などを対象としたセミナーやワークショップ等の実施** [詳細 30 頁](#)

2021 実績

◇和歌山大学「観光・地域づくり」講座

オンライン定員 300 人（和歌山県枠 100 人程度） 受講者数 計 563 人

○第 1 回

<時期等> 10 月 14 日 参加 149 人

<内 容> ポストコロナを見据えた観光振興における DMO の役割

<講 師> 観光庁 観光地域振興課広域連携推進室長 後藤章文 氏

○第 2 回

<時期等> 10 月 21 日 参加 117 人

<内 容> アントラーズホームタウン 5 市をつなぐ DMO の役割と課題

<講 師> (一社) アントラーズホームタウン DMO 事業部

(和歌山大学観光学部観光経営学科卒業 3 期生) 炭田晃希 氏

○第 3 回

<時期等> 11 月 11 日 参加 118 人

<内 容> 地域観光は三方良し (Being) へと成熟してこそ持続可能となる

<講 師> 本田屋本店(有) 代表取締役 本田勝之助 氏

○第 4 回

<時期等> 11 月 25 日 参加 87 人

<内 容> ココにいるから見えたこと～佐渡と世界をつなぐ酒造り

<講 師> 尾畑酒造(株) 専務取締役 尾畑留美子 氏

○第 5 回

<時期等> 12 月 9 日参加 92 人

<内 容> レストランが地域を変える！食育活動とローカル・ガストロノミー

<講 師> レストランキャラバンサライ オーナーシェフ 更井亮介 氏

◇インターンシップの受入（和歌山大学観光学部学生）

（新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）

(3) 快適観光空間の創造

① トイレの整備

◇ 観光地内公衆トイレ整備補助

公衆トイレの快適性向上や美化促進を図るため、平成25年度から実施してきた「和歌山おもてなしトイレ大作戦」を引き継ぎ、観光地の公衆トイレ整備に取り組むとともに、適切な管理に努めます。

＜内 容＞ 市町村等が行うトイレ整備（大便器の洋式化、温水洗浄便座の設置、小便器の自動洗浄化など）に対して補助

2021 実績

◇ 観光地内公衆トイレの改修・整備

＜箇所数＞ 7か所

＜備 考＞ 累 計 700か所
平成25～30年度 684か所
令和元年度 6か所
令和2年度 3か所

② ユニバーサルツーリズムの推進

観光客に安全・安心・快適に本県に来ていただくため、宿泊・観光施設などのバリアフリー対応を推進します。

◇ おもてなし力向上研修会・課題対応研修会（「和みわかやま」おもてなし事業）

詳細 140 頁

観光関係者を対象として、おもてなしの精神や作法とともに、バリアフリー観光を研修プログラムに取り入れ、観光関係者のバリアフリー観光に対する意識の向上を図ることを目的に研修会を開催します。

◇ バリアフリー情報の発信

市町村にも協力してもらいながら、観光施設のバリアフリー対応の点検や調査を行い、県作成の観光パンフレットやWEBサイトに反映させるなど、観光地のバリアフリー情報の発信の充実を図ります。

◇ バリアフリー対応への取組を支援

「観光施設における心のバリアフリー認定制度」や「宿泊施設バリアフリー化促進事業」など、国の制度を活用した観光施設のバリアフリー対応に向けた取組を支援します。

2021 実績

◇ 課題対応研修会（「和みわかやま」おもてなし事業） 詳細 141 頁

(4) 二次交通の利便性向上

二次交通（路線バス）の利便性向上

主要駅や宿泊地から路線バスを利用して高野山や熊野に至るアクセスルートや周遊モデルプランを情報発信することで、海外を含む個人・グループ観光客の誘客を図ります。また、観光客の利便性を向上させるため関西国際空港や京都駅から高野山、高野山から熊野エリア、高野山麓を周遊するアクセスバスの利用促進を図ります。

◇リムジンバス・アクセスバスの運行

公共交通を利用して世界遺産を巡る観光客の利便性を向上するため、リムジンバス（関西国際空港～高野山）、高速バス（京都駅～高野山）、アクセスバス（高野山～熊野エリア、高野山麓）を組み込んだ旅行商品の造成と販売促進を旅行会社に働きかけます。また、当該バスの利用促進を図るため、積極的に情報発信を行います。

<内容> バスPRチラシ・ポスター

雑誌・新聞・フリーペーパー・WEB・SNS等への情報掲載
車内吊りポスター掲出など

【参考：運行内容】

○高速バス（京都駅～高野山）

京都観光を楽しむ主に個人観光客をターゲットに、高野山への誘客を図るため、京都駅と高野山をダイレクトで結ぶ高速バスを運行します。

また、旅行会社に対しては、高速バスを組み込んだ旅行商品の造成・販売促進を依頼します。

<時期> 4月22日～11月27日

<コース> 京都駅～高野山

（前期1日1往復、後期1日2往復予定）

<運行> 京阪バス株、南海りんかんバス株



○リムジンバス（関西国際空港～高野山）

関西国際空港を利用する主に個人観光客の利便性向上を図るため、関西国際空港から高野山をダイレクトで結ぶリムジンバスを運行します。

また、旅行会社に対しては、リムジンバスを組み込んだ旅行商品の造成・販売促進を依頼します。

<時期> 今秋（予定）

<コース> 関西国際空港～高野山（1日2往復）

<運行> 関西空港交通株

○世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス

公共交通を利用して世界遺産を巡る個人・グループ観光客の利便性向上を図るため、高野山と熊野エリアを結ぶアクセスバスを運行します。

また、旅行会社に対しては、アクセスバスを組み込んだ旅行商品の造成・販売促進を依頼します。

<時期> 4月1日～ 5月31日

9月1日～11月30日



1日1往復運行

<コース> 高野山発

高野山駅前（ 9：45） → 護摩壇山（乗換） →

本宮大社前（14：22）

熊野本宮大社発

本宮大社前（ 8：05） → なかへち美術館前（乗換） →

護摩壇山（乗換） → 高野山駅前（12：10）

<運 行> 龍神自動車(株)、南海りんかんバス(株)

<備 考> 旅行商品（JTB、日本旅行、近畿日本ツーリストなど）のオプションプランとして紹介

○高野山麓世界遺産アクセスバス

高野山とその麓に点在する世界遺産の社寺などの観光地を巡る観光客（主に個人）の利便性向上を図るため、橋本駅から高野山を結ぶアクセスバスを運行します。

また、旅行会社に対しては、アクセスバスを組み込んだ旅行商品の造成・販売促進を依頼します。

<時 期> 10月1日～11月27日の土日祝日（21日間）

<コース> ・橋本駅前～丹生都比売神社前（1日4往復）

※九度山町内・高野口経由

・丹生都比売神社前～奥の院前（1日3往復）

<運 行> 南海りんかんバス(株)

2021実績

◇リムジンバス・アクセスバス運行に関する情報発信

名 称	掲載テーマ	発行日等
観光連盟 WEBサイト	京都高野線	4月23日 ～11月28日
VISIT WAKAYAMA WEBサイト（9ヶ国語）	京都高野線	4月23日 ～11月28日
Google バナー広告	京都高野線	4月23日 ～11月28日
BBC WEBサイト	京都高野線	4月23日 ～11月28日
チラシ（日本語・英語） A4／70,000部	京都高野線	4月23日 ～11月28日
ポスター（日本語） B3／1,700部、50部	京都高野線	4月23日 ～11月28日
ポスター（英語） B3／50部	京都高野線	4月23日 ～11月28日

リーフレット（英語） A 3 / 3,000 部	京都高野線	4 月 23 日 ～11 月 28 日
リビング京都	京都高野線	4 月 24 日
リビング滋賀	京都高野線	4 月 24 日
リビング京阪	京都高野線	4 月 24 日
シティリビング京都	京都高野線	4 月 24 日
高野町広報誌（8 月号）	京都高野線	8 月 1 日
月刊高野山（8 月号）	京都高野線	8 月 1 日
シティリビング京都	京都高野線	8 月 27 日
リビング京都	京都高野線	8 月 28 日
リビング滋賀	京都高野線	8 月 28 日
リビング京阪	京都高野線	8 月 28 日
チラシ（日本語・英語） A 4 / 70,000 部	京都高野線	9 月 1 日 ～11 月 28 日
ポスター（日本語） B 3 / 1,700 部、50 部	京都高野線	9 月 1 日 ～11 月 28 日
ポスター（英語） B 3 / 50 部	京都高野線	9 月 1 日 ～11 月 28 日
リーフレット（英語） A 3 / 3,000 部	京都高野線	9 月 1 日 ～11 月 28 日
リビング京都	京都高野線	10 月 30 日
京都リビング会員 PR メール の 配信	京都高野線	10 月 30 日
京都リビングエフエム	京都高野線	10 月 18 日
リビング京都	京都高野線	11 月 6 日
チラシ（日本語） A 4 / 10,000 部	関空高野山線	
ポスター（日本語） B 3 / 70 部・B 2 / 5 部	関空高野山線	

情報誌ぱど	関空高野山線	10月1日
ロコトク	関空高野山線	10月21日～
岸和田SAタッチパネル式総合案内モニター	聖地巡礼バス	4月1日～ 4年3月31日
シティリビング京都	聖地巡礼バス	8月25日
リビング京都、リビング滋賀	聖地巡礼バス	8月27日
紀州浪漫（秋号）	聖地巡礼バス	9月1日
Natts3月号	聖地巡礼バス	4年2月24日
西Navi3月号	聖地巡礼バス	4年2月25日
紀州浪漫（春号）	聖地巡礼バス	4年3月1日
じゃらんふるさとキャンペーン	聖地巡礼バス	4年3月15日
Googleリスティング広告 Yahoo!ディスプレイ広告	聖地巡礼バス	4年3月19日
南海電鉄額面B3ポスター	聖地巡礼バス	4年3月28日
チラシ（日本語） A4/5,000部	聖地巡礼バス	4年3月28日
YouTube アスキーCH+Twitter	聖地巡礼バス	4年3月31日
紀州浪漫（秋号）	高野山麓バス	9月1日
九度山町広報誌（9月号）	高野山麓バス	9月1日
月刊高野山（10月号）	高野山麓バス	9月21日
県民の友（10月号）	高野山麓バス	10月1日
橋本市広報誌（10月号）	高野山麓バス	10月1日
かつらぎ町広報誌（10月号）	高野山麓バス	10月1日
高野町広報誌（10月号）	高野山麓バス	10月1日

Natts（10月号）	高野山麓バス	10月1日
JR西日本「電車&ウォーク」（10月号）	高野山麓バス	10月1日
県民チャンネル	高野山麓バス	10月31日 11月11日 11月20日
ラジオ「県庁だより」	高野山麓バス	10月31日 11月7日 11月15日 11月23日
FMはしもと（8月放送）	高野山麓バス	10月6日、7日
パンフレット（日本語） A4／30,000部	高野山麓バス	

◇「京都・高野山線」高速バス

<内 容> 外国人個人観光客（FIT）を中心に多くの観光客が訪れる京都からのアクセスを向上し誘客促進を図るため、京都駅と高野山を結ぶ直行バスを運行

<時 期> 4月23日～11月28日

<往復便数> 前期（4月23日～9月1日） 毎日1往復
後期（9月2日～11月28日） 毎日2往復

<運 賃> ①京都駅八条口～大門南駐車場、奥の院前、高野警察前（金剛峯寺北）
片道：2,500円、往復：4,500円
②高速京田辺～大門南駐車場、奥の院前、高野警察前（金剛峯寺北）
片道：2,200円、往復：3,960円
※①・②ともに小児は半額

<利用実績> 5,097人
前期（4月23日～9月1日） 1,098人
後期（9月2日～11月28日） 3,999人

<運行主体> 南海りんかんバス株、京阪バス株

◇「関西国際空港・高野山線」リムジンバス

<内 容> 観光客のアクセスを向上し誘客促進を図るため、関西国際空港（泉佐野駅経由）と高野山を結ぶ直行バスを運行

<時 期> 10月1日～11月30日

<往復便数> 毎日1往復

<運 賃> 2,000円（ネット予約1,800円）
※小児は半額

<利用実績> 303人

<運行主体> 関西空港交通株

◇世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス

- <内 容> 世界遺産を巡る観光客の利便性向上を図るため、高野山と熊野エリアを結ぶアクセスバスを運行
- <時 期> 4月10日～5月31日、9月18日～11月23日
※運休 5月1日～5月31日（新型コロナウイルスの影響による）
- <往復便数> 1日1往復
- <運 賃> 片道5,000円（高野山駅前～本宮大社前）
※小児は半額 ※他区間の設定あり
- <利用実績> 458人
（内訳）日本人 434人、外国人 24人
- <運行主体> 龍神自動車(株)、南海りんかんバス(株)

◇高野山麓世界遺産アクセスバス

- <内 容> 高野山とその麓に点在する世界遺産観光客の利便性向上を図るため、橋本駅から高野山を結ぶアクセスバスを運行
- <時 期> 10月2日～11月28日の土日祝日（20日間）
- <往復便数> ・橋本駅前～丹生都比売神社前（1日4往復）
※九度山町内・高野口経由
・丹生都比売神社前～奥の院前（1日3往復）
- <運 賃> 路線バス運賃
企画乗車券「ぐるっとパス」
- | | |
|-------------------------|--------|
| A 橋本駅前～丹生都比売神社往復券 | 1,200円 |
| B 奥の院前～丹生都比売神社往復券 | 1,200円 |
| C 橋本駅前～奥の院前片道券 | 1,200円 |
| S 高野山内1日券付き橋本駅前～高野山内片道券 | 1,500円 |
- <利用実績> 292人
- <運行主体> 南海りんかんバス(株)

5 『海外』から和歌山へ招く、『外国人観光客』をもてなす

〔訪日外国人の状況〕

2021年の訪日外客数は、245,900人泊（2019年比99.2%減）となりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策の一環として国境をまたぐ往来が制限され、日本においても観光目的の入国が引き続き認められていないことにより、2021年計は2020年をも下回り、日本政府観光局による訪日外客数公表開始（1964年）以来最低の数値となりました。

2020年1月下旬以降の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの国で海外渡航制限等の措置が取られ、日本においても検疫強化、査証の無効化等の措置が取られる中で、感染状況の変化により日本及び各国の措置は緩和・強化が繰り返されてきました。

2021年に入り、ワクチン接種の普及等を受けて入国制限や入国後の行動制限を緩和する国も増加していましたが、11月には新たな変異株（オミクロン株）の発生を受けて複数の国・地域で入国制限や入国後の行動制限を再び強化する動き等もあり、これまで多くの国で観光目的での入国は認められていない状況が続いています。

現時点では、インバウンドの早期回復は厳しい情勢ですが、日本政府による2030年目標「6千万人、15兆円」は堅持されています。将来的な日本の人口減少に伴い、国内旅行市場は確実に縮小することが見込まれます。一方で、アジアを中心とした新興国の人口増加と経済発展が益々進展することを考慮すると、中長期スパンにおいては著しい成長が見込めるインバウンドの重要性は依然として変わっておらず、一日も早い交流再開が期待されるところで

〔訪和歌山外国人の状況〕

2021年の和歌山県における外国人宿泊客数は、前年に続き新型コロナウイルス感染症の世界的流行による影響により回復せず、前年比87.7%減の5,524人泊となりました。

○県内外国人宿泊客数の推移（国・地域別）

（人泊）

	2003	2016	2017	2018	2019	2020	2021		
	(平成15年)	(平成28年)	(平成29年)	(平成30年)	(令和元年)	(令和2年)	(令和3年)	対前年比	シェア
アジア	45,737	373,808	330,971	316,040	320,323	30,746	2,662	8.7%	48.2%
中国	1,829	140,403	97,658	113,045	148,635	13,113	1,264	9.6%	22.9%
香港	5,858	103,609	105,802	86,075	78,753	8,612	28	0.3%	0.5%
台湾	28,327	70,315	64,484	54,003	46,128	4,259	43	1.0%	0.8%
韓国	8,046	25,095	34,568	35,820	20,175	1,210	110	9.1%	2.0%
タイ	-	11,919	10,226	8,957	9,043	851	134	15.7%	2.4%
シンガポール	-	10,737	8,515	7,892	8,498	846	18	2.1%	0.3%
アジアその他	1,677	11,730	9,718	10,248	9,091	1,855	1,065	57.4%	19.3%
欧米豪	12,671	107,782	125,450	142,138	168,386	12,189	2,103	17.3%	38.1%
フランス	1,139	18,356	17,593	25,611	29,200	1,531	115	7.5%	2.1%
アメリカ	4,909	19,654	22,635	23,230	28,770	2,111	843	39.9%	15.3%
オセアニア	601	14,927	22,650	28,792	25,139	2,366	107	4.5%	1.9%
ドイツ	2,283	8,013	9,283	9,866	13,989	1,087	383	35.2%	6.9%
イギリス	739	9,294	11,142	9,909	13,526	1,063	241	22.7%	4.4%
スペイン	-	6,975	7,307	7,133	9,858	493	31	6.3%	0.6%
イタリア	-	6,031	5,094	6,007	9,005	462	45	9.7%	0.8%
カナダ	547	4,348	7,430	8,386	8,879	814	81	10.0%	1.5%
欧米豪その他	2,453	26,215	27,410	29,211	30,020	2,262	257	11.4%	4.7%
その他	2,875	18,601	19,207	20,985	13,135	2,070	759	36.7%	13.7%
合計	61,283	500,191	475,628	479,163	501,844	45,005	5,524	12.3%	100.0%

○主要市町村別の宿泊客数（国・地域別）

（人泊）

	2021年 （令和3年）	2020年 （令和2年）	対前年比 （R3/R2）	2021年（令和3年）国・地域別内訳										
				アジア	（中国）	（香港）	（台湾）	（韓国）	（タイ）	欧米豪	（フランス）	（アメリカ）	（オーストラリア）	その他
高野町	398	7,594	5.2%	74	2	0	0	36	0	320	44	94	20	4
和歌山市	2,292	12,971	17.7%	1,073	236	18	16	58	62	924	14	288	49	295
白浜町	513	12,743	4.0%	277	211	0	0	0	51	199	0	163	0	37
田辺市	369	3,317	11.1%	66	32	1	3	1	2	284	26	101	8	19
那智勝浦町	158	1,941	8.1%	62	17	0	2	1	12	74	3	40	2	22
みなべ町	3	1,554	0.2%	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
新宮市	554	1,255	44.1%	142	53	4	12	2	0	197	27	104	8	215
その他	1,237	3,630	34.1%	965	713	5	10	9	7	105	1	53	6	167
合計	5,524	45,005	12.3%	2,662	1,264	28	43	110	134	2,103	115	843	93	759

（1）『新たなプロモーション』で和歌山へ招く

世界的旅行ガイドブック「ロンリープラネット」が、その年の最も旬な旅行先を紹介する「Best in Travel 2021」のサステナビリティ（持続可能性）部門において、読者投票により世界で唯一「和歌山」が選出されました。また、令和3年10月には世界的に著名な飲食店ガイドブック「ミシュランガイド」に初めて本県の飲食店が掲載されるなど、海外との往来が制限される現状においても、本県の観光資源は依然として高い評価を受けています。

様々な機関が実施した調査においても、コロナ収束後に訪れたい国として日本は常に上位にあり、訪日旅行再開への高い期待がみられることから、一日も早いコロナ収束とそれに伴うインバウンドの回復が待たれるところです。

県では、こういった情勢を踏まえ、将来期待できる外国人観光客の旅行意欲の維持・増進を図るとともに、インバウンド再開時には、多くの外国人観光客に訪問してもらい、さらに県内滞在日数のより一層の増加を図るため、世界に向けた情報発信をより強化します。また、今後、海外との往来制限が解除された国・地域から本格的な海外プロモーションを再開します。

◇外国人個人観光客対策の強化（関西広域で連携した周遊観光ルートの提案、首都圏からのプラスワントリップ推進など）

コロナ収束後には、以前にも増して外国人観光客の旅行形態が個人旅行化することが予想されます。外国人個人観光客が集中する京都・大阪から紀伊半島へのプラスワントリップの推進を目指し、関西観光本部や近隣府県との連携により、広域周遊ルートを海外旅行会社やメディアに対して提案していきます。

また、航空機や鉄道、高速バスなど多様な移動手段を利用した首都圏から県南部エリアへの観光モデルルートを策定し、東京都・東京観光財団やJR東海との連携により大手海外メディアを通じたグローバル・メディアキャンペーンを展開します。

◇ポストコロナに対応したアウトドア観光の推進、国立公園・南紀熊野ジオパークと連携した誘客促進

ポストコロナにおいては、「安全・安心」はもとより「屋外型（アウトドア）」や「サステナブル（持続可能）であること」、「非接触型」の観光サービスなど新たな生活様式に沿った旅行ニーズが高まることが予期されます。

和歌山県が誇る海・山・川の大自然を背景に、国立公園・南紀熊野ジオパーク関係

者との連携もより強化し、アドベンチャーツーリズムやガーデンツーリズム、ウェルネスツーリズムなどアウトドアを意識したテーマにより情報発信や旅行会社への働きかけを行います。

◇**ミシュランガイド初掲載を契機としたガストロノミーツーリズムの推進** =New=

ガストロノミーツーリズムとは、「その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、その土地の食文化に触れることを目的としたツーリズム」であり、地域の伝統や多様性をサポートするだけでなく、文化の発信、地方経済の発展、持続可能な観光の実現等にも資するものと定義されています。

3年10月、世界的に著名な飲食店ガイドブックを発行するミシュラン社により発表された「ミシュランガイド京都・大阪+和歌山2022」において和歌山県内の飲食店が初めて紹介されました。ミシュラン社とのタイアップによりこれまで同社公式YouTubeサイトでの告知動画制作や和歌山県特別冊子の制作、英語版特設ウェブサイトの開設などを実施するとともに、国内外のメディアを通じて情報発信に取り組んできました。

4年度はガストロノミーツーリズムとしてより取組を強化し、県内各地域の観光資源や歴史と絡めた食文化のストーリーや実際に観光客が体験できるプログラムを紹介し、和歌山に旅したいと思わせるような「食」の情報発信に取り組めます。

◇**サステイナブルツーリズムの推進** =New=

近年、「サステイナブル（持続可能）」であることは、観光客が旅行先を検討するうえで重要な要素になってきており、国連世界観光機関（UNWTO）による「持続可能な観光マネジメントのための国際基準（GSTC Destination Criteria）」や日本の観光庁による「日本版持続可能な観光ガイドライン」の策定や取組などの動きも顕著で、これからの大きなトレンドになると考えられます。

本県には、世界的に知名度が向上してきた熊野や高野山だけでなく、和歌の浦、白浜温泉、西国三十三所巡りなど古くからの観光地（昔でいう参詣地）が多くあり、日本における観光旅行のルーツは本県が位置する紀伊半島にこそあると言えます。千年以上経った現在においても、観光地として持続可能な形で維持されていること自体がサステイナブルであるといえ、サステイナブルな観点からこういったコンテンツを取り入れた情報発信を強化します。

2021 実績

◇関西広域連合における広域観光振興の取組

<時 期> 通年

<内 容> 2020年ドバイ国際博覧会における観光プロモーション（PR動画作成、PRブース出展、伝統産業品提供等）、国内在住外国人向け英字情報誌「Kansai Weekender」発行、在外公館における天皇誕生日祝賀レセプションにおける情報発信など関西広域連合としての取組を促進するとともに、関西が一丸となって取り組む国際観光振興及び文化振興の戦略「第2期関西観光・文化振興計画」を策定

◇関西観光本部との連携事業

<時 期> 通年

<内 容> 国内向け観光ウェブサイト「Premium 関西」へのコンテンツ掲載、東南アジア市場を対象としたランドオペレーターFAMトリップ、オンライン商談会（台湾、中国）、メディアを活用した情報発信など広域周遊観光の取組を行うとともに、広域観光推進のための「関西ツーリズムブランドデザイン 2025」を策定

○台湾 新光三越百貨店「日本商品展」（台北市）

<時 期> 10月21日～11月7日

<内 容> 関西観光本部が出展する関西観光特展ブースに参加し、観光情報を発信

○台湾 台湾大商談会（オンライン）

<時 期> 4年1月11～18日

<内 容> 関西観光本部が主催するオンライン商談会に参加し、観光情報を発信（県内事業者1社参加）

○中国 中国大商談会（オンライン）

<時 期> 4年3月4～11日

<内 容> 関西観光本部が主催するオンライン商談会に参加し、観光情報を発信

○関西観光本部 プラスワン紀伊半島 首都圏ランドオペレーター招聘ファム

<時 期> 7月7～9日

<場 所> 白浜町、みなべ町、串本町、那智勝浦町、新宮市、田辺市

<内 容> 関西観光本部との共催で、首都圏のランドオペレーター13社15人を招聘し、県内の観光地の視察及び県内観光事業者との商談会を実施

◇関西空港利用促進協議会との連携事業

<時 期> 通年

<内 容> 関西国際空港を利用する旅行者に対し、到着ロビーに設置する観光案内所において観光情報を提供

◇東京都・東京観光財団・JR東海との連携事業

○CNN（東京都・東京観光財団との連携事業）

<時 期> 10月21～22日（取材）、4年2月～（情報発信）

<場 所> 田辺市、那智勝浦町、串本町

<内 容> 和歌山県と東京都の周遊促進を目的として、周遊ルートを紹介する記事制作のための取材を実施後、制作した記事を掲載した特設キャンペーンサイト開設して情報発信

○BBC（東京都・東京観光財団との連携事業）

<時 期> 10月28～29日（取材）、4年2月～（情報発信）

<場 所> 高野町、新宮市、那智勝浦町

<内 容> 和歌山県と東京都の周遊促進を目的として、周遊ルートを紹介する記事制作のための取材を実施後、制作した記事を掲載した特設キャンペーンサイト開設して情報発信

○JR東海神秘の紀伊半島プロモーション事業

- <時 期> 7月13～14日
- <場 所> 湯浅町、田辺市
- <内 容> JR東海がインバウンド向けに販売する紀伊半島周遊切符を活用したプロモーション事業に係る視察を支援

○神秘の紀伊半島連携事業

- <時 期> 10月29～11月3日
- <場 所> 湯浅町、田辺市、新宮市、和歌山市
- <内 容> JR東海との連携で、紀伊半島周遊パスを活用した周遊ルートを紹介するために、台湾人インフルエンサー2人を招聘し、取材を実施

◇近隣府県との連携事業

○四国遍路・高野山をフックとした欧州向け誘客拡大事業

- <時 期> 11月8～9日（取材）、4年1月～（情報発信）
- <場 所> 九度山町、かつらぎ町、高野町
- <内 容> 四国運輸局、徳島県、香川県観光協会と共同で、四国遍路と高野山との周遊観光を促進するため、外国人ライター2人（フランス、ドイツ）を招聘して、取材を実施し、記事を制作して情報発信

○巡礼の道を核とするプロモーション事業

- <時 期> 12月15～16日（取材）、4年2月～（情報発信）
- <場 所> 九度山町、かつらぎ町、高野町
- <内 容> 近畿運輸局、奈良県と共同で、巡礼の道を核とした広域周遊観光を促進するため、外国人ライター1人を招聘し、英国及びフランスを対象市場とする取材を実施し、記事を制作して情報発信

◇アウトドア観光の推進、国立公園・南紀熊野ジオパークと連携した誘客促進

※海外への情報発信や旅行会社ファムツアー、メディア取材支援時の行程・プログラムに組み入れ。157頁「海外26か国・地域から和歌山へ招く」に記載

◇ミシュランガイド初掲載を契機としたガストロノミーツーリズムの推進

※海外への情報発信や旅行会社ファムツアー、メディア取材支援時の行程・プログラムに組み入れ。157頁「海外26か国・地域から和歌山へ招く」に記載

◇サステイナブルツーリズムの推進

※海外への情報発信や旅行会社ファムツアー、メディア取材支援時の行程・プログラムに組み入れ。157頁「海外26か国・地域から和歌山へ招く」に記載

(2) 『海外26か国・地域』から和歌山へ招く

I アジア

2019年までの本県の外国人宿泊者数は、約6割のシェアをアジアからの観光客が占めていました。中でも、東アジア4市場（中国、香港、台湾、韓国）については58.5%と最大のシェアを誇っていたことから、県ではこれまで最重要市場として位置づけプロモーションに取り組んできました。

海外との往来が制限されている現状においては、メディアやWEBサイト・SNSを通じた情報発信を継続しつつ、主要6市場（中国、香港、台湾、韓国、タイ、インドネシア）に設置する観光プロモーターを活用した現地旅行博覧会・商談会への出展や旅行会社へのセールス活動、オンライン商談会を実施するとともに、今後、往来制限が解除された国・地域から重点的に海外プロモーションを展開します。

ターゲット市場（アジア）13市場

東アジア：中国、香港、台湾、韓国

東南アジア：タイ、シンガポール、インドネシア、マレーシア、ベトナム、フィリピン

その他：インド、トルコ、ドバイ

アジア市場においては、これまで団体型ツアーを想定した取組に一定の重点を置いて取り組んできました。ポストコロナにおいては、以前にも増して個人旅行化や小グループ化が進み、小規模分散型の旅行が中心になることが予想されます。各種メディアやインフルエンサーの活用に加え、デジタル化の一層の推進を踏まえて、多言語WEBサイトやSNSによる情報発信をより強化するとともに、富裕層の旅行やカスタマイズツアーを取り扱う旅行会社やOTA（オンライン・トラベル・エージェント）をターゲットとしたセールス活動を展開します。

今後、求められるコンテンツとしては、「安全・安心」や「健康」、「アウトドア」、「サステナビリティ（持続可能性）」がキーワードになることが予想されます。本県における感染症対策の取組を紹介するとともに、世界遺産の参詣道や国立公園・ジオパークなど豊かな自然を生かした体験プログラム、「食」をテーマにしたガストロノミー・ツーリズム、健康づくりをテーマとしたウェルネスツーリズム、ガーデンツーリズムなどを積極的に提案します。

II 欧米豪

欧米豪市場については、これまで高野山から熊野への周遊観光を積極的に提案してきたこともあり、2019年には世界遺産エリアを訪問する観光客が大幅に増加し、全県でも全体の3分の1以上のシェアを占めるに至りました。

海外との往来が制限されている現状においては、メディアやWEBサイト・SNSを通じた情報発信にこれまで以上に取り組むとともに、今後、往来制限が解除された国・地域から重点的に海外プロモーションを再開します。

ターゲット市場（欧米豪）13市場

欧 州：フランス、ドイツ、英国、スペイン、イタリア、ロシア

北・中南米：米国、カナダ、メキシコ、ブラジル、アルゼンチン

オセアニア：オーストラリア、ニュージーランド

欧米豪市場においては、従来から個人観光客が中心であったことから、各種メディアを通じた情報発信に重点を置いて取り組んできました。ポストコロナにおいては、アジア市場と同様に以前にも増して個人旅行化や小グループ化が進み、小規模分散型の旅行が中心になることが予想されます。各種メディアやインフルエンサーの活用に加え、デジタル化の一層の推進を踏まえて、多言語WEBサイトやSNSによる情報発信をより強化するとともに、富裕層やカスタマイズツアーを取り扱う旅行会社やOTA（オンライン・トラベル・エージェント）をターゲットとしたセールス活動を展開します。

欧米豪市場では、観光地が「サステイナブル（持続可能）」であることを重視する傾向が顕著になっています。古くから維持されてきた観光地（参詣地）であり、従来から高い評価を得ている熊野や高野山の世界遺産エリアのより重点的な情報発信に加え、国立公園・ジオパークなど豊かな自然を生かした体験プログラム、日本庭園など文化的コンテンツを重視したガーデンツーリズム、「食」をテーマにしたガストロノミーツーリズムに新しく取り組みます。

欧米豪市場からの観光客は、比較的長く日本国内に滞在し、各地を周遊する傾向があることから、関西観光本部や近隣府県、首都圏との連携をより一層強化し、周遊観光ルートの情報発信に取り組めます。

2021実績

◇海外26か国・地域をターゲットとした誘客プロモーション

○台湾 観光オンラインセミナー

<時 期> 6月9日

<内 容> 国立暨南（きなん）国際大学の学生、台湾中部旅行社などに対し、観光・教育旅行情報を発信

○香港ブックフェア

<時 期> 7月14～20日

<内 容> 香港最大級の書籍見本市である香港ブックフェアのジャパンパビリオンにおいて、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）

○中国 日本の夏祭り「Japanese Summer Festival」（上海市）

<時 期> 7月29日

<内 容> 上海市内で開催された日本夏祭りイベントに出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）

○インド市場向けオンライン和歌山観光セミナー

<時 期> 8月18日

<内 容> インド向けツアー商品を取り扱うTAS社と共催で、インド6都市の旅行会社を対象に、和歌山県の観光地を紹介するオンラインセミナーを開催

- 台湾向け教育旅行オンラインセミナー
 - <時 期> 8月20日
 - <内 容> 台北市内小中学校41校の教育旅行担当者に対し、観光・教育旅行情報を発信
- 中国 四川省国際観光交易博覧会（成都市）
 - <時 期> 9月2～5日
 - <内 容> 四川省政府が主催する旅行博覧会に出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）
- 中国 現地旅行社へのオンラインセールス（成都市）
 - <時 期> 9月6日
 - <内 容> 四川省成都市内の現地旅行社にオンラインセールスを実施
- 韓国 日韓交流おまつり2021 in Seoul
 - <時 期> 9月5日
 - <内 容> 日韓交流イベントのオンラインブースに参加し、観光情報を発信
- 中国 広東国際旅游産業博覧会 2021（広州市）
 - <時 期> 9月10～12日
 - <内 容> 旅行博覧会に出展し、観光情報を発信する（観光プロモーターによる出展）
- 中国現地旅行社へのオンラインセールス（広州市）
 - <時 期> 9月13日
 - <内 容> 広東省広州市内の最大手旅行社にオンラインセールスを実施
- タイ現地旅行社へのオンラインセールス（バンコク）
 - <時 期> 9月30日
 - <内 容> バンコク市内の現地旅行社にオンラインセールスを実施
- 台湾 観光・教育旅行オンラインセミナー
 - <時 期> 10月4日
 - <内 容> 台湾現地旅行社（3社）に対し、観光・教育旅行情報を発信
- 台湾 新光三越百貨店「日本商品展」（台北市）
 - <時 期> 10月21日～11月7日
 - <内 容> 関西観光本部が出展する関西観光特展ブースに参加し、観光情報を発信
- 中国 日本物産カーニバル（上海市）
 - <時 期> 10月31日
 - <内 容> 上海市内で開催された日本物産カーニバルイベントに出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）
- 台湾 台北国際旅行博（台北市）
 - <時 期> 11月5～8日
 - <内 容> 旅行博覧会に出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによるブース及びJR東海との連携によるブースを出展）
- スペイン サンティアゴ巡礼路フォーラム「Fairway 2021」（サンティアゴ・デ・コンポステーラ市）
 - <時 期> 11月7～9日

- <内 容> 熊野古道と姉妹道関係にあるサンティアゴ巡礼路のフォーラムにブースを出展し、熊野古道の情報を発信
- 中国 日本旅行の魅力-2021年華南エリア展（仏山市）
 - <時 期> 11月20～21日
 - <内 容> JNT0が主催する旅行博覧会に出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）
- 中国 現地旅行社へのオンラインセールス（広東省）
 - <時 期> 11月25日
 - <内 容> 広東省内の現地旅行社にオンラインセールスを実施
- 台湾 台湾大商談会（オンライン）
 - <時 期> 4年1月11～18日
 - <内 容> 関西観光本部が主催するオンライン商談会に参加し、観光情報を発信（県内事業者1社参加）
- タイ 現地旅行社とのオンライン商談会
 - <時 期> 4年2月9日
 - <場 所> オンライン
 - <内 容> 県内事業者を対象に、タイ現地旅行社とのオンライン商談会を実施
- 台湾 現地旅行社とのオンライン商談会
 - <時 期> 4年2月17、18、22、24日
 - <内 容> 県内事業者を対象に、台湾現地旅行社（4社）とのオンライン商談会を実施
- 英国 JNT0 ロンドン事務所「熊野古道+東京ウェビナー」
 - <時 期> 4年2月23日
 - <内 容> JNT0 ロンドン事務所が開催した英国旅行社向けウェビナーに参加し、熊野古道を紹介
- 中国 JNT0 伝統文化プロモーション事業 南京イベント（南京市）
 - <時 期> 4年2月26日
 - <内 容> JNT0が主催する日本紹介イベントに出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）
- 台湾 屏東日本友好感謝祭（屏東市）
 - <時 期> 4年2月26～28日
 - <内 容> 屏東市が主催する日本紹介イベントに出展し、観光情報を発信
- 中国 中国大商談会（オンライン）
 - <時 期> 4年3月4～11日
 - <内 容> 関西観光本部が主催するオンライン商談会に参加し、観光情報を発信
- スペイン 在スペイン日本国大使館 天皇誕生日祝賀レセプション（マドリッド市）
 - <時 期> 4年3月16日
 - <内 容> 姉妹関係にあるガリシア州政府とともに、日本国大使館主催レセプションに参加し、熊野古道とサンティアゴ巡礼道の姉妹道交流のPRブースを出展
- 台湾 台北国際春季旅展（台北市）

<時 期> 3月25～28日
<内 容> 旅行博覧会に出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）

○中国 オンライン商談会

<時 期> 4年3月29～30日
<内 容> 中国4都市（上海市、山東省、四川省、広東省）の現地旅行会社と県内観光事業者によるオンライン商談会を開催

◇旅行会社等による視察を支援

○台湾向けオンラインツアー

<時 期> 5月16日
<場 所> 高野町
<内 容> クオニイツムラーレ・ジャパンが台湾向けに実施した宿坊体験を紹介するオンラインツアーを支援

○関西観光本部 プラスワン紀伊半島 首都圏ランドオペレーター招聘ファム

<時 期> 7月7～9日
<場 所> 白浜町、みなべ町、串本町、那智勝浦町、新宮市、田辺市
<内 容> 関西観光本部との共催で、首都圏のランドオペレーター13社15人を招聘し、県内の観光地の視察及び県内観光事業者との商談会を実施

○JR東海 神秘の紀伊半島プロモーション事業

<時 期> 7月13～14日
<場 所> 湯浅町、田辺市
<内 容> JR東海がインバウンド向けに販売する紀伊半島周遊切符を活用したプロモーション事業に係る視察を支援

○香港系旅行会社「日日遊」

<時 期> 10月10～13日
<場 所> 那智勝浦町、新宮市、田辺市、高野町、和歌山市
<内 容> 在京の香港系旅行会社「日日遊」を招聘し、トレッキングツアーの造成を目的とした視察を支援

○HISモニターツアー

<時 期> 11月6～7日
<場 所> 和歌山市、日高町、那智勝浦町、白浜町
<内 容> 日高町商工会と連携し、ベトナム向けのモニターツアー及び情報発信のための撮影を支援

○台湾・香港向け旅行会社「株トヨワ」

<時 期> 11月9～11日
<場 所> 田辺市、那智勝浦町、新宮市
<内 容> 在阪の台湾・香港向け旅行会社「株トヨワ」を招聘し、熊野古道ツアーの造成を目的とした視察を支援

○アドベンチャーツーリズム事業（旅行エージェント招聘）

<時 期> 11月15～19日
<場 所> 田辺市、新宮市、那智勝浦町、十津川村

<内 容> 近畿運輸局と共同で実施する紀伊半島ロングトレイル事業として、旅行会社2社を招聘し、視察を支援

○アドベンチャーツーリズム事業（旅行エージェント招聘）

<時 期> 11月25～27日

<場 所> 九度山町、かつらぎ町、高野町、野迫川村

<内 容> 近畿運輸局と共同で実施する紀伊半島ロングトレイル事業として、旅行会社2社を招聘し、視察を支援

○外航クルーズ船誘致

<時 期> 4年3月25～27日

<場 所> 和歌山市、高野町、田辺市、那智勝浦町、白浜町

<内 容> 県港湾空港振興課との連携により海外クルーズ船社2社を招聘し、視察を支援

◇メディアによる取材を支援

○ミシュランガイドブック 写真撮影

<時 期> 4月7日

<場 所> 白浜町

<内 容> ミシュランガイドブック「京都・大阪+和歌山」制作に伴う写真撮影を支援

○ミシュラン公式ユーチューブ（アジアチャンネル）動画撮影

<時 期> 4月13～15日

<場 所> 新宮市、那智勝浦町、みなべ町、日高町、海南市、湯浅町、和歌山市、高野町

<内 容> ミシュラン社がアジア地域の食文化を紹介する公式チャンネル動画の撮影を支援

○Bunny Tokyo

<時 期> 7月7～9日

<場 所> 高野町、那智勝浦町、田辺市

<内 容> 東京在住のスペイン人インフルエンサーによる取材を支援

○香港テレビ局TVB

<時 期> 7月30日～8月1日

<場 所> 和歌山市、白浜町、かつらぎ町

<内 容> 香港最大手地上波テレビ局TVBの旅行番組「#日本が懐かしい」の撮影を支援

○訪日外国人向け観光情報メディア「Japan Travel」、ドイツ人語の日本情報発信サイト「Japan Digest」

<時 期> 8月4～5日

<場 所> 那智勝浦町

<内 容> 田辺市在住和歌山通訳案内士兼フリーランスライターAlena Eckelmann氏による「お寺ステイ×アドベンチャー・アウトドアトラベル」の取材を支援

- 大阪在住中国人インフルエンサー劉崢氏
 - <時 期> 10月26日
 - <場 所> 高野町、紀美野町
 - <内 容> 県内観光地におけるライブ配信や、Weibo 等中国系SNSに掲載する写真・記事コンテンツ制作のための取材を支援
- 東京在住スロバキア人コンテンツクリエイター兼インフルエンサーEllie Fox氏
 - <時 期> 10月26日～28日
 - <場 所> 高野町、田辺市、那智勝浦町
 - <内 容> Instagram (Tokyo Explores, Japan gem, Ellie Fox)とYouTubeに掲載する、高野山と熊野を紹介する写真・動画コンテンツ制作のための取材を支援
- 東京在住米国人コンテンツクリエイターペア Kathryn Bagley氏 & Alex Thomas氏
 - <時 期> 11月3日～9日
 - <場 所> 和歌山市、海南市、かつらぎ町、九度山町、高野町、すさみ町、白浜町、湯浅町
 - <内 容> 両氏のInstagramと海外の複数メディアに掲載する、写真・記事コンテンツ制作のための取材を支援
- JR東海エージェンシー観光情報サイト「Journal-ONE」
 - <時 期> 11月18日～19日
 - <場 所> 高野町
 - <内 容> 同社が新たに開設する観光情報サイトに掲載する、高野山を紹介する記事コンテンツ制作のための取材を支援
- JNTO 中国市場向けバーチャルライブツアー
 - <時 期> 11月18～19日
 - <場 所> 和歌山市、田辺市、那智勝浦町
 - <内 容> 中国Eコマース大手アリババグループのプラットフォームを活用したJNTOによる観光プロモーション「バーチャルライブツアー」の撮影を支援
- 大阪在住中国人インフルエンサー劉崢氏
 - <時 期> 11月26日
 - <場 所> 和歌山市
 - <内 容> 県内観光地におけるライブ配信や、Weibo 等中国系SNSに掲載する写真・記事コンテンツ制作のための取材を支援
- 大阪在住中国人インフルエンサー劉崢氏
 - <時 期> 11月29日
 - <場 所> 和歌山市
 - <内 容> 県内観光地におけるライブ配信や、Weibo 等中国系SNSに掲載する写真・記事コンテンツ制作のための取材を支援
- シンガポール レストラン情報誌「Cuisine&Wine Asia」
 - <時 期> 4年1月14～15日
 - <場 所> 和歌山市、湯浅町、高野町

<内 容> アジア圏における著名レストラン情報誌に寄稿するフードジャーナリストを招聘し、食文化をテーマとした取材を支援

○日本情報発信サイト「Sugoi Japan」、フランスのTV局ブログサイト「TV5MONDE」

<時 期> 4年1月18日～21日

<場 所> 高野町、田辺市、新宮市、那智勝浦町

<内 容> 英語の日本情報発信サイトと、フランス語のTV局ブログサイトに掲載する、高野山と熊野を紹介する記事制作のための取材を支援

○大阪在住中国人家族インフルエンサー

<時 期> 4年2月24～25日

<場 所> 和歌山市、みなべ町、串本町、那智勝浦町、白浜町

<内 容> 中国最大手IT企業アリババの企画により来県したインフルエンサーの取材を支援

○フランス地上波放送局「TF1」

<時 期> 4年2月25日～26日

<場 所> 高野町、那智勝浦町

<内 容> フランスの地上波放送局TF1が放映する、常時視聴率が20%を記録する国民的ニュース番組JT20（20時のニュース）内で放映予定の、高野山と那智を紹介する動画撮影のための取材を支援

◇海外メディアでの露出強化

○ガーデンツーリズムPR用素材制作

<時 期> 3月下旬～7月、10月～4年3月

<撮影地> 和歌山市、岩出市、紀の川市、高野町

<内 容> ガーデンツーリズムのPR用素材を制作するため、プロフォトグラファーによる庭園及び周辺観光スポット等の写真撮影を実施

○香港 旅行情報メディア「Go!Japan」ほか

<時 期> 5～8月

<内 容> 香港の大手訪日情報メディア「Go!Japan」「Japan Walker HK」「Travelbag」の公式ページにおいて、県内観光資源を紹介する記事を掲載

○香港 訪日旅行系インフルエンサー「沙米」

<時 期> 6～8月

<内 容> 香港の訪日旅行系インフルエンサーである沙米のFacebook ページ「沙米旅日手帖」において、県内観光資源を紹介する記事を掲載

○香港 旅行情報メディア「U-magazine」

<時 期> 8月27日

<内 容> 香港の大手旅行雑誌「U-magazine」において、県内観光資源を紹介する記事を掲載

○CNN（東京都・東京観光財団との連携事業）

<時 期> 10月21～22日（取材）、4年2月～（情報発信）

<場 所> 田辺市、那智勝浦町、串本町

<内 容> 和歌山県と東京都の周遊促進を目的として、周遊ルートを紹介する記事

制作のための取材を実施後、制作した記事を掲載した特設キャンペーン
サイト開設して情報発信

○BBC（東京都・東京観光財団との連携事業）

<時期> 10月28～29日（取材）、4年2月～（情報発信）

<場所> 高野町、新宮市、那智勝浦町

<内容> 和歌山県と東京都の周遊促進を目的として、周遊ルートを紹介する記事
制作のための取材を実施後、制作した記事を掲載した特設キャンペーン
サイト開設して情報発信

○神秘の紀伊半島連携事業

<時期> 10月29～11月3日

<場所> 湯浅町、田辺市、新宮市、和歌山市

<内容> JR東海との連携で、紀伊半島周遊パスを活用した周遊ルートを紹介す
るために、台湾人インフルエンサー2人を招聘し、取材を実施

○四国遍路・高野山をフックとした欧州向け誘客拡大事業

<時期> 11月8～9日（取材）、4年1月～（情報発信）

<場所> 九度山町、かつらぎ町、高野町

<内容> 四国運輸局、徳島県、香川県観光協会と共同で、四国遍路と高野山との
周遊観光を促進するため、外国人ライター2人（フランス、ドイツ）を
招聘して、取材を実施し、記事を制作して情報発信

○巡礼の道を核とするプロモーション事業

<時期> 12月15～16日（取材）、4年2月～（情報発信）

<場所> 九度山町、かつらぎ町、高野町

<内容> 近畿運輸局、奈良県と共同で、巡礼の道を核とした広域周遊観光を促進
するため、外国人ライター1人を招聘し、英国及びフランスを対象市場
とする取材を実施し、記事を制作して情報発信

○BBC食文化発信事業

<時期> 4年2月（取材）、3月～（情報発信）

<場所> 湯浅町、みなべ町、那智勝浦町

<内容> 和歌山の観光地を巡りながら食文化体験も楽しむ旅を紹介する記事を、
関係者へのインタビューをもとに制作して情報発信

○大阪在住中国人インフルエンサー

<時期> 4年3月28日

<場所> 和歌山市

<内容> 中国航空会社「吉祥航空」の関西空港就航8周年記念イベントにおいて、
大阪在住のインフルエンサー「大阪阿姨」が本県を紹介するとともに、
Weibo等中国系SNSに記事掲載するにあたりコンテンツ制作のための
取材を支援

◇その他実施事業

○ミシュランガイドブック 知事表敬訪問、記者会見

<時期> 4月8日

<場 所> 県庁

<内 容> ミシュランガイドブック「京都・大阪+和歌山」の制作発表に合わせて、ミシュランマンと日本ミシュランタイヤ(株)の本城執行役員が知事を表敬訪問、記者会見開催

○インバウンド誘致協議会

<時 期> 7月2日

<視察先> 那智勝浦町

<内 容> 協議会に参加する県内及び三重県の観光事業者に対して県のインバウンド施策を説明するとともに、意見交換を実施。オブザーバー参加の関西観光本部及び三重県観光局が参加

○和歌山大学観光学部 Sustainable Destination Management プログラム

<時 期> 7月10～11日（フィールドワーク）、8月11日（グループ発表会）

<視察先> 和歌山市

<内 容> 和歌山大学観光学部が、持続可能なデスティネーション運営の基礎を学ぶことを目的に和歌浦地域で実施した講座のフィールドワーク支援及び参加学生向けに講義を実施

○高野山の庭園視察

<時 期> 7月16～17日

<視察先> 高野町

<内 容> ガーデンツーリズムの推進に際して、日本庭園の研究者（和歌山県ガーデンツーリズム推進協議会アドバイザー）による金剛峯寺及び宿坊の庭園の視察を支援

○熊野古道小辺路視察

<時 期> 7月29～30日

<視察先> 高野町、野迫川村、十津川村、田辺市

<内 容> 近畿運輸局及び(株)リベルタ（受託事業者）と共同で実施するロングトレイルツアーの商品開発にあたり、小辺路ルート上の宿泊施設の調査及び関係機関との意見交換を実施

○国土交通大臣による視察及び観光関係者との意見交換会

<時 期> 9月24～25日

<視察先> 白浜町、美浜町、田辺市

<内 容> 赤羽一嘉国土交通大臣による県内観光地等視察、関係市町及び観光関係者との意見交換会を実施・

○ガーデンツーリズム観光パンフレット「わかやま庭園回遊」発行

<時 期> 10月

<内 容> 「紀州徳川家ゆかりの庭園」と「高野山の庭園」をテーマに、地域の観光スポットや食文化、体験プログラムを取り入れた周遊観光を促すための観光パンフレットを発行

○アドベンチャーツーリズム協議会（第1回）

<時 期> 10月11日

<視察先> 高野町（オンライン併用）

- <内 容> 近畿運輸局と共同で取り組む紀伊半島ロングトレイル事業について、関係市町村・DMO等の参加を得て、事業説明及び意見交換を実施
- 「ミシュランガイド京都・大阪+和歌山 2022」発行
 - <時 期> 10月21日
 - <内 容> 世界的に著名なガイドブック「ミシュランガイド」に初めて県内の飲食店（85件）を掲載、和歌山市内の書店において発売記念イベントを実施するとともに、ミシュラン公式英語サイトやプロモーション活動用の特別冊子を制作
- インバウンド誘致協議会
 - <時 期> 11月9日
 - <視察先> 白浜町
 - <内 容> 協議会に参加する県内及び三重県の観光事業者に対して県のインバウンド施策を説明するとともに、意見交換を実施。
- 関西地域文化フェア
 - <時 期> 11月21日
 - <場 所> 京都市
 - <内 容> 文化庁京都移転1年前イベントとして開催されたフェアにPRブースを出展し、県内の観光スポットとミシュランガイド掲載を紹介
- 文藝春秋「CREA Traveller」
 - <時 期> 11月23～26日
 - <場 所> 田辺市、上富田町、白浜町、湯浅町、和歌山市、岩出市
 - <内 容> 「美味養生、紀州旅」ミシュラン和歌山というテーマで、同誌の2～3月号記事制作のためにミシュランガイド掲載店と周辺の観光地を取材
- ライフスタイル情報誌「一個人」
 - <時 期> 11月30～12月1日
 - <場 所> 和歌山市、田辺市
 - <内 容> 「和歌山ビブグルマンの旅食」というテーマで、同誌の新春号記事制作のためにミシュランガイド掲載2店と周辺の観光地を取材
- フードジャーナリスト向け説明会
 - <時 期> 12月3日
 - <場 所> 東京
 - <内 容> ミシュランガイド初掲載を契機として、首都圏在住のフードジャーナリストを対象に、和歌山県の食文化及びガストロノミーツーリズムの取組を紹介
- 第2回日中観光代表者フォーラム
 - <時 期> 12月7日
 - <場 所> 東京（中国紹興市で行われた当該行事にオンラインで参加）
 - <内 容> 日中相互往来の拡大をテーマに、両国官民の観光関係代表者が観光交流・地方間交流等について意見交換を実施する当該フォーラムに参加
- アドベンチャーツーリズム・コーディネーター育成研修（第1回・第2回）
 - <時 期> 12月13～14日

<場 所> 田辺市（オンライン併用）

<内 容> 近畿運輸局と共同で取り組む紀伊半島ロングトレイル事業の一環として、事業対象地域の関係市町村・DMO等のコーディネーター候補を対象に「受け入れ体制」「ガイド」「情報発信」をテーマに研修会を開催

○アドベンチャーツーリズム・海外OTAセミナー及び商談会、旅中コンテンツ磨き上げ

<時 期> 12月21日～4年1月下旬

<内 容> 近畿運輸局と共同で取り組む紀伊半島ロングトレイル事業の一環として、事業対象地域の関係市町村・DMO・観光事業者を対象に、「海外OTAの活用」をテーマとしたオンラインセミナー及び海外OTA3社とのオンライン商談会を開催するとともに、事業対象地域毎に推薦のあった旅中コンテンツの磨き上げ事業を実施

○アドベンチャーツーリズム協議会（第2回）

<時 期> 12月22日

<視察先> 田辺市（オンライン併用）

<内 容> 近畿運輸局と共同で取り組む紀伊半島ロングトレイル事業について、関係市町村・DMO等の参加を得て、事業の進捗報告及び意見交換を実施

○アドベンチャーツーリズム・コーディネーター育成研修（第3回・第4回）

<時 期> 4年1月18～19日

<場 所> 田辺市（オンライン併用）

<内 容> 近畿運輸局と共同で取り組む紀伊半島ロングトレイル事業の一環として、事業対象地域の関係市町村・DMO等のコーディネーター候補を対象に、「ツアー商品の造成」「ファムトリップ」「安全管理」をテーマに研修会を開催

○アドベンチャーツーリズム協議会（第3回）

<時 期> 4年1月24日

<視察先> 新宮市（オンライン併用）

<内 容> 近畿運輸局と共同で取り組む紀伊半島ロングトレイル事業について、関係市町村・DMO等の参加を得て、事業の進捗報告及び意見交換を実施

○アドベンチャーツーリズム・コーディネーター育成研修（第5回・第6回）

<時 期> 4年1月24～25日

<場 所> 新宮市（オンライン併用）

<内 容> 近畿運輸局と共同で取り組む紀伊半島ロングトレイル事業の一環として、事業対象地域の関係市町村・DMO等のコーディネーター候補を対象に、「補助制度の活用」「マーケティング」「受入体制（熊野速玉大社前から高野坂までのフィールドワーク）」をテーマに研修会を開催

○国際MICEエキスポ・オンライン（IME2022）

<時 期> 4年2月16～17日

<内 容> 国内最大級のMICE商談会に参加し、海外市場の旅行会社と商談を実施

○ガーデンツーリズム計画登録決定

<時 期> 4年2月25日 プレス発表

<内 容> 県、関係市町、関係観光協会・DMOなどで構成する和歌山県ガーデン
ツーリズム推進協議会が作成したガーデンツーリズム計画「わかやま庭
園文化と歴史回遊」が、国土交通省が所管する庭園間交流連携促進計画
登録制度（ガーデンツーリズム登録制度）に登録決定（登録証の交付は
4年4月予定）

○VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2021 (VJTM2021)

<時 期> 4年3月1～3日

<内 容> 日本政府観光局（JNTO）主催オンライン商談会に参加し、国内外の旅行
会社との商談を実施

○和歌山県観光プロモーターによる市場説明会（録画配信）・個別相談会（オンライン）

<時 期> 4年3月4～10日

<内 容> 海外6市場に設置する観光プロモーターによる県内事業者向けの市場説
明会及び個別相談会を実施

○日本観光ショーケース

<時 期> 4年3月25～27日

<内 容> 国内最大級の旅行展示会に参加し、海外市場向けメディア等と商談を実
施

(3) 『ネットメディア展開』で和歌山へ招く

◇多言語観光WEBサイト・SNS等による情報発信

美しい写真や映像を多用した多言語観光WEBサイト「Visit Wakayama」（9言語対応）に加え、Facebook 及び Instagram の「Visit Wakayama」（英語）を活用して情報発信します。

また、アジア主要6市場（中国、香港、台湾、韓国、タイ、インドネシア）に設置している観光プロモーターを通じて各市場における主要SNSでの現地語による情報発信を行うことにより、将来回復が期待される外国人観光客のニーズの変化と市場毎の特殊事情にタイムリーかつ柔軟に対応します。

なお、海外プロモーション実施時には、WEBサイト「Visit Wakayama」と連動した多言語観光パンフレット（11言語対応）を活用し、効果的な情報発信を行います。
※各市場をターゲットにしたSNS

市場	SNS名
欧米豪 (英語)	Facebook「Visit Wakayama」
	Instagram「Visit Wakayama」
中国	Weibo（中国版 Twitter）
	WeChat（中国版 Facebook）
香港	Facebook「All about Wakayama・日本和歌山」 Instagram「All about Wakayama・日本和歌山」
台湾	Facebook「遊日盟族」 ※観光プロモーターが運営する訪日観光情報SNS ※県公式のFacebookを開設予定（予定：5月）
韓国	Instagram「go_wakayama」
タイ	Facebook「Wakayama Love Nature Land」
インドネシア	Facebook「Wakayama Tourism Indonesia」

◇グローバル・メディア等との共同キャンペーン

グローバルニュースネットワークであるCNNやBBC、世界的旅行ガイドブックであるロンリープラネットとの共同キャンペーンを展開します。

海外メディア（テレビ番組、旅行雑誌、ガイドブックなど）やインフルエンサー（ブログ、SNSなど）の招聘や取材支援を通じ、ストーリー性をもった情報発信や個人観光客の多様なニーズに対応したプロモーションを展開します。

ポストコロナにおける生活様式の変化に沿って、「安全・安心」「健康」「アウトドア」「サステナビリティ」といったキーワードを意識し、世界遺産の巡礼道や国立公園・ジオパークなど豊かな自然を生かした体験プログラム、健康づくりをテーマとしたウェルネスツーリズム、庭園など文化財を活用したガーデンツーリズム、「食」をテーマにしたガストロノミーツーリズムなどを積極的に情報発信します。

2021 実績

◇多言語観光WEBサイト「VISIT WAKAYAMA」

9言語（英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語繁体字・簡体字、韓国語、タイ語、インドネシア語）で運営する公式サイトで観光情報を発信
新規コンテンツとして、食文化の特集ページを開設するとともに、トップページのリニューアル及び検索機能の追加を行った。

◇多言語SNS「VISIT WAKAYAMA」

公式SNS (Facebook、Instagram) を活用して英語による観光情報を発信

◇観光プロモーターの活用

中国、香港、台湾、韓国、タイ及びインドネシアに設置している観光プロモーターが、現地語によりSNSにて情報発信

◇グローバルメディアとの共同キャンペーン

○ロンリープラネット公式ウェブサイトにおける和歌山県観光キャンペーン

<時期> 5～7月

<内容> ロンリープラネットが、その年の最も旬な旅行先を紹介するランキング「Best in Travel 2021」のサステナビリティ（持続可能性）部門において、読者投票により「和歌山」が世界で唯一選出。この機会を捉えて、和歌山県のサステナブルな観光地（熊野古道、西国三十三所巡り、高野山、白浜温泉、和歌の浦）を紹介する記事「Discover Japan's sustainable wonderland in Wakayama Prefecture」を同社の公式ウェブサイトで公開、各種メディア媒体においてキャンペーンを実施◇その他メディア取材支援・情報発信

○CNN（東京都・東京観光財団との連携事業）

<時期> 10月21～22日（取材）、4年2月～（情報発信）

<場所> 田辺市、那智勝浦町、串本町

<内容> 和歌山県と東京都の周遊促進を目的として、周遊ルートを紹介する記事制作のための取材を実施後、制作した記事を掲載した特設キャンペーンサイト開設して情報発信

○BBC（東京都・東京観光財団との連携事業）

<時期> 10月28～29日（取材）、4年2月～（情報発信）

<場所> 高野町、新宮市、那智勝浦町

<内容> 和歌山県と東京都の周遊促進を目的として、周遊ルートを紹介する記事制作のための取材を実施後、制作した記事を掲載した特設キャンペーンサイト開設して情報発信

○BBC食文化発信事業

<時期> 4年2月（取材）、3月～（情報発信）

<場所> 湯浅町、みなべ町、那智勝浦町

<内容> 和歌山の観光地を巡りながら食文化体験も楽しむ旅を紹介する記事を、関係者へのインタビューをもとに制作して情報発信

(4) 『テーマ別の取組』で和歌山へ招く

◇アドベンチャーツーリズム =New=

アドベンチャーツーリズムとは、「自然」、「アクティビティ」、「文化体験」の3要素のうち2つ以上で構成される旅行を指します。旅行を通じて自身の変化や視野の拡大、学び等を得ることを目的とし、特に米国をはじめとする欧米豪市場で人気が高いテーマで、旅行者それぞれの興味・関心に応じたテーマやストーリー性のある滞在プランなどその地域ならではの体験を求めていることが特徴です。

3年度は、近畿運輸局及び関係市町等との連携事業「世界遺産を活用した紀伊半島ロングトレイルツアー造成事業」として、ファムトリップや海外OTAとのオンライン商談会、コーディネーター育成研修、旅中コンテンツの磨き上げ事業に取り組みました。4年度においても、世界遺産地域を中心に自然と文化体験を同時に体感できるストーリー性のある体験コンテンツを情報発信やファムトリップに積極的に取り入れるなどアドベンチャーツーリズムの推進を図ります。

◇ガーデンツーリズム

4年2月、国土交通省都市局が所管するガーデンツーリズム計画に和歌山県ガーデンツーリズム協議会（事務局：観光交流課）として提出した計画「わかやま庭園文化と歴史回遊」が登録されることが発表されました（登録証交付は4年4月予定）。

ポストコロナを意識して、これまでは観光資源としてあまり注目されてこなかった庭園を中心に、周辺の観光地や食文化、体験プログラムなども取り入れたストーリー性のある周遊観光を国内外に向けて提案します。

和歌山県内には「紀州徳川家ゆかりの庭園」や「高野山の庭園」など世界に誇れる庭園文化があります。この2つを主要なテーマにして、関係市町・団体とで構成する協議会を軸に、多言語によるWEBサイト及びパンフレットの制作、国内外のメディアを通じた情報発信に取り組みます。

◇ガストロノミーツーリズムの推進 =New=

ガストロノミーツーリズムとは、「その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、その土地の食文化に触れることを目的としたツーリズム」であり、地域の伝統や多様性をサポートするだけでなく、文化の発信、地方経済の発展、持続可能な観光の実現等にも資するものと定義されています。

3年10月、世界的に著名な飲食店ガイドブックを発行するミシュラン社により発表された「ミシュランガイド京都・大阪+和歌山2022」において和歌山県内の飲食店が初めて紹介されました。ミシュラン社とのタイアップによりこれまで同社公式YouTubeサイトでの告知動画制作や和歌山県特別冊子の制作、英語版特設ウェブサイトの開設などを実施するとともに、国内外のメディアを通じて情報発信に取り組んできました。

今年度はガストロノミーツーリズムとしてより取組を強化し、県内各地域の観光資源や歴史と絡めた食文化のストーリー設定や実際に観光客が体験できるプログラム

を紹介し、和歌山に旅したいと思わせるような「食」の情報発信に取り組みます。

◇国立公園・ジオパーク

環境省は、平成28年より、国立公園の保護と利用の好循環による地域活性化を図ることを目的に「国立公園満喫プロジェクト等推進事業」に取り組んでいます。これまで県内の国立公園においても、外国人観光客の誘致を目的に、海外旅行会社のファムトリップやインフルエンサーを活用した情報発信に取り組んできました。

また、県南部に位置する「南紀熊野ジオパーク」は、平成26年に日本ジオパークに認定され、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けて各種取り組みを行っています。

本県は、自然に恵まれた豊かな地であり、世界的にも価値ある地形や地質を有するだけでなく、多種多様な動植物や自然崇拜を起源とする熊野信仰など、数多くの自然と文化を同時に体感できる地域です。ウィズコロナの時代において、こういった自然を満喫すると同時に、地域の文化ストーリーを体験できる上質なツーリズムは高い関心と呼ぶと考えられ、これまで以上に関係機関等との連携を通じて、情報発信を中心としたプロモーションに取り組みます。

◇サステナブルツーリズム =New=

近年、「サステナブル（持続可能）」であることは、観光客が旅行先を検討するうえで重要な要素になってきており、国連世界観光機関（UNWTO）による「持続可能な観光マネジメントのための国際基準（GSTC Destination Criteria）」や日本の観光庁による「日本版持続可能な観光ガイドライン」の策定や取組などの動きも顕著で、近年の大きなトレンドになっています。

本県には、世界的に知名度が向上してきた熊野や高野山だけでなく、和歌の浦、白浜温泉、西国三十三所巡りなど古くからの観光地（昔でいう参詣地）が多くあり、日本における観光旅行のルーツは本県が位置する紀伊半島にこそあると言えます。千年以上経った現在においても、観光地として持続可能な形で維持されていること自体がサステナブルであるといえ、サステナブルな観点からこういったコンテンツを取り入れた情報発信を強化します。

◇スポーツツーリズム

海外の旅行会社等にサイクリングやゴルフ等のレクリエーション活動を提案するとともに、コロナ収束後にはこれまで以上に増加が予想される外国人個人観光客をターゲットに情報発信を行うことで誘客を図ります。

特にサイクリングは、3年5月、千葉県銚子市から本県和歌山市加太港に至る延長約1,400kmの「太平洋岸自転車道」がナショナルサイクルルートに指定されました。また、各県内地域においてもレンタサイクルやサイクリストに優しい観光施設の整備などの取組が進んでおり、インバウンド再開に向けた新しい体験コンテンツとして積極的に情報発信を行います。

◇ウェルネスツーリズムの推進

外国人向けに人間ドックサービスを実施する県内の医療機関等との連携により、サイクリングやウォーキングなど健康づくりをテーマにした体験プログラムを積極的に取り入れたツアー商品の造成を図るなど特色あるウェルネスツーリズムを推進します。

◇レンタカー観光

レンタカー利用者向けの多言語ドライブマップ（英語、繁体字、韓国語）を活用し、公共交通機関の利用だけではアクセスが難しい地域を含めた周遊型の観光を海外旅行会社やメディアに提案します。

主なターゲット国：香港、台湾（左ハンドル）、韓国（左ハンドル）、タイ、シンガポール

◇その他インバウンド向け体験型観光

和歌山が誇る多彩なフルーツ狩りや大自然を背景としたサイクリング、カヌー、ダイビングなど和歌山ならではの体験型観光の魅力を提案することにより、外国人観光客の長期滞在・消費拡大を図ります。

◇インバウンド教育旅行の誘致 詳細 112 頁

◇外国クルーズ客船誘致による誘客促進

港湾行政を担当する県港湾空港局との連携により、訪日クルーズの客船運航会社等による視察への支援やWEBサイトによる情報発信を行います。

◇国際チャーター便による誘客促進

南紀白浜空港国際線ターミナル開設に伴い、空港路線誘致及び空港振興行政を担当する県港湾空港局や空港を運営する(株)南紀白浜エアポートと連携し、国際チャーター便を利用した外国人観光客の誘客に取り組みます。

<取組内容>

空港路線誘致の主要なターゲットである東アジア3市場（中国沿岸部、韓国、台湾）の旅行会社に対してツアー商品の造成を働きかける際に、海外から和歌山県南部にダイレクトにアクセス可能な南紀白浜空港へのチャーター便の利用を提案します。

2021 実績

◇アドベンチャーツーリズム

○熊野古道小辺路視察

<時期> 7月29～30日

<視察先> 高野町、野迫川村、十津川村、田辺市

<内容> 近畿運輸局及び(株)リベルタ（受託事業者）と共同で実施するロングトレイルツアーの商品開発にあたり、小辺路ルート上の宿泊施設の調査及び関係機関との意見交換を実施

○アドベンチャーツーリズム協議会（第1回）

<時期> 10月11日

<視察先> 高野町（オンライン併用）

<内容> 近畿運輸局と共同で取り組む紀伊半島ロングトレイル事業について、関係市町村・DMO等の参加を得て、事業説明及び意見交換を実施

○アドベンチャーツーリズム事業（旅行エージェント招聘）

<時期> 11月15～19日

<場所> 田辺市、新宮市、那智勝浦町、十津川村

- <内 容> 近畿運輸局と共同で実施する紀伊半島ロングトレイル事業として、旅行会社2社を招聘し、視察を支援
- アドベンチャーツーリズム事業（旅行エージェント招聘）
- <時 期> 11月25～27日
- <場 所> 九度山町、かつらぎ町、高野町、野迫川村
- <内 容> 近畿運輸局と共同で実施する紀伊半島ロングトレイル事業として、旅行会社2社を招聘し、視察を支援
- アドベンチャーツーリズム・コーディネーター育成研修（第1回・第2回）
- <時 期> 12月13～14日
- <場 所> 田辺市（オンライン併用）
- <内 容> 近畿運輸局と共同で取り組む紀伊半島ロングトレイル事業の一環として、事業対象地域の関係市町村・DMO等のコーディネーター候補を対象に、「受け入れ体制」「ガイド」「情報発信」をテーマに研修会を開催
- アドベンチャーツーリズム・海外OTAセミナー及び商談会、旅中コンテンツ磨き上げ
- <時 期> 12月21日～4年1月下旬
- <内 容> 近畿運輸局と共同で取り組む紀伊半島ロングトレイル事業の一環として、事業対象地域の関係市町村・DMO・観光事業者を対象に、「海外OTAの活用」をテーマとしたオンラインセミナー及び海外OTA3社とのオンライン商談会を開催するとともに、事業対象地域毎に推薦のあった旅中コンテンツの磨き上げ事業を実施
- アドベンチャーツーリズム協議会（第2回）
- <時 期> 12月22日
- <視察先> 田辺市（オンライン併用）
- <内 容> 近畿運輸局と共同で取り組む紀伊半島ロングトレイル事業について、関係市町村・DMO等の参加を得て、事業の進捗報告及び意見交換を実施
- アドベンチャーツーリズム・コーディネーター育成研修（第3回・第4回）
- <時 期> 4年1月18～19日
- <場 所> 田辺市（オンライン併用）
- <内 容> 近畿運輸局と共同で取り組む紀伊半島ロングトレイル事業の一環として、事業対象地域の関係市町村・DMO等のコーディネーター候補を対象に、「ツアー商品の造成」「ファムトリップ」「安全管理」をテーマに研修会を開催
- アドベンチャーツーリズム協議会（第3回）
- <時 期> 4年1月24日
- <視察先> 新宮市（オンライン併用）
- <内 容> 近畿運輸局と共同で取り組む紀伊半島ロングトレイル事業について、関係市町村・DMO等の参加を得て、事業の進捗報告及び意見交換を

実施

○アドベンチャーツーリズム・コーディネーター育成研修（第5回・第6回）

＜時 期＞ 4年1月24～25日

＜場 所＞ 新宮市（オンライン併用）

＜内 容＞ 近畿運輸局と共同で取り組む紀伊半島ロングトレイル事業の一環として、事業対象地域の関係市町村・DMO等のコーディネーター候補を対象に、「補助制度の活用」「マーケティング」「受入体制（熊野速玉大社前から高野坂までのフィールドワーク）」をテーマに研修会を開催

◇ガーデンツーリズム

○ガーデンツーリズムPR用素材制作

＜時 期＞ 3月下旬～7月、10月～4年3月

＜撮影地＞ 和歌山市、岩出市、紀の川市、高野町

＜内 容＞ ガーデンツーリズムのPR用素材を制作するため、プロフォトグラファーによる庭園及び周辺観光スポット等の写真撮影を実施

○高野山の庭園視察

＜時 期＞ 7月16～17日

＜視察先＞ 高野町

＜内 容＞ ガーデンツーリズムの推進に際して、日本庭園の研究者（和歌山県ガーデンツーリズム推進協議会アドバイザー）による金剛峯寺及び宿坊の庭園の視察を支援

○ガーデンツーリズム観光パンフレット「わかやま庭園回遊」発行

＜時 期＞ 10月

＜内 容＞ 「紀州徳川家ゆかりの庭園」と「高野山の庭園」をテーマに、地域の観光スポットや食文化、体験プログラムを取り入れた周遊観光を促すための観光パンフレットを発行

○ガーデンツーリズム計画登録決定

＜時 期＞ 4年2月25日 プレス発表

＜内 容＞ 県、関係市町、関係観光協会・DMOなどで構成する和歌山県ガーデンツーリズム推進協議会が作成したガーデンツーリズム計画「わかやま庭園文化と歴史回遊」が、国土交通省が所管する庭園間交流連携促進計画登録制度（ガーデンツーリズム登録制度）に登録決定（登録証の交付は4年4月予定）

◇ガストロノミーツーリズム

○ミシュランガイドブック 写真撮影

＜時 期＞ 4月7日

＜場 所＞ 白浜町

＜内 容＞ ミシュランガイドブック「京都・大阪+和歌山」制作に伴う写真素材制作を支援

○ミシュランガイドブック 知事表敬訪問、記者会見

- <時 期> 4月8日
 - <場 所> 県庁
 - <内 容> ミシュランガイドブック「京都・大阪+和歌山」の制作発表に合わせて、ミシュランマンと日本ミシュランタイヤ(株)の本城執行役員が知事を表敬訪問、記者会見開催
- ミシュラン公式ユーチューブ（アジアチャンネル）動画撮影
 - <時 期> 4月13～15日
 - <場 所> 新宮市、那智勝浦町、みなべ町、日高町、海南市、湯浅町、和歌山市、高野町
 - <内 容> ミシュラン社がアジア地域の食文化を紹介する公式チャンネル動画の撮影を支援
- 「ミシュランガイド京都・大阪+和歌山 2022」発行
 - <時 期> 10月21日
 - <内 容> 世界的に著名なガイドブック「ミシュランガイド」に初めて県内の飲食店（85件）を掲載、和歌山市内の書店において発売記念イベントを実施するとともに、ミシュラン公式英語サイトやプロモーション活動用の特別冊子を制作
- 関西地域文化フェア
 - <時 期> 11月21日
 - <場 所> 京都市
 - <内 容> 文化庁京都移転1年前イベントとして開催されたフェアにPRブースを出展し、県内の観光スポットとミシュランガイド掲載を紹介
- ライフスタイル情報誌「一個人」
 - <時 期> 11月30～12月1日
 - <視察先> 和歌山市、田辺市
 - <内 容> 「和歌山ビブグルマンの旅食」というテーマで、同誌の新春号記事制作のためにミシュランガイド掲載2店と周辺の観光地を取材
- フードジャーナリスト向け説明会
 - <時 期> 12月3日
 - <場 所> 東京
 - <内 容> ミシュランガイド初掲載を契機として、首都圏在住のフードジャーナリストを対象に、和歌山県の食文化及びガストロノミーツーリズムの取組を紹介
- シンガポール レストラン情報誌「Cuisine&Wine Asia」
 - <時 期> 4年1月14～15日
 - <場 所> 和歌山市、湯浅町、高野町
 - <内 容> アジア圏における著名レストラン情報誌に寄稿するフードジャーナリストを招聘し、食文化をテーマとした取材を支援
- BBC食文化発信事業
 - <時 期> 4年2月（取材）、3月～（情報発信）

<場 所> 湯浅町、みなべ町、那智勝浦町

<内 容> 和歌山の観光地を巡りながら食文化体験も楽しむ旅を紹介する記事を、関係者へのインタビューをもとに制作して情報発信

◇サスティナブルツーリズム

○ロンリープラネット公式ウェブサイトにおける和歌山県観光キャンペーン

<時 期> 5～7月

<内 容> ロンリープラネットが、その年の最も旬な旅行先を紹介するランキング「Best in Travel 2021」のサスティナビリティ（持続可能性）部門において、読者投票により「和歌山」が世界で唯一選出。この機会を捉えて、和歌山県のサスティナブルな観光地（熊野古道、西国三十三所巡り、高野山、白浜温泉、和歌の浦）を紹介する記事「Discover Japan's sustainable wonderland in Wakayama Prefecture」を同社の公式ウェブサイトで公開、各種メディア媒体においてキャンペーンを実施

○和歌山大学観光学部 Sustainable Destination Management プログラム

<時 期> 7月10～11日（フィールドワーク）、8月11日（グループ発表会）

<視察先> 和歌山市

<内 容> 和歌山大学観光学部が、持続可能なデスティネーション運営の基礎を学ぶことを目的に和歌浦地域で実施した講座のフィールドワーク支援及び参加学生向けに講義を実施

◇スポーツツーリズム

※海外への情報発信や旅行会社ファムツアー、メディア取材支援時の行程・プログラムに組み入れ。157頁「海外26か国・地域から和歌山へ招く」に記載

◇その他インバウンド体験型観光

※海外への情報発信や旅行会社ファムツアー、メディア取材支援時の行程・プログラムに組み入れ。157頁「海外26か国・地域から和歌山へ招く」に記載

(5) 『外国人観光客』を和歌山でもてなす

今後のインバウンドの段階的回復を見据え、受入環境の面では公共交通を活用した移動環境の整備、交通チケット等のデジタル化の強化、観光案内板等の多言語表示を進めていきます。また、外国人観光客が県内でショッピングを楽しむことができるよう飲食店の多言語対応やキャッシュレス決済の対応を推進します。さらに、多言語電話通訳・簡易翻訳サービスを提供するとともに、Wi-Fi アクセスポイントの利便性向上に引き続き取り組みます。

ハード面では引き続き、公衆トイレの快適性向上や美化促進を図るために、大便器の洋式化、温水洗浄便座の設置、小便器の自動洗浄化などに市町村等と連携して取り組みます。

I 外国人観光客の受入環境整備

外国人観光客の皆様安心して快適に周遊していただき、より深く魅力を味わっていただくため、言語や文化、習慣の違いが原因で起こる様々な「困ったこと」を着実かつ効果的に解決する必要があります。

元年9～12月、観光庁が主要5空港で実施した「訪日外国人旅行者の受入環境整備に関するアンケート」の結果を見ると、旅行中全体を通して「困ったことはなかった」の割合が過去最高を記録し、各項目別でも全体的に「困った」割合が減少する一方、都市部と地方部の比較では、「公共交通の利用」や「無料公衆無線LAN環境」、「キャッシュレス対応」などについて「便利」と回答した割合が地方部で著しく低い結果となり、地方部における受入環境整備には改善の余地が大きいことが明らかになりました。

県では、こうした課題を解決するため、市町村や観光関係事業者等の皆様とともに受入環境の整備を進めています。

外国人観光客の移動環境づくり

◇デジタルを活用した観光周遊環境整備

交通・観光施設等のチケットのデジタル化により、キャッシュレス対応・チケット販売窓口等での接触の最小限化等を図るとともに、インバウンドの回復後も見据え、ウィズコロナ時代に対応した観光周遊モデルの構築に取り組みます。

高野山・山麓エリアで実施してきた交通・観光施設等チケットの予約・決済・利用をスマホ一つで可能とするデジタル化の取組を、紀伊半島を周遊するMaaSの構築を目指し、熊野地域を中心に紀南方面に拡大します。

◇二次交通の県域をまたいだ統一的なインバウンド対応の推進

外国人個人観光客が紀伊半島をストレスなく公共交通等を利用して移動できるよう、交通事業者の連携により二次交通のアクセスの改善や多言語案内表示の整備など、世界遺産エリアを中心に県域をまたぐ統一的な受入環境整備を推進するとともに、紀伊半島周遊ルート等の情報を発信します。

2021 実績

◇公共交通の移動環境の整備

高野山・熊野・伊勢路エリアを中心に県域をまたいで多言語案内表示等を整備し、外国人個人観光客が公共交通を活用して紀伊半島を快適かつ円滑に周遊できる環境を整備

<対象地域> 高野山・熊野・伊勢路エリア

<協議体> 紀伊半島外国人観光客受入推進協議会

バス事業者、JR西日本、南海電鉄株、国、県、関係自治体、DMO

5月18日 第1回総会

7月15日 第2回総会

10月29日 第3回総会

9月 8日 第1回二次交通部会

4年3月 1日 第2回二次交通部会

<主な整備内容> 紀伊田辺駅の乗換案内の充実（デジタルサイネージの設置）

中辺路、小辺路、伊勢路沿いバス停等の多言語案内等の充実

交通拠点（主要駅前）のタクシー乗り場案内表示の多言語化

◇観光のデジタル化を推進する体制の整備

外国人観光客をはじめ、国内外で進む個人旅行化、スマートフォンを活用した情報検索や決済、コロナ時代を見据えた混雑緩和対策など、旅行スタイルの変化に対応したIT技術の活用を推進

<協議体> 高野山デジタル対応推進部会（※紀伊半島外国人観光客受入推進協議会内に設置）

南海電鉄株、南海りんかんバス株、県、関係自治体

9月 3日 第1回部会

12月23日 第2回部会

4年1月17日 第3回部会

◇「KiiPass Koyasan（キーパス高野山）」実証事業

キャッシュレス対応、チケット販売窓口等での接触の最小限化等を図り、またインバウンド回復後も見据え、高野山・山麓地域において電車・バスや観光施設、アクティビティ等のチケットの予約・決済・発行・利用がスマートフォン1つで可能となる「キーパス高野山」の実証事業を実施

<時期> 10月1日～11月28日

<内容> 電車・バスチケット（4種）、観光施設チケット（7種）、アクティビティチケット（8種）のデジタル化

<連携先> 橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町、南海電鉄株、南海りんかんバス株

◇「熊野本宮温泉郷周遊バス」運行 実証事業

熊野本宮温泉郷における周遊環境の向上を図るため、観光客からのニーズが高かった時間帯に周遊バスを実験的に運行させ、その効果を検証することにより、観光客のニーズに合ったダイヤを検討するための実証事業を実施

<協議体> 熊野本宮周遊促進部会（※紀伊半島外国人観光客受入推進協議会内に

設置) (10月29日設立)
 龍神自動車(株)、熊野本宮観光協会、(一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー、県、田辺市
 4年1月19日 第1回部会
 4年3月22日 第2回部会
 <時期> 12月16日~4年1月31日
 <内容> 熊野本宮温泉郷周遊バス 5便を実証運行
 (周遊バスと語り部との熊野古道ウォーキングを組み合わせた商品を販売し、より多くの観光客が訪れた環境下で実証)
 <連携先> 龍神自動車(株)、熊野本宮観光協会、(一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー

外国人観光客受入環境整備

◇Mastercard との連携協定に基づく観光コンテンツ開発などの取組の推進 =New=

4年1月に締結したMastercard との連携協定に基づき、同社の国際基準の決済ネットワークインフラや充実した誘客プログラム、またこれらにより蓄積された知見を活用し、高付加価値な体験型プログラムの共同開発・情報発信などに取り組みます。

◇飲食店の多言語対応促進 =New=

外国人個人旅行者が安心して街なかの飲食店を利用できるよう、多言語による飲食店検索サイトの構築や、宿泊施設と連携した街なかの飲食店への誘導體制の整備、メニューの多言語化支援など、飲食店のインバウンド対応を促進し、外国人旅行者の旅の満足度向上と消費拡大を図ります。

◇和歌山県版通訳ガイド育成研修、情報発信などの実施

「高野山・熊野」の世界遺産エリアを外国人観光客に外国語(英語・中国語・フランス語・スペイン語)でガイドができる本県独自の観光ガイド(和歌山県版通訳ガイド)の育成を図ります。また、登録済みガイドの就業促進のため、ガイド情報を発信するとともに、ビジネスマッチング会やスキルアップ研修を実施します。

◇Wi-Fi 環境の整備と活用

市町村が実施するWi-Fi 環境の整備を支援します。また、多言語観光WEBサイト「Visit Wakayama」に和歌山フリーWi-Fi のアクセスポイント情報を掲載し活用を図るとともに、KANSAI Wi-Fi アプリを活用した情報発信を推進します。

◇多言語案内表示の整備・充実

市町村が実施する多言語案内表示の整備を支援します。また、観光地における案内表示の多言語化を推進するとともに、英語による案内表示に関するガイドラインを充実させ、観光地の英語名称の統一を推進します。

◇和歌山ほんまもん体験インバウンド対応支援

外国人観光客の誘客と長期滞在化と消費拡大を図るため、「和歌山ほんまもん体験」を磨き上げるとともに外国人目線でのコンテンツ開発等への支援を実施し、インバウンド向け体験型観光を推進するとともに、情報発信を強化します。

◇多言語コミュニケーションツールの導入推進

接客等における外国人観光客とのコミュニケーションを支援するため、観光関係施設等に対して、多言語で原則24時間体制の電話通訳サービスやチラシ等の簡易翻訳サービスを提供するとともに、翻訳機器の積極的な活用を推進します。

◇グローバルメディアを活用した県内事業者の情報発信強化

世界的に高いシェアを占めるグローバルメディアを活用し、観光関係者自らがタイムリーに外国人観光客に情報を提供する取組や、得られたデータを分析しマーケティングに活用する取組を推進します。

◇外国人観光客向け消費環境の整備

県内で外国人観光客の消費拡大に繋げるため、観光関係施設や飲食店でのキャッシュレス化や消費税免税店の拡大を推進するとともに、情報発信に取り組みます。

◇観光案内所の整備促進

外国人観光客の受け入れ体制の整った、JNTO認定の観光案内所の整備を促進します。

2021実績

◇和歌山県版通訳ガイドの養成

「高野山・熊野」の世界遺産エリアを外国人観光客に外国語（英語・中国語・フランス語・スペイン語）でガイドができる本県独自の観光ガイド（和歌山県版通訳ガイド）を育成・認定・登録

＜登録者数＞ 250人（4年3月現在）

英語221人・中国語18人・フランス語7人・スペイン語4人

＜資格取得に係る研修及び試験＞

- ・募集 8月2～27日
- ・申込（応募）46人
- ・研修 9月11日～4年2月6日
- ・試験 4年3月21日 口述試験

◇Wi-Fi環境の整備（AP＝アクセスポイント）

平成28年 3月末：約800か所・1,200AP

和歌山フリーWi-Fiポータルサイト 運用開始

令和4年 2月末：1,094か所・1,597AP

◇多言語案内表示の整備

外国人観光客が円滑・快適に本県を移動・滞在できるようにあらゆる場面で必要となる多言語案内表示の整備

＜箇所数＞ 121か所（4年3月末現在）

＜備考＞ 平成30年度 195か所、令和元年度 38か所、2年度 27か所

◇ほんまもん体験インバウンド対応支援

＜支援先＞ （一社）那智勝浦観光機構

＜内容＞ インバウンド向け英語ガイドツアーの造成および英語ガイドの育成に対する支援

◇多言語電話通訳・簡易翻訳サービス

<登録者数> 52施設
<電話通訳実績> 2件（4年2月末現在）
<消防実績> 2件（4年2月末現在）
<簡易翻訳実績> 94件（4年2月末現在）
◇県内免税店の状況
<店舗数> 186店舗（9月30日現在／観光庁発表資料）
◇観光案内所の状況
<JNTO認定の観光案内所> 27か所（4年3月末現在）
※30年3月末現在 10か所

Ⅱ 夜の楽しみ方の提案 詳細 142 頁

Ⅲ 快適観光空間の創造 詳細 145 頁

Ⅳ 二次交通（路線バス） 詳細 146 頁